

令和5年度 愛知県体力テストデータ分析  
委託事業報告書

－愛知県教育委員会委託事業－

令和5年10月

中京大学スポーツ科学部



## はしがき

本報告書は、愛知県教育委員会の委託を受けて、令和5年度に中京大学スポーツ科学部にて実施した事業の成果をまとめたものである。

### 【研究課題】

令和5年度 愛知県体力テストデータ分析委託事業

### 【研究組織】

#### 研究メンバー

氏名	所属大学	学部学科	職位	専門領域
○ 1 中野貴博	中京大学	スポーツ科学部健康科学科	教授	子どもスポーツ学、発育発達学
2 後藤晃伸	中京大学	スポーツ科学部スポーツ教育学科	准教授	体育科教育学，保健科教育学
3 加納裕久	中京大学	スポーツ科学部健康科学科	助教	子どもスポーツ学、測定評価学
4 宮田洋之	中京大学	スポーツ科学部健康科学科	講師	レクリエーション、発育発達学
5 佐野 孝	中京大学	スポーツ科学部スポーツ教育学科	講師	体育科教育学、発育発達学

#### ○ 代表者

氏名	所属大学	所属部署	職位	役割
野田真人	中京大学	研究推進部	部長	事務責任者
加藤真由美	中京大学	研究推進部	研究支援課	事務担当（連絡窓口）
櫻田歩	中京大学	研究推進部	研究支援課	経費関連事務担当

### 【研究経費】

令和5年度 . . . . 1,399,884円

## 目次

はしがき/目次	・・・i
1. 研究概要	・・・1
1-1. 研究の目的とねらい	・・・3
1-2. 実施体制	・・・4
1-3. 研究対象/分析データ	・・・4
1-4. 分析指針	・・・6
2. 分析結果	・・・9
2-1. 体力・運動能力測定値の全国分布および愛知県内分布	・・・11
2-2. 体力・運動能力測定値の現状および他都道府県との比較	・・・17
2-3. 体力・運動能力測定値の評価分布および他都道府県との比較	・・・23
2-4. 「運動やスポーツが好き」の愛知県の現状および他都道府県との比較	・・・29
2-5. 「肥満度」の愛知県の現状および他都道府県との比較検討	・・・31
2-6. 運動習慣、生活習慣項目の愛知県の現状および他都道府県との比較	・・・33
2-7. 体育授業関連項目の愛知県の現状および他都道府県との比較	・・・43
2-8. 多角的視点による体力低下要因の探索	・・・55
3. 分析結果に基づく施策立案への提言	・・・87
付録	・・・91



# 1. 研究概要



## 【1-1 研究の目的とねらい】

本研究委託事業の主な目的は、児童生徒の体力・運動能力テストデータおよび運動習慣調査データを分析し、子どもの体力・運動能力向上に向けた方策に役立てることにある。このような事業を実施する背景として、20年来続いている子どもの体力・運動能力の低下傾向および運動離れがあげられる。子どもの体力・運動能力に関しては、文部科学省およびスポーツ庁が継続的に実施してきている調査によれば1985年頃をピークに、以降、長期的な低下傾向が続いている。特に2000年ごろからは社会的にも大きな問題としてメディア等でも取り挙げられるようになった。最近では、年末に公表されるスポーツ庁の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、新聞、テレビ等のメディアが一斉に様々な考察とともに記事を掲載している。直近の傾向としては、平成の後半は、維持もしくは若干の改善傾向などといった考察もなされていたが、令和に入り再び低下局面に入り、令和2年度からの新型コロナウイルス蔓延が低下に拍車をかけてしまっている状況である。今後、新型コロナウイルスへの対応の変化に伴い、新型コロナウイルス蔓延直前の水準までは早期に改善することが予想されるが、そこから如何にして改善を持続していくかが鍵となるであろう。また、これまでの研究からは、一口に体力・運動能力と言っても、その背景には生活習慣や学校体育、あるいは生育環境を含む家庭環境などの様々な要因が影響していることも明らかになっており、単に運動を促進することのみならず、生活習慣や学校体育、家庭や地域も巻き込んだ取り組みの継続が求められている。

さて、そのような現状の中、愛知県の体力・運動能力の実態を見ると、残念ながら厳しい現実が見えてくる。小学校5年生と中学校2年生の全児童生徒の測定結果が公表されるようになった2008年以降、愛知県の記録は常に最下層に位置し、直近の令和4年度においても小5の男子が46位、女子が47位、中2の男子が47位、女子が46位といった実情である。順位ばかりに気を取られるのは良くないが、過去の研究成果からも、体力水準と運動実施には高い相関があり、また、様々な生活習慣や社会的な成長との関連も近年では示されていることも考え合わせると、単に体力・運動能力の問題だけとして片づけることはできない。そのため、人生において極めて重要な発育発達期にある児童生徒を対象として、体力・運動能力の向上や運動促進を切り口として、様々な成長を促していく活動を早急に強化していく必要がある。一方で、なぜ愛知県の子どもの体力・運動能力の水準が低いのかについては、詳細な吟味が行われておらず、どこから手を付けてよいのかがわかっていないというのも事実である。中には競技水準では愛知県出身の選手が多くみられるのに、なぜ、子どもの体力・運動能力は低いのかなどといった声も聞こえてくる。このような点は、詳細なデータ分析をもとに客観的な事実として示していくことが第一歩であり、その後の取り組みへの示唆を与えてくれるものと思われる。

そこで、本事業では児童生徒の体力・運動能力および運動習慣等調査のデータを再度、丁寧に分析検討し、愛知県の実態の把握や他都道府県との違いについての検討を行う。さらに、結果を謙虚に受け止めた上で、県内の子どもの体力水準の向上、運動実施の促進、さらには、その先にある健全な成長に資する方策立案に役立てることをねらいとする。

## 【1-2 実施体制】

中京大学スポーツ科学部および事務局体制（8名）

中京大学スポーツ科学部教員 : 5名

（学科内訳、スポーツ健康科学科：3名、スポーツ教育学科：2名）

中京大学研究推進部 : 3名

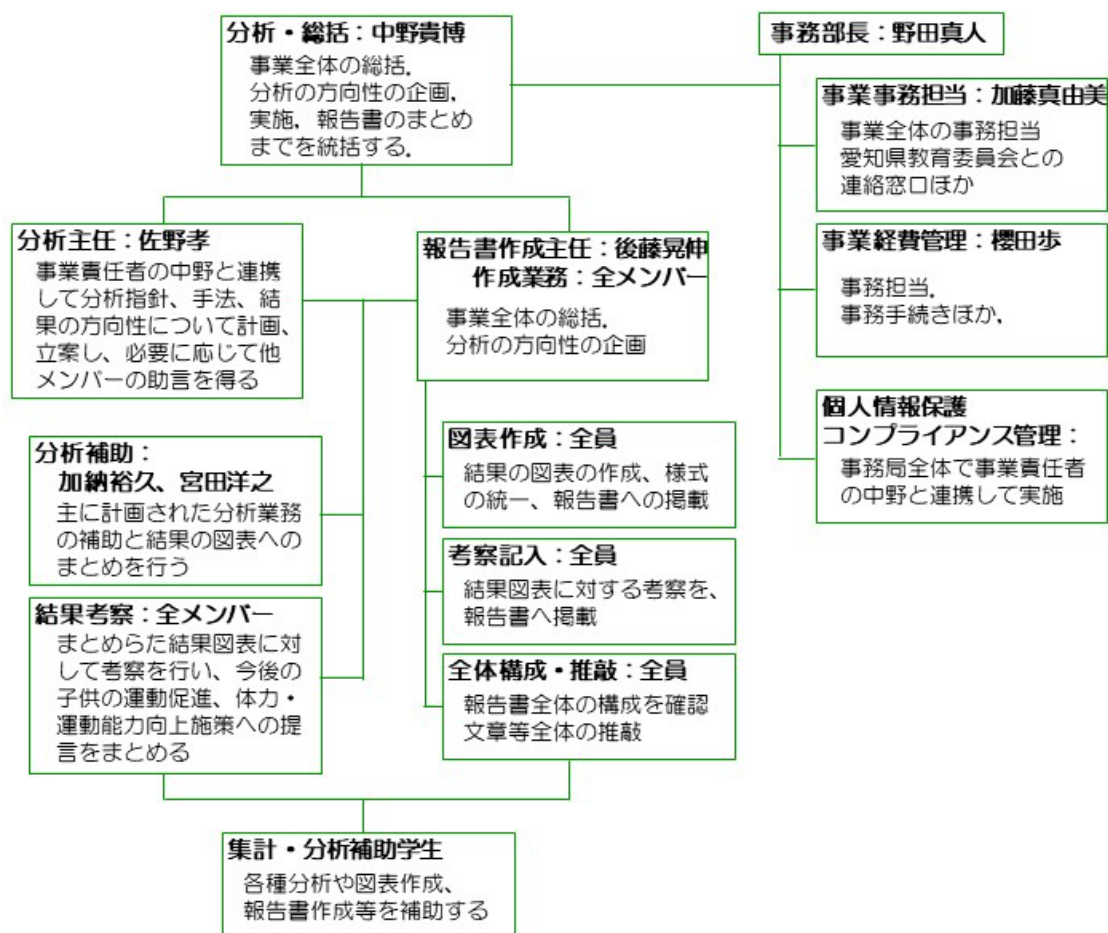


図1-2-1. 実施体制

## 【1-3 研究対象/分析データ】

本研究事業における対象地域は愛知県内の全市（原則として名古屋市除く、但し、他都道府県との比較においては一部、名古屋市を含める）であり、同市内の公立小中学校における小5および中2の児童生徒を対象とした。性・学年別の内訳は表1-3-1の通りである。また、各市における小5、中2の対象データ数は表1-3-2の通りである。

なお、分析データに関しては、令和4年度のスポーツ庁 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における愛知県のデータを用いた。さらに、全国値および他都道府県の集計結果に関しては、スポーツ庁より令和4年度末に配布された調査結果をまとめたDVDに収録されているデータを用いた。

表1-3-1. 分析対象データ（性・学年別）

性別	小5	中2	合計
男児	23,908	21,860	45,768
女児	23,001	20,723	43,724
合計	46,909	42,583	89,492

表1-3-2. 分析対象データ（市町村・校種別）

市町村	校種	児童 生徒数	市町村	校種	児童 生徒数	市町村	校種	児童 生徒数
あま市立	小学校	699	常滑市立	小学校	600	南知多町立	小学校	118
	中学校	796		中学校	571		中学校	97
みよし市立	小学校	488	新城市立	小学校	332	日進市立	小学校	959
	中学校	605		中学校	273		中学校	894
阿久比町立	小学校	350	瀬戸市立	小学校	1127	半田市立	小学校	1033
	中学校	261		中学校	1023		中学校	982
愛西市立	小学校	479	清須市立	小学校	629	飛島村立	小中学校	92
	中学校	513		中学校	576			
安城市立	小学校	1790	西尾市立	小学校	1574	尾張旭市立	小学校	687
	中学校	1800		中学校	1529		中学校	734
一宮市立	小学校	3378	設楽町立	小学校	20	美浜町立	小学校	162
	中学校	3125		中学校	22		中学校	167
稲沢市立	小学校	1084	大口町立	小学校	238	扶桑町立	小学校	209
	中学校	1096		中学校	236		中学校	296
岡崎市立	小学校	3492	大治町立	小学校	357	武豊町立	小学校	297
	中学校	2570		中学校	318		中学校	375
蟹江町立	小学校	307	大府市立	小学校	924	碧南市立	小学校	662
	中学校	308		中学校	840		中学校	652
蒲郡市立	小学校	650	知多市立	小学校	768	豊橋市立	小学校	3437
	中学校	517		中学校	729		中学校	2858
刈谷市立	小学校	1454	知立市立	小学校	644	豊根村立	小学校	1
	中学校	1074		中学校	542		中学校	5
岩倉市立	小学校	380	長久手市立	小学校	747	豊山町立	小学校	169
	中学校	339		中学校	627		中学校	192
犬山市立	小学校	589	津島市立	小学校	386	豊川市立	小学校	1726
	中学校	601		中学校	496		中学校	1608
幸田町立	小学校	513	田原市立	小学校	549	豊田市立	小学校	3655
	中学校	426		中学校	420		中学校	3104
江南市立	小学校	866	東浦町立	小学校	452	豊明市立	小学校	601
	中学校	741		中学校	418		中学校	512
高浜市立	小学校	507	東栄町立	小学校	29	北名古屋市立	小学校	629
	中学校	478		中学校	14		中学校	522
春日井市立	小学校	2780	東海市立	小学校	1231	弥富市立	小学校	348
	中学校	2566		中学校	1041		中学校	350
小牧市立	小学校	1298	東郷町立	小学校	455			
	中学校	1267		中学校	435			

## 【1-4 分析指針】

- 1) 全国値、他都道府県との比較を中心とした記述的分析手法による問題点の抽出  
愛知県内の各市町村の実態を中心に記述統計および視覚的な図表により示す。  
その上で、全国値や他都道府県との違いを考察する。
  - ① 体力・運動能力測定値の県内分布および全国値、他都道府県との比較
    - a) 体力・運動能力測定結果の体力得点および各種目の記録について、統計地図を用いて全国分布、県内分布を明示する。
    - b) 愛知県における体力・運動能力の記録の実態を全国値、他都道府県と比較することで明らかにする
      - ⇒ 体力得点および各測定項目の記録を全国、他都道府県と比較順位を明記および、全国値を基準とした1標本のt検定により、特に、低水準の測定項目を明らかにする
      - ⇒ 全都道府県データを用い、上位目標（10位）、中位目標（20位）、下位目標（33位）に位置づけられる都道府県を抽出し、具体的な目標として設定する。
  - ② 体力・運動能力測定結果の分布の比較
    - a) 児童生徒の体力測定結果の評価分布を比較検討し、問題を明らかにする
      - ⇒ A+B、C、D+Eの比率を全国および他都道府県と比較検討する  
全国値との違いはカイ二乗検定により差を統計的に明記する
      - ⇒ スポーツ基本計画にもあるように、特にD+Eの比率に注目する
      - ⇒ 愛知県における体力得点分布を全国値と比較して、その傾向を確認する
    - b) 小5（児童）⇒ 中2（生徒）での分布の変化を検討する
      - ⇒ A～Eの総合評価比率の小5⇒中2での変化を明示する
      - ⇒ 他都道府県（特に、目標都道府県）においても総合評価の比率の変化を算出し、小5⇒中2での改善傾向の違いについて考察する
  - ③ スポーツ庁の全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書において、体力・運動能力の測定結果との関係性が明記されており、特に、重要視されている以下の項目の全国値および他都道府県との比較
    - a) 「運動やスポーツが好き」、「肥満度」（他都道府県データあり）の比較
      - ①-bで抽出した目標都道府県の値を目安に愛知県との比較検討を行う
        - ⇒ 性・学年別にクロス集計およびカイ二乗検定により違いを明記し、問題点を抽出する
    - b) 運動習慣、生活習慣項目の比較検討（全国および上位・中位・下位目標との比較）  
運動習慣項目：児童・生徒調査票 ㉒、㉓、㉔、㉘、㉙  
生活習慣項目：児童・生徒調査票 ㉕、㉖、㉗
      - ⇒ 上記項目の回答比率の全国値との違いを比較検討
      - ⇒ 性・学年別にクロス集計およびカイ二乗検定により違いを明記し、問題点を整理する

c) 体育授業関連の項目の比較検討（全国および上位・中位・下位目標との比較）

児童・生徒質問票 10～18 (17を除く)

⇒ 性・学年別にクロス集計およびカイ二乗検定により違いを明記し、問題点を整理する

2) ここからは、スポーツ庁の全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書では示されていない分析に取り組み、児童生徒の体力・運動能力向上に資する様々な行動要因の検討を行う。特に、ここでは複数の項目を同時に考慮した分析に取り組む。これにより、今まで以上に多角的な視点での分析、考察が可能になると考えられる。

④ 多重クロス集計による体力テスト評価結果の検討

1) の分析により体力評価との関係が確認された項目および、愛知県において課題が見えた項目を用いて、体力評価が良くなる/悪くなる条件を多重クロス集計により検討する。これにより、より具体的な運動習慣・生活習慣の目標設定が可能になることが期待される。

⇒ 性別と肥満度を説明変数、体力総合評価を目的変数としたトリプルクロス集計

⇒ 生活習慣3項目（朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイム）を説明変数、体力総合評価を目的変数とした多重クロス集計

⑤ 決定木分析を用いた体力評価改善のルール抽出

1) の分析により、運動への嗜好や生活習慣、体育授業に関する取り組みに若干の課題が抽出された。そこで、これらの項目を説明変数とした決定木分析を行うことで、より具体的な運動・生活習慣や体育授業改善等の目標設定が可能になることが期待される。

⇒ 運動・生活習慣関連項目を説明変数、体力総合評価を目的変数とした決定木分析

⇒ 体育授業関連項目を説明変数、体力総合評価を目的変数とした決定木分析

⑥ クラスタリング手法を用いた分析

複数の調査項目の組み合わせを考慮して、児童生徒を運動・生活習慣の特徴からいくつかのクラスタに分類する。その上でクラスタごとに体力テストの結果、肥満度や体育授業の楽しさの状況などを確認することで、体力低下の要因を多角的な視点から検討する。これにより、運動時間や生活習慣などを総合的に考慮した目標設定に役立てられることが期待される。

⇒ 児童生徒が運動習慣、生活習慣等のパターンで分類される

⇒ 分類されたクラスタごとに、体力テストの結果、肥満度や体育授業の楽しさの状況が明らかになる

⇒ どのような運動習慣や生活習慣のパターンを明記することで、児童生徒の体力向上や体育授業の楽しさ向上につなげることができるかが示され、より具体的な施策立案に役立てられる。

### 3) 分析結果に基づく施策立案への提言

全体の分析結果から、以下の6点に関して提言を述べる。

1. 体力要素別の検討からの提言
2. 地域分布からの提言
3. 愛知県の体力評価分布からの提言
4. 運動嗜好や運動習慣の傾向および体育授業での取り組み検討結果からの提言
5. 生活習慣に関する提言
6. 多角的視点による探索的分析結果からのまとめ

これらの提言を記した後、まとめを行う。



## 2. 分析結果



## 【2-1 体力・運動能力測定値の全国分布および愛知県内分布】

子どもの体力の実態および課題を検討するには、データを可視化することが重要である。本項では、数値だけでは見えにくい実態を把握するため、地理情報システム「QGIS」を用いて、地図情報に体力得点を加えた全国分布および県内分布を図示した。

体力得点は、体力・運動能力テストによって得られた各種目データの平均値を採用し、学年および性別に検討した。なお、より視覚的に分かりやすくするため、全国分布は等量分類<sup>※1</sup>を、県内分布は自然分類<sup>※2</sup>を用いた。全国分布および県内分布ともに、学年および性別毎に分類基準が異なり、図示した結果をまたいで評価することはできない。

※1：等量分類は、各分類に同じ数のデータ値を割り当てる。数値が多すぎたり少なすぎたりすることはない。

※2：「Jenks」の自然分類アルゴリズムに基づき、分類間の差異を最大化するように作成される。

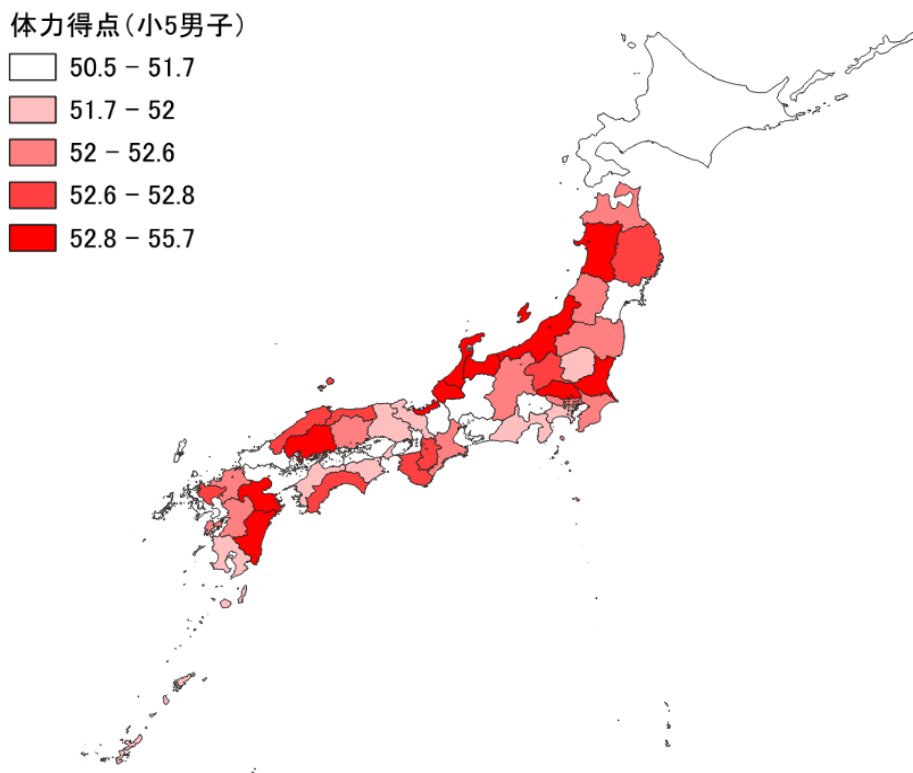


図 2-1-1. 体力得点の全国分布 (小学5年男子)

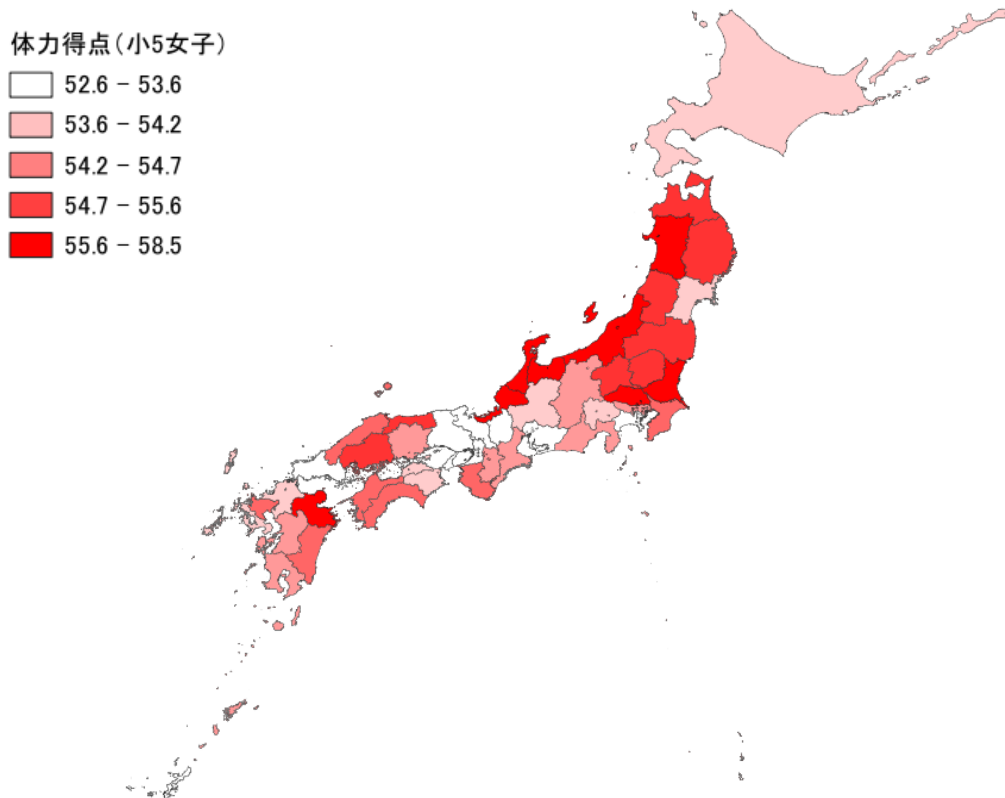


図 2-1-2. 体力得点の全国分布 (小学 5 年女子)

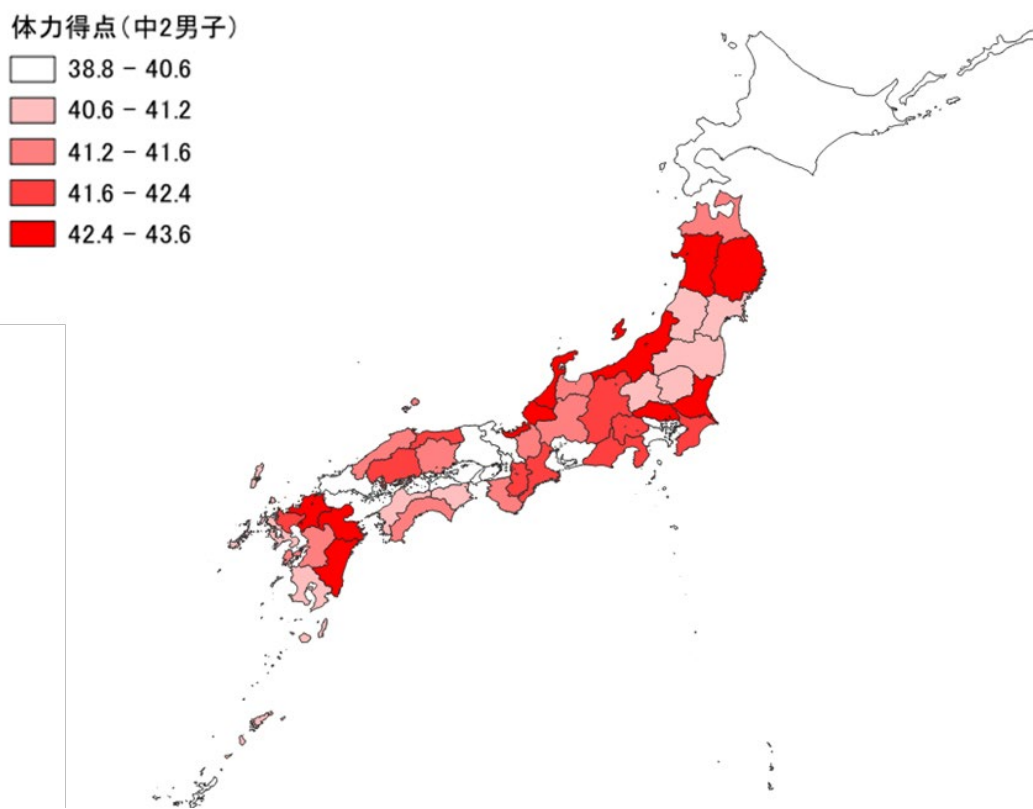


図 2-1-3. 体力得点の全国分布 (中学 2 年男子)

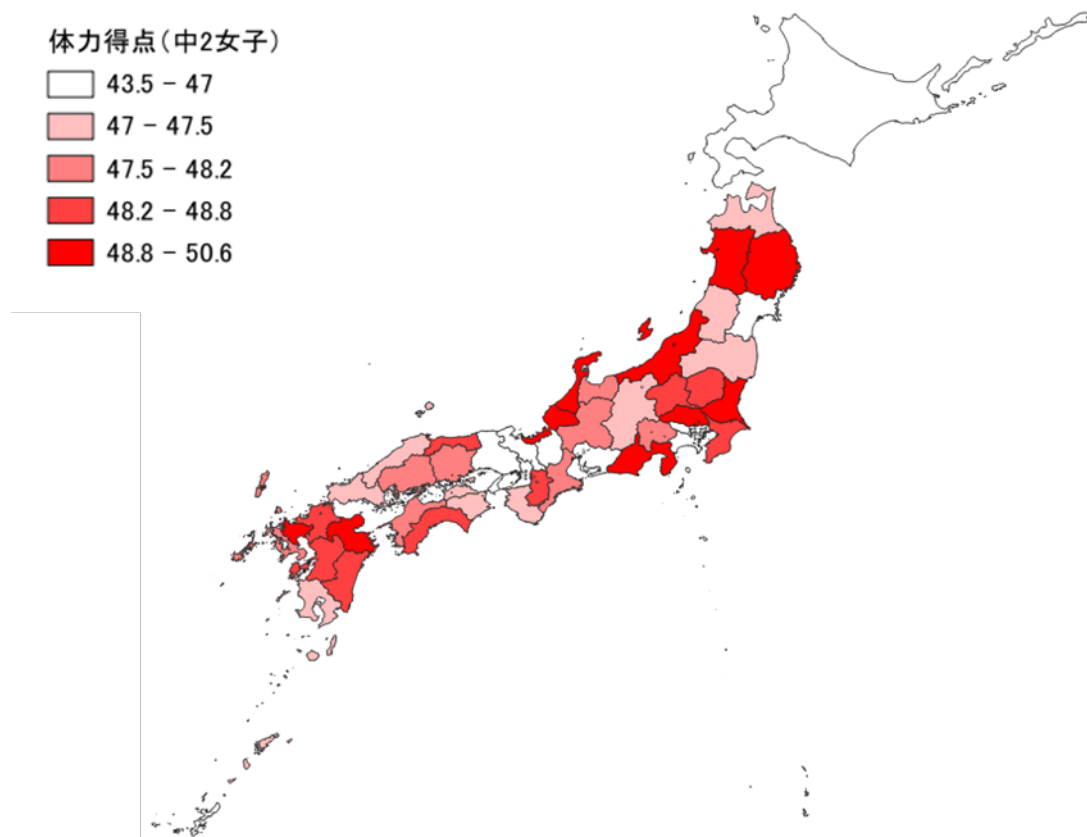


図 2-1-4. 体力得点の全国分布 (中学 2 年女子)

[考察]

- ・愛知県の小 5 年生男女および中 2 年生男女ともに、他県に比べ体力得点が低く、全ての結果でで体力得点が低い分類に当てはまる県は本県のみである。また、東海地方の他県において、体力の低い分類に当てはまるのは、「岐阜県小 5 男子」のみであり、隣接する県に体力得点の低い地域はほとんど存在しないため、地理的・気候的な要因で体力が低い結果となっているとは考えにくい。
- ・全国的には、東北、北陸地方が高い傾向にあり、次いで、九州や四国、山陰地方の一部で高くなることが確認された。
- ・同じ都市部という意味では、近畿地方は低い傾向があるが、東京都を含む関東地方が目立って低いということはないため、必ずしも都市部の体力が低いということではないと考えられる。

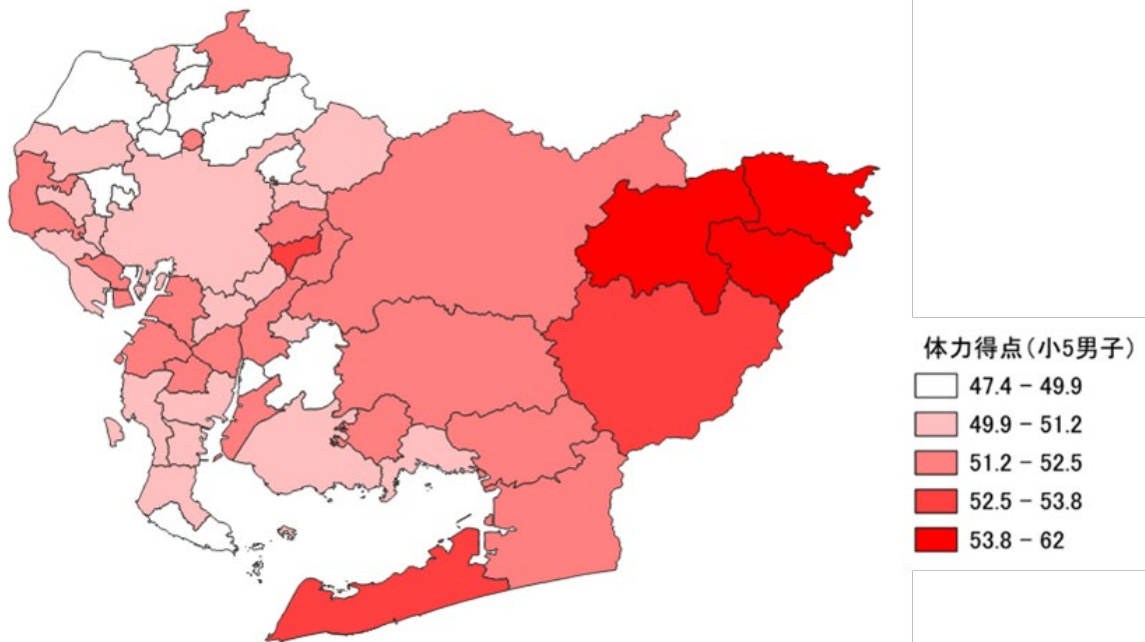


図 2-1-5. 体力得点の県内分布 (小学5年男子)

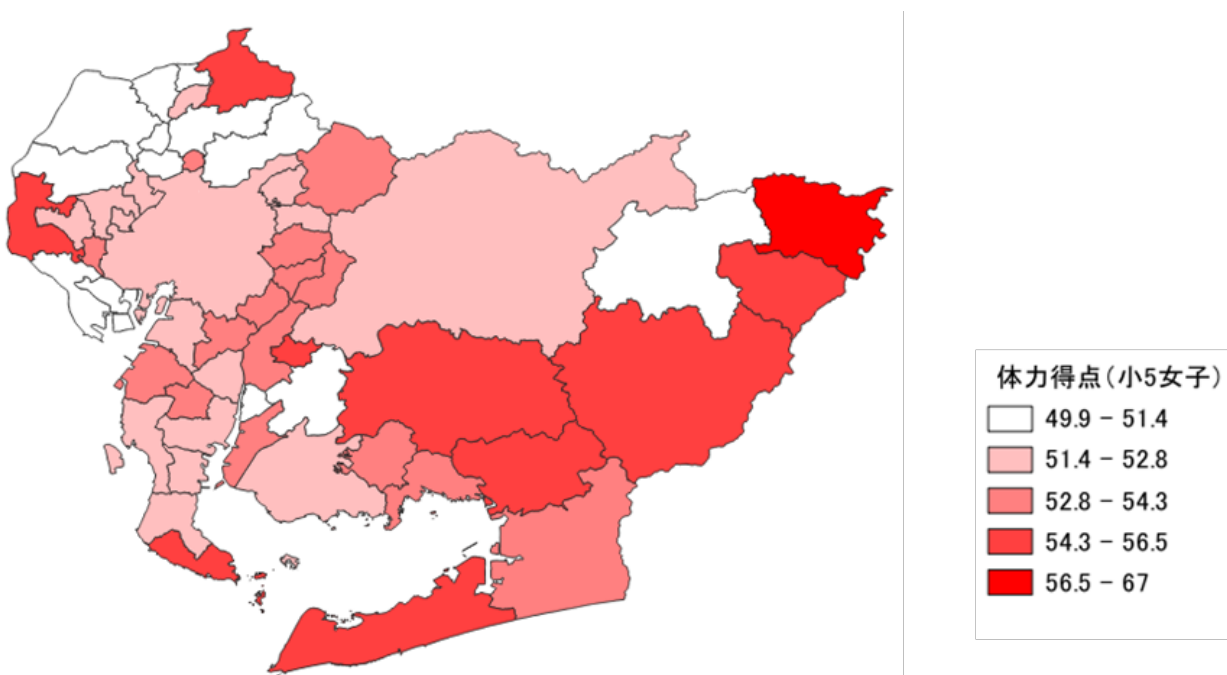


図 2-1-6. 体力得点の県内分布 (小学5年女子)

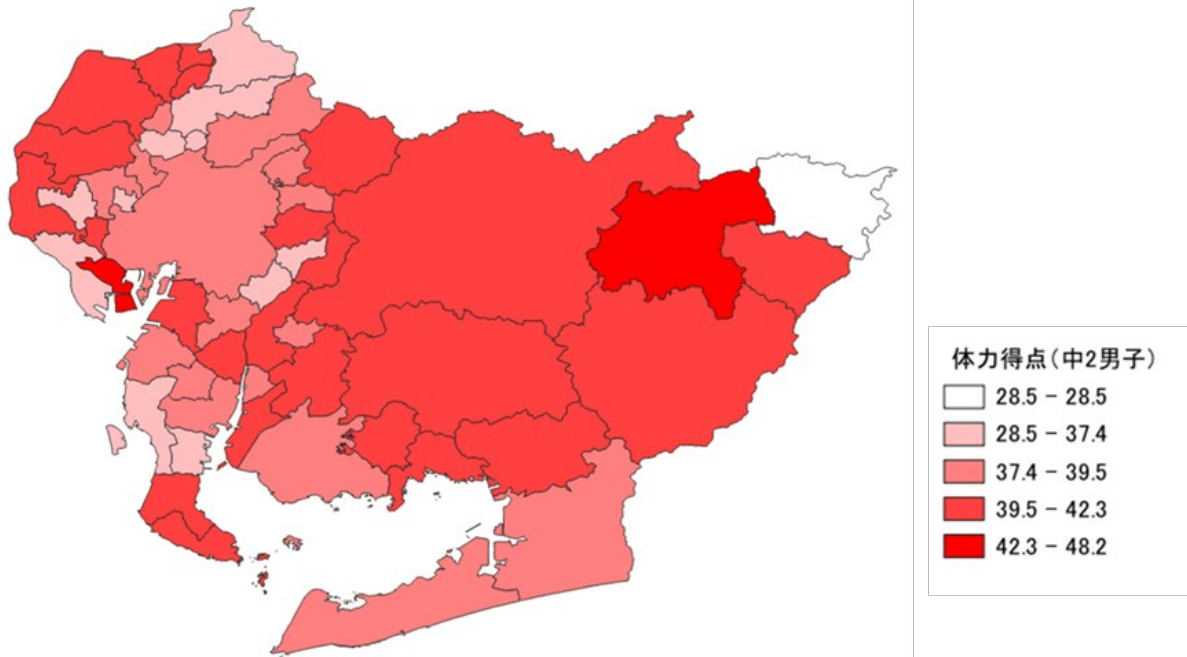


図 2-1-7. 体力得点の県内分布 (中学 2 年男子)

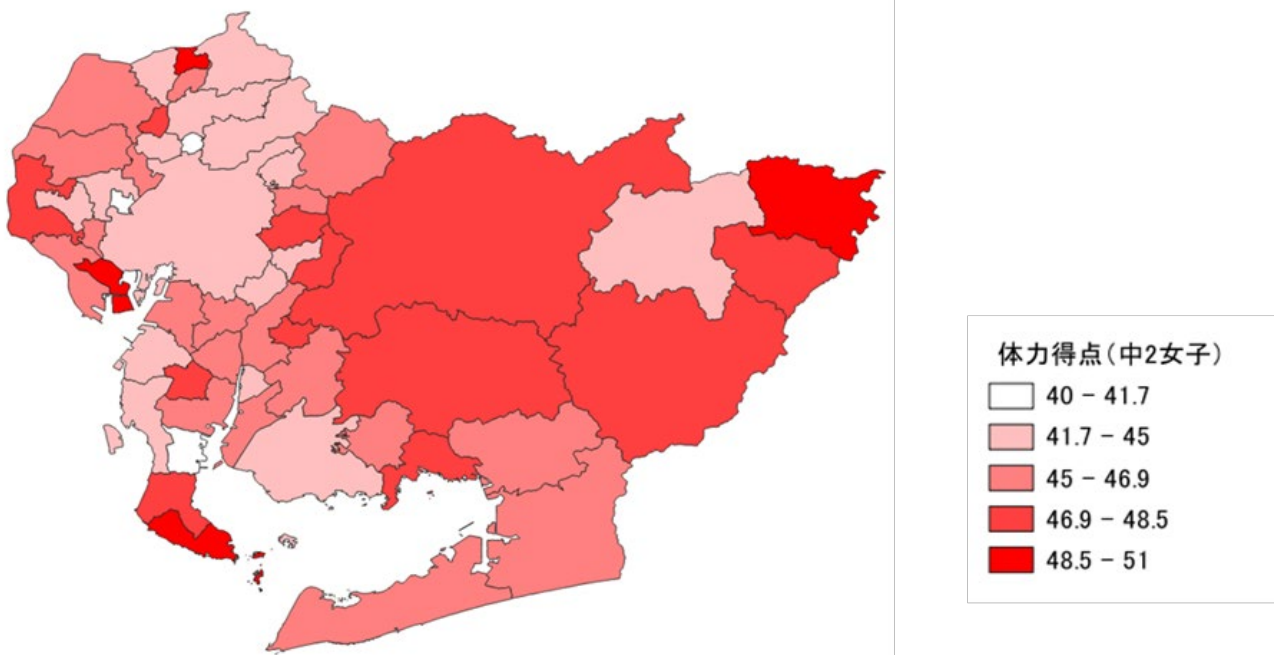


図 2-1-8. 体力得点の県内分布 (中学 2 年女子)

[考察]

- ・県内分布の結果、小5の体力得点は、男子女子ともに県北西部の体力得点が低く、県中央および東部の方が比較的高い体力を有している傾向が見られる。
- ・中2の体力得点は、小5と類似した傾向にも見えるが、その差は小さく、男子女子ともに必ずしも西部が低い傾向とは言い切れない。

表 2-1-1. 愛知県内 54 市町村の体力テスト総合得点データ一覧

市町村	小5 (得点)		中2 (得点)		小5 (順位)		中2 (順位)	
	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児
名古屋市	50.13	51.91	37.98	44.28	37	39	38	40
あま市	49.64	52.01	37.66	44.00	45	37	41	41
みよし市	52.41	54.24	40.54	47.01	9	13	11	16
阿久比町	51.39	53.56	39.47	47.72	22	19	27	9
愛西市	51.73	55.03	40.26	47.67	17	4	15	10
安城市	49.22	51.21	40.16	45.96	50	45	16	29
一宮市	49.51	51.26	39.61	46.83	47	44	25	18
稲沢市	50.09	51.06	40.02	45.99	38	47	21	28
岡崎市	52.06	54.77	40.16	48.47	12	9	16	5
蟹江町	50.50	53.38	39.71	46.47	35	23	24	22
蒲郡市	50.76	53.44	40.79	48.29	31	22	7	6
刈谷市	52.50	53.87	39.93	45.90	7	17	22	30
岩倉市	49.12	50.18	38.48	47.36	52	52	34	14
犬山市	51.69	54.82	37.07	44.77	18	7	44	39
幸田町	51.36	53.54	40.15	46.54	23	20	18	20
江南市	49.93	51.42	41.82	44.97	40	43	4	36
高浜市	49.70	49.87	37.78	43.33	44	54	40	49
春日井市	49.15	50.15	38.48	43.34	51	53	34	48
小牧市	49.82	50.42	37.39	43.78	43	51	43	43
常滑市	51.10	52.50	35.81	44.96	27	35	50	37
新城市	53.68	54.69	40.29	48.13	5	10	14	7
瀬戸市	50.87	53.53	40.76	45.35	28	21	8	35
清須市	51.16	52.56	38.08	46.73	25	31	37	19
西尾市	50.44	52.30	39.14	44.87	36	36	30	38
設楽町	57.30	51.44	44.82	43.56	3	42	2	46
大口町	49.24	51.73	40.64	45.90	49	41	10	30
大治町	47.44	51.92	35.74	41.68	54	38	52	52
大府市	50.87	53.07	39.23	46.52	28	25	28	21
知多市	51.56	54.10	37.87	43.83	19	14	39	42
知立市	50.83	54.86	39.10	47.22	30	6	31	15
長久手市	51.14	52.54	37.62	45.72	26	32	42	33
津島市	50.75	52.52	36.08	43.74	32	34	48	45
田原市	53.81	55.32	38.68	45.80	4	3	33	32
東浦町	52.10	52.53	41.15	46.39	11	33	5	23
東栄町	59.75	56.50	42.29	47.57	2	2	3	11
東海市	51.53	52.80	40.07	46.26	20	27	20	24
東郷町	53.05	54.03	35.80	43.40	6	15	51	47
南知多町	49.35	54.80	40.10	49.46	48	8	19	3
日進市	51.86	53.83	40.80	47.86	15	18	6	8
半田市	50.62	52.83	39.09	46.86	34	26	32	17
飛島村	52.32	50.87	48.19	49.38	10	48	1	4
尾張旭市	49.86	51.77	39.20	42.73	42	40	29	51
美浜町	50.02	52.67	40.68	47.50	39	30	9	13
扶桑町	49.54	50.76	40.53	49.67	46	49	12	2
武豊町	49.93	52.68	36.07	39.99	40	29	49	54
碧南市	51.81	53.22	39.50	46.22	16	24	26	25
豊橋市	51.92	54.30	38.45	46.01	14	11	36	27
豊根村	62.00	67.00	28.50	51.00	1	1	54	1
豊山町	51.98	53.94	34.63	40.26	13	16	53	53
豊川市	52.42	54.99	39.91	45.45	8	5	23	34
豊田市	51.50	52.70	40.40	47.53	21	28	13	12
豊明市	51.17	54.30	36.53	43.20	24	11	45	50
北名古屋市	49.05	50.75	36.38	43.75	53	50	46	44
弥富市	50.74	51.11	36.29	46.05	33	46	47	26



## 【2-2 体力・運動能力測定値の現状および他都道府県との比較】

(全国順位および比較対象都道府県の選定)

最初に全国、各都道府県における体力得点の順位を算出し、愛知県の現状把握と比較対象とする都道府県の検討を行った。表 2-2-1～表 2-2-3 に、全国の順位一覧を示す。

表 2-2-1. 体力得点の全国比較 (小 5)

No	都道府県	男	女	男子順位	女子順位	順位平均
1	北海道	51.74	53.60	38	38	38.0
2	青森県	52.08	55.20	28	13	20.5
3	岩手県	52.83	55.75	11	9	10.0
4	宮城県	51.44	53.82	41	36	38.5
5	秋田県	54.31	57.09	4	4	4.0
6	山形県	52.42	55.72	23	10	16.5
7	福島県	52.08	55.22	27	12	19.5
8	茨城県	53.41	56.81	8	5	6.5
9	栃木県	51.75	54.85	36	16	26.0
10	群馬県	52.75	55.34	13	11	12.0
11	埼玉県	54.14	56.74	5	6	5.5
12	千葉県	52.38	54.68	25	20	22.5
13	東京都	52.59	54.40	19	25	22.0
14	神奈川県	51.85	52.69	34	45	39.5
15	新潟県	54.02	56.67	6	8	7.0
16	富山県	53.94	56.68	7	7	7.0
17	石川県	54.98	57.53	3	2	2.5
18	福井県	55.72	58.45	1	1	1.0
19	山梨県	51.20	53.53	44	39	41.5
20	長野県	52.58	54.27	21	27	24.0
21	岐阜県	51.49	53.99	40	35	37.5
22	静岡県	51.86	54.37	32	26	29.0
23	愛知県	50.71	52.57	46	47	46.5
24	三重県	52.22	54.26	26	28	27.0
25	滋賀県	51.38	52.62	43	46	44.5
26	京都府	51.75	53.41	37	40	38.5
27	大阪府	51.16	52.78	45	44	44.5
28	兵庫県	51.81	53.02	35	42	38.5
29	奈良県	52.65	54.16	17	30	23.5
30	和歌山県	52.63	54.61	18	22	20.0
31	鳥取県	52.75	54.99	14	14	14.0
32	島根県	52.65	54.75	16	18	17.0
33	岡山県	52.57	54.15	22	31	26.5
34	広島県	52.92	54.89	9	15	12.0
35	山口県	50.53	52.94	47	43	45.0
36	徳島県	51.88	54.12	31	32	31.5
37	香川県	51.73	54.03	39	34	36.5
38	愛媛県	52.00	54.58	29	23	26.0
39	高知県	52.78	54.83	12	17	14.5
40	福岡県	52.59	54.11	20	33	26.5
41	佐賀県	52.70	54.73	15	19	17.0
42	長崎県	51.41	53.67	42	37	39.5
43	熊本県	52.40	54.55	24	24	24.0
44	大分県	55.39	57.34	2	3	2.5
45	宮崎県	52.84	54.66	10	21	15.5
46	鹿児島県	51.86	54.24	33	29	31.0
47	沖縄県	51.91	53.40	30	41	35.5

表 2-2-2. 体力得点の全国比較 (中 2)

No	都道府県	男	女	男子順位	女子順位	順位平均
1	北海道	38.97	43.53	46	47	46.5
2	青森県	41.44	46.96	23	37	30.0
3	岩手県	43.46	49.81	2	4	3.0
4	宮城県	41.13	46.21	29	41	35.0
5	秋田県	43.4	49.22	4	8	6.0
6	山形県	41.05	47.18	31	36	33.5
7	福島県	41.07	47.26	30	34	32.0
8	茨城県	43.29	50.27	6	3	4.5
9	栃木県	40.69	48.38	36	16	26.0
10	群馬県	41.04	48.53	32	12	22.0
11	埼玉県	42.84	50.59	9	1	5.0
12	千葉県	41.64	48.64	19	11	15.0
13	東京都	40.08	46.62	41	40	40.5
14	神奈川県	40.09	45.44	40	45	42.5
15	新潟県	43.46	49.37	3	5	4.0
16	富山県	41.19	48.08	28	22	25.0
17	石川県	43.08	49.22	7	9	8.0
18	福井県	43.63	50.58	1	2	1.5
19	山梨県	42.17	47.8	12	25	18.5
20	長野県	41.66	47.34	18	30	24.0
21	岐阜県	41.62	47.85	20	24	22.0
22	静岡県	41.85	49.36	16	6	11.0
23	愛知県	38.84	45.40	47	46	46.5
24	三重県	41.89	48.15	15	20	17.5
25	滋賀県	41.39	46.95	25	38	31.5
26	京都府	40.16	46.77	39	39	39.0
27	大阪府	40	46.06	42	42	42.0
28	兵庫県	39.48	45.79	45	43	44.0
29	奈良県	42.06	48.31	14	17	15.5
30	和歌山県	41.23	47.47	27	28	27.5
31	鳥取県	42.28	48.47	11	13	12.0
32	島根県	41.43	47.33	24	32	28.0
33	岡山県	41.62	47.79	21	26	23.5
34	広島県	41.82	48.09	17	21	19.0
35	山口県	39.83	47.2	43	35	39.0
36	徳島県	40.98	47.47	33	29	31.0
37	香川県	40.54	47.34	38	31	34.5
38	愛媛県	40.92	47.79	34	27	30.5
39	高知県	41.26	48.23	26	18	22.0
40	福岡県	42.39	48.2	10	19	14.5
41	佐賀県	42.09	48.88	13	10	11.5
42	長崎県	40.9	47.94	35	23	29.0
43	熊本県	41.62	48.44	22	15	18.5
44	大分県	43.34	49.26	5	7	6.0
45	宮崎県	42.98	48.45	8	14	11.0
46	鹿児島県	40.6	47.32	37	33	35.0
47	沖縄県	39.61	45.52	44	44	44.0

表 2-2-3. 体力得点の全国比較 (小5)

No	都道府県	小5 男子	小5 女子	中2 男子	中2 女子	順位平均	全体順位
1	北海道	38	38	46	47	42.3	45位
2	青森県	28	13	23	37	25.3	27位
3	岩手県	11	9	2	4	6.5	8位
4	宮城県	41	36	29	41	36.8	38位
5	秋田県	4	4	4	8	5.0	3位
6	山形県	23	10	31	36	25.0	25位
7	福島県	27	12	30	34	25.8	28位
8	茨城県	8	5	6	3	5.5	6位
9	栃木県	36	16	36	16	26.0	29位
10	群馬県	13	11	32	12	17.0	14位
11	埼玉県	5	6	9	1	5.3	4位
12	千葉県	25	20	19	11	18.8	16位
13	東京都	19	25	41	40	31.3	33位
14	神奈川県	34	45	40	45	41.0	42位
15	新潟県	6	8	3	5	5.5	7位
16	富山県	7	7	28	22	16.0	13位
17	石川県	3	2	7	9	5.3	5位
18	福井県	1	1	1	2	1.3	1位
19	山梨県	44	39	12	25	30.0	32位
20	長野県	21	27	18	30	24.0	24位
21	岐阜県	40	35	20	24	29.8	31位
22	静岡県	32	26	16	6	20.0	18位
23	愛知県	46	47	47	46	46.5	47位
24	三重県	26	28	15	20	22.3	21位
25	滋賀県	43	46	25	38	38.0	39位
26	京都府	37	40	39	39	38.8	40位
27	大阪府	45	44	42	42	43.3	46位
28	兵庫県	35	42	45	43	41.3	43位
29	奈良県	17	30	14	17	19.5	17位
30	和歌山県	18	22	27	28	23.8	23位
31	鳥取県	14	14	11	13	13.0	9位
32	島根県	16	18	24	32	22.5	22位
33	岡山県	22	31	21	26	25.0	26位
34	広島県	9	15	17	21	15.5	12位
35	山口県	47	43	43	35	42.0	44位
36	徳島県	31	32	33	29	31.3	34位
37	香川県	39	34	38	31	35.5	37位
38	愛媛県	29	23	34	27	28.3	30位
39	高知県	12	17	26	18	18.3	15位
40	福岡県	20	33	10	19	20.5	19位
41	佐賀県	15	19	13	10	14.3	11位
42	長崎県	42	37	35	23	34.3	36位
43	熊本県	24	24	22	15	21.3	20位
44	大分県	2	3	5	7	4.3	2位
45	宮崎県	10	21	8	14	13.3	10位
46	鹿児島県	33	29	37	33	33.0	35位
47	沖縄県	30	41	44	44	39.8	41位

愛知県の体力得点の順位は小5男子で46位、女子で47位、中2男子で47位、女子で46位であり、全体の順位平均では、47位と全国の最下位であった。そこで、本報告書作成にあたり、全国の都道府県の中から、比較対象とできる都道府県を上位目標、中位目標、下位目標と3都道府県を設定し、それらとの各種調査項目の比較検討を改めて行うこととした。ここで、上位目標として全体10位の都道府県、中位目標として20位の都道府県、下位目標として、21位から47位（愛知県順位）の中間にあたる33位の都道府県とすることとした。各順位は、小5、中2それぞれの性別の順位を算出し、その平均値から決定した。

表2-2-1に示した通り、全体順位の10位は宮崎県、20位は熊本県、33位は東京都であり、これらの都県をそれぞれ、上位目標、中位目標、下位目標として、以降、考察していくこととする。但し、東京都に関しては、児童の順位と生徒の順位に大きな差があるため、結果の考察時は、この点を考慮する。

表2-2-4. 目標都道府県

目標水準	都道府県	全体順位	児童 順位平均	生徒 順位平均	男子児童 体力得点	女子児童 体力得点	男子生徒 体力得点	女子生徒 体力得点
	愛知県	47	46.5	46.5	50.71	52.57	38.84	45.40
上位目標	⇒ 宮崎県	10	15.5	11.0	52.84	54.66	42.98	48.45
中位目標	⇒ 熊本県	20	24.0	18.5	52.40	54.55	41.62	48.44
下位目標	⇒ 東京都	33	22.0	40.5	52.59	54.40	40.08	46.62

(目標都県との各測定項目の比較)

表 2-2-5. 各体力測定値の目標都県との比較

測定項目	都道府県 他	小 5		中 2	
		男子	女子	男子	女子
体力得点	全国	52.29	54.32	40.90	47.28
	愛知県	50.71	52.57	38.84	45.40
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	46位	47位	47位	46位
	宮崎県 (全体10位)	52.84	54.66	42.98	48.45
	熊本県 (全体20位)	52.40	54.55	41.62	48.44
	東京都 (全体33位)	52.59	54.40	40.08	46.62
握力 (kg)	全国	16.21	16.10	28.95	23.17
	愛知県	15.67	15.62	28.14	22.75
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	44位	43位	44位	43位
	宮崎県 (全体10位)	16.21	16.08	29.72	23.54
	熊本県 (全体20位)	16.53	16.49	29.90	23.99
	東京都 (全体33位)	16.37	16.16	28.88	22.89
上体起こし (回)	全国	18.86	17.97	25.64	21.58
	愛知県	17.76	16.79	24.94	20.93
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	47位	47位	42位	41位
	宮崎県 (全体10位)	18.78	17.86	26.11	21.59
	熊本県 (全体20位)	18.74	17.90	26.06	21.97
	東京都 (全体33位)	19.18	18.31	25.58	21.85
長座体前屈 (cm)	全国	33.80	38.20	43.76	46.05
	愛知県	33.26	37.75	42.75	45.20
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	26位	25位	39位	32位
	宮崎県 (全体10位)	33.66	37.68	45.99	45.71
	熊本県 (全体20位)	32.83	36.92	43.27	44.25
	東京都 (全体33位)	34.51	39.17	42.65	45.12
反復横跳び (回)	全国	40.37	38.67	51.02	45.81
	愛知県	39.49	37.75	50.86	45.94
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	41位	42位	37位	29位
	宮崎県 (全体10位)	41.59	39.95	51.98	46.42
	熊本県 (全体20位)	40.72	39.13	52.54	47.29
	東京都 (全体33位)	40.48	38.68	50.75	45.55
20mシャトルラン (回)	全国	45.93	36.98	77.69	51.34
	愛知県	41.95	33.09	73.88	48.12
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	46位	46位	45位	45位
	宮崎県 (全体10位)	46.48	38.13	81.02	54.14
	熊本県 (全体20位)	47.52	39.26	80.56	56.30
	東京都 (全体33位)	45.86	35.64	76.27	50.41

※. 愛知県の値には名古屋市を含む

表 2-2-5. 続き

測定項目	都道府県 他	小 5		中 2	
		男子	女子	男子	女子
50m走 (秒)	全国	9.53	9.70	8.06	8.97
	愛知県	9.60	9.77	8.20	9.12
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	37位	38位	46位	47位
	宮崎県 (全体10位)	9.53	9.69	8.10	8.99
	熊本県 (全体20位)	9.53	9.69	8.03	8.91
	東京都 (全体33位)	9.41	9.59	8.06	8.93
立ち幅跳び (cm)	全国	150.86	144.59	196.82	166.89
	愛知県	150.15	144.60	193.79	165.55
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	P=0.63	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	30位	22位	43位	38位
	宮崎県 (全体10位)	151.27	143.87	200.27	168.14
	熊本県 (全体20位)	150.07	143.60	198.75	170.02
	東京都 (全体33位)	150.40	144.19	195.60	166.28
ソフトボール投げ (小5) (m) ハンドボール投げ (中2) (m)	全国	20.31	13.16	20.20	12.38
	愛知県	19.19	12.47	19.59	12.20
	全国との有意差 (p値)	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	47位	46位	45位	37位
	宮崎県 (全体10位)	21.33	13.54	21.45	12.97
	熊本県 (全体20位)	20.95	13.47	20.95	13.04
	東京都 (全体33位)	19.89	12.51	20.13	12.19
1500m走 (男子) (秒) 1000m走 (女子) (秒)	全国	-	-	410.92	303.96
	愛知県	-	-	423.31	312.60
	全国との有意差 (p値)	-	-	p<0.01	p<0.01
	愛知県順位	-	-	41位	41位
	宮崎県 (全体10位)	-	-	407.13	307.41
	熊本県 (全体20位)	-	-	402.55	297.41
	東京都 (全体33位)	-	-	414.60	305.33

※. 愛知県の値には名古屋を含む

#### [考察]

- ・小5女子の立ち幅跳び以外のすべてで、全国値より有意に悪い結果であった。
- ・特に、握力や上体起こしといった筋力系の項目が弱く、また、投能力も極めて弱かった。
- ・小5の段階で順位が若干高い項目（長座体前屈、50m走、立ち幅跳び）の多くが、中2では順位が悪化していることから、小5から中2にかけて運動習慣や生活習慣が悪化していることが推察される。
- ・長座体前屈のみ、唯一、良好な状況だが、この項目は他とは体力得点との関連性が最も低いと考えられている項目であり（他と傾向が違う項目）、残念ながら好材料とは言い難い。

考察の結果を受けて、図 2-2-1～2-2-3 に筋力（握力）、筋持久力（上体起こし）、投能力（ソフトボール投げ/ハンドボール投げ）の結果を抽出し図示した。

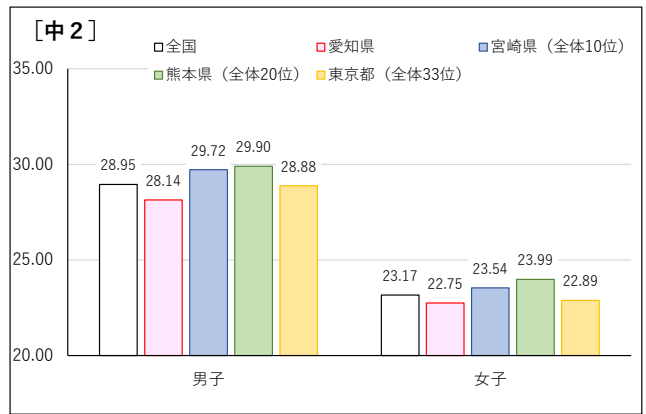
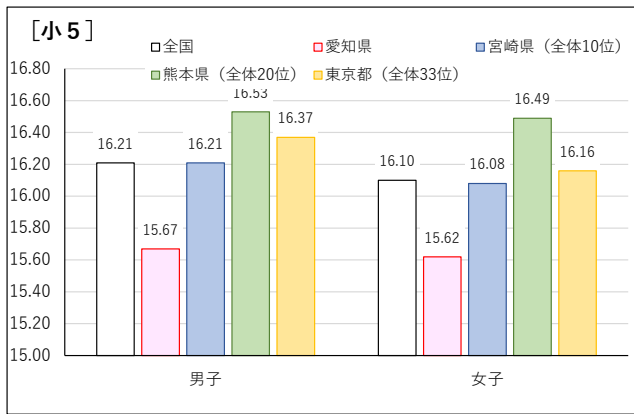


図 2-2-1. 握力の他都県および全国値との比較

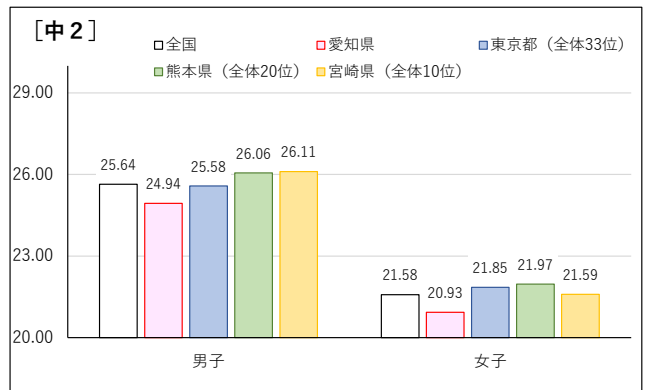
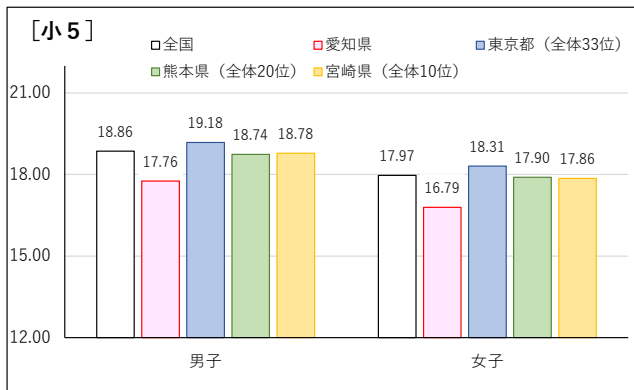


図 2-2-2. 上体起しの他都県および全国値との比較

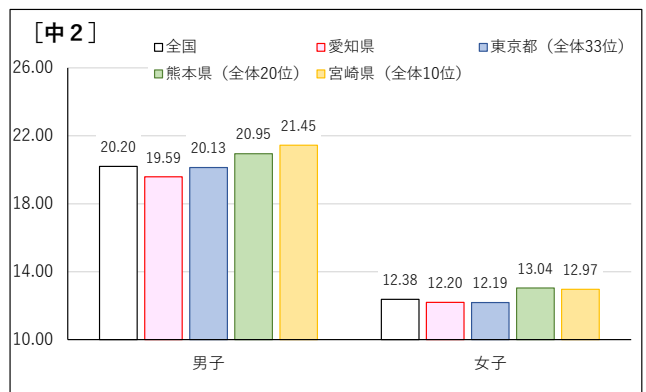
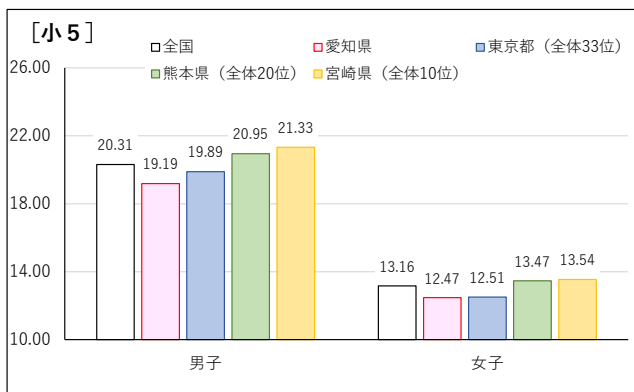


図 2-2-3. ソフトボール投げ/ハンドボール投げの他都県および全国値との比較

### 【2-3. 体力・運動能力測定値の評価分布および他都道府県との比較】

児童生徒における体力・運動能力測定値の評価分布の比較検討を行った結果を図 2-3-1 と図 2-3-2 に示した。評価分布については、A～E の 5 段階評価を A+B、C、D+E の 3 段階に区分した。また、愛知県の比較対象として、宮崎県（全体 10 位）、熊本県（全体 20 位）、東京都（全体 33 位）および全国を設定した。これら 5 つの対象都県と 3 段階の評価区分とのクロス集計を行い、構成比率の検定にはカイ二乗検定を用いて、効果量（ES）は Cramer's V を用いた。有意差がみられた場合は残差分析を行い、残差の絶対値が 1.96 以上の場合に差があるとみなした。すなわち、1.96 以上の場合は有意に高い割合、1.96 未満の場合は有意に低い割合とした。これらの分析は小 5（児童）、中 2（生徒）それぞれについて性別に検討した。なお、愛知県の値には名古屋市は含んでいない。

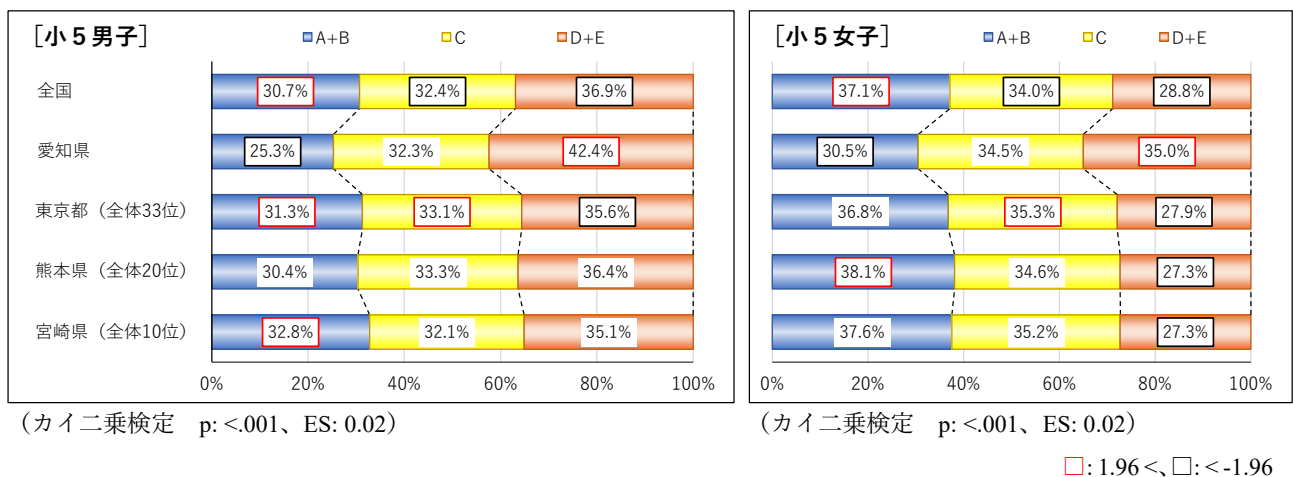


図 2-3-1. 小 5 における評価分布の比較

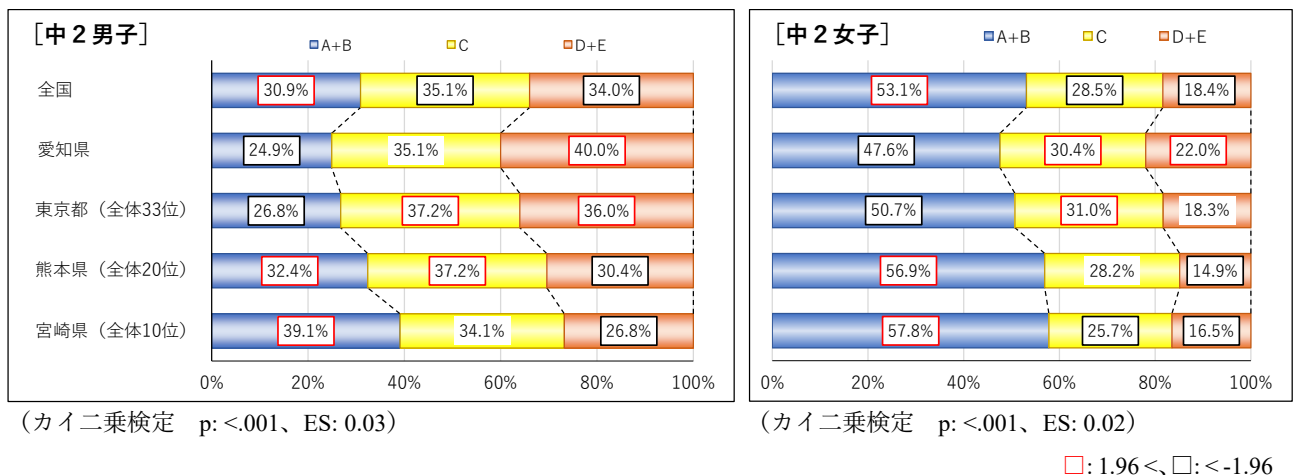


図 2-3-2. 中 2 における評価分布の比較

#### 【考察】

- ・小 5、中 2 の男女ともに D+E の割合は、比較都県と比べ有意に高い割合を示し、A+B の割合は有意に低い値を示した。
- ・特に、男子では D+E の低評価の割合が小 5、中 2 とともに 40% を占めていた。
- ・女子においては、男子ほどではないが、他都県に比べ高い割合を示していた。
- ・中 2 女子は、全体的に A+B の割合が高い傾向にあることがうかがえた。

次に、体力合計点の分布の比較について、ヒストグラムにより視覚的に傾向の把握を行った。縦軸は全体に占める割合（％）、横軸は体力合計点を示している。図 2-3-3 と図 2-3-4 に結果を示した。

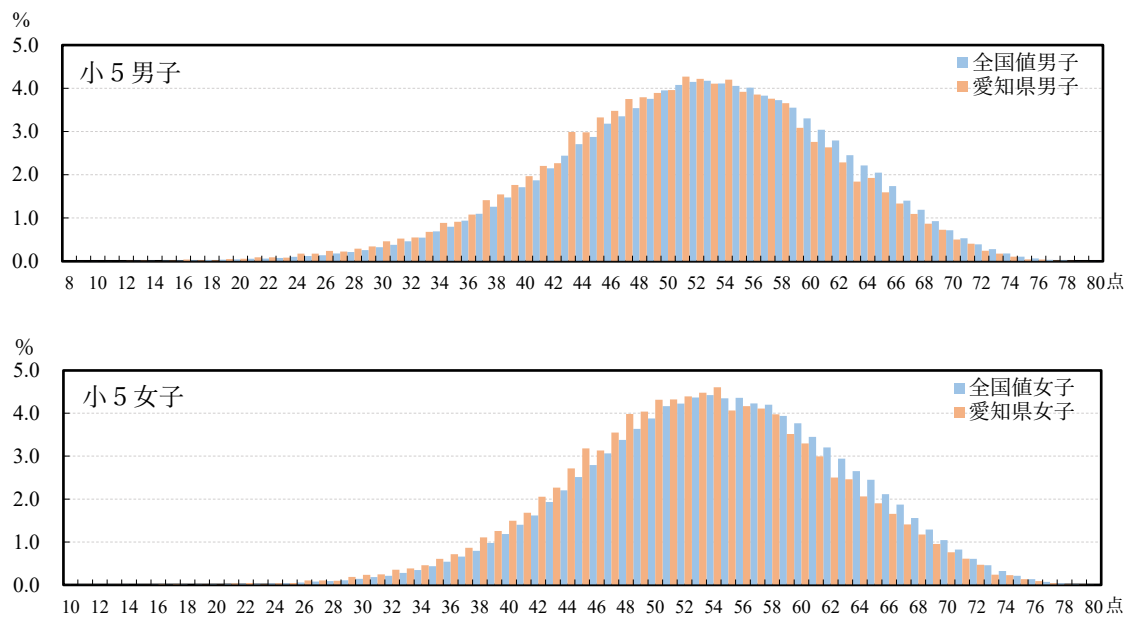


図 2-3-3. 小5における体力合計点の分布の比較

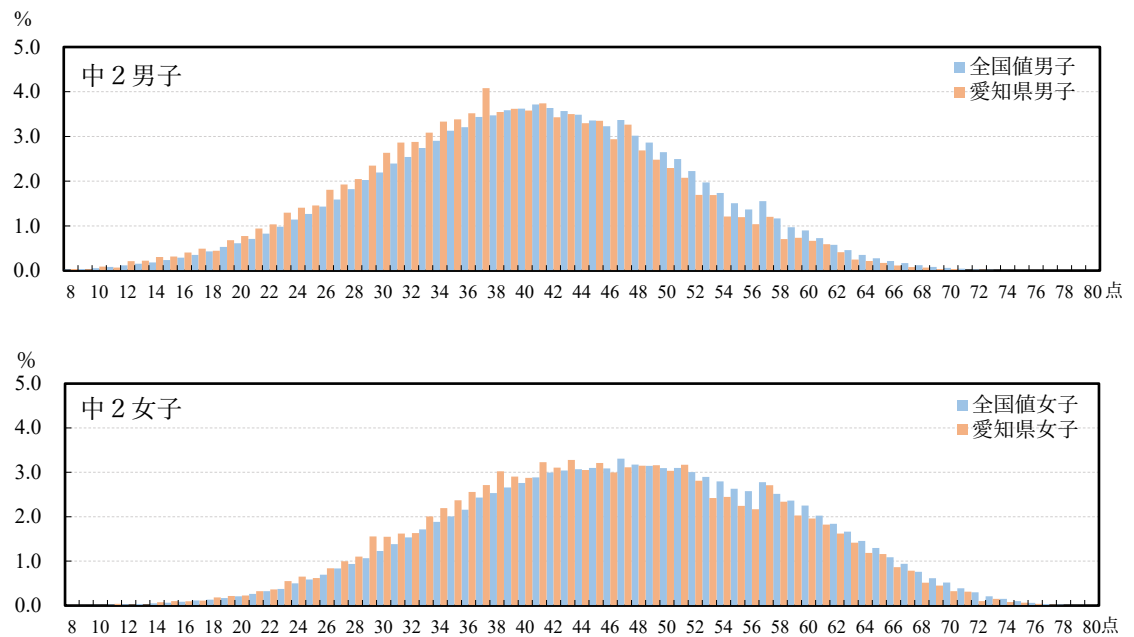


図 2-3-4. 中2における体力合計点の分布の比較

[考察]

- ・愛知県の体力合計点の分布は、小5、中2の男女ともに全国値に比べ左寄りになっていた。
- ・小5については、総合評価がD以下になる50点前後から割合が増えていることがわかった。
- ・中2については、総合評価D以下になる36点前後から割合が増えていることがわかった。
- ・全国と愛知県の体力合計点について、中2は小5に比べ得点分布の幅が広いことが示され、小5から中2にかけて得点の高い子と低い子の差が広がっていることが推察された。



さらに、小5と中2における体力・運動能力測定値の評価分布の違いを図2-3-5～2-3-9に示した。ここではA～Eの総合評価の比率の小5と中2での違いを明示するとともに、分布形状の変化を視覚的に示すことを目的とした。なお、ここで示すデータは横断データであるため、小5と中2は別集団であり、同一児童・生徒の変化を検討することはできない。

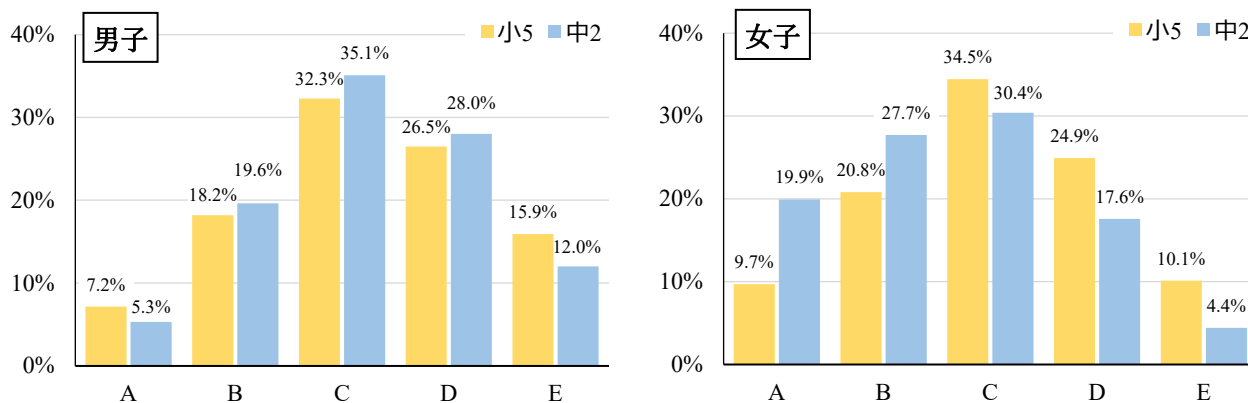


図 2-3-5. 愛知県における小5と中2の評価分布の比較

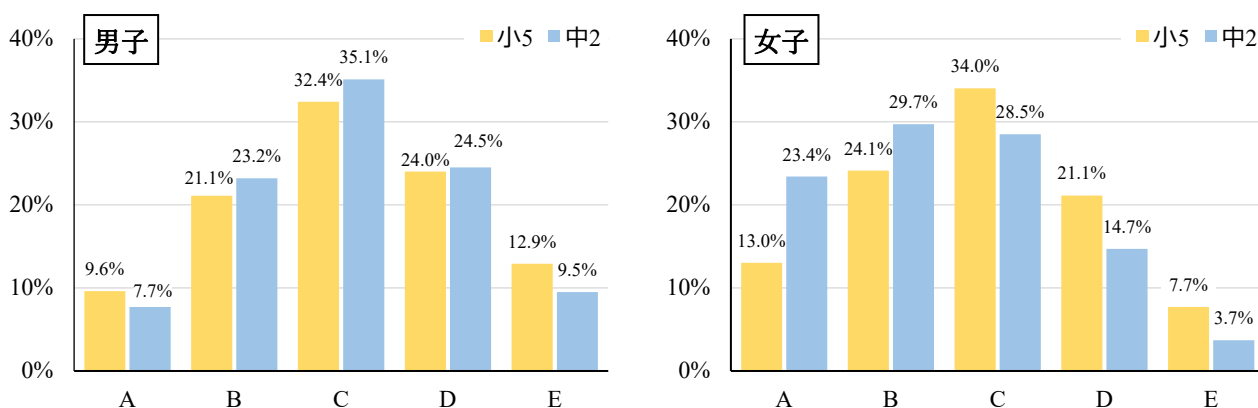


図 2-3-6. 全国における小5と中2の評価分布の比較

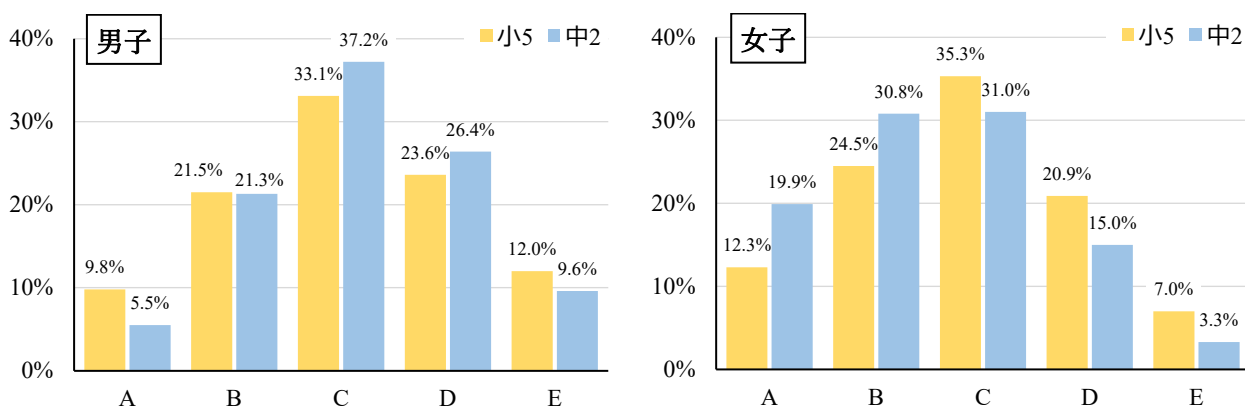


図 2-3-7. 東京都における小5と中2の評価分布の比較

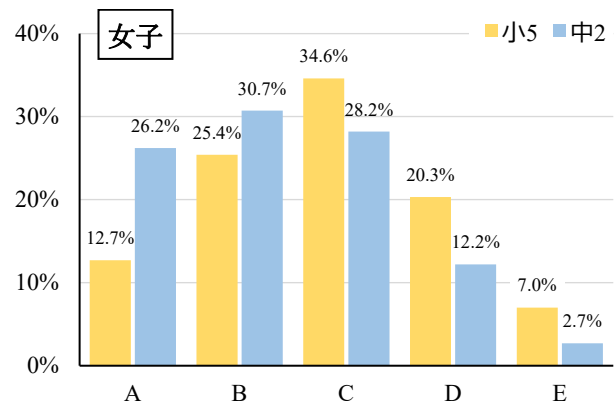
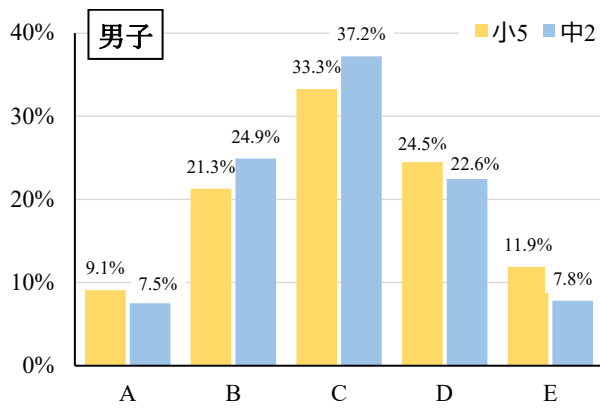


図 2-3-8. 熊本県における小5と中2の評価分布の比較

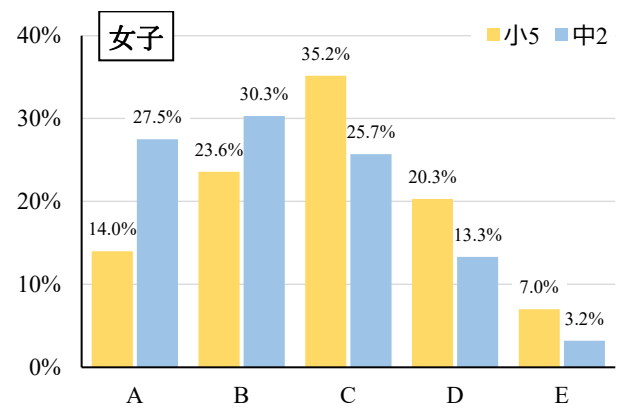
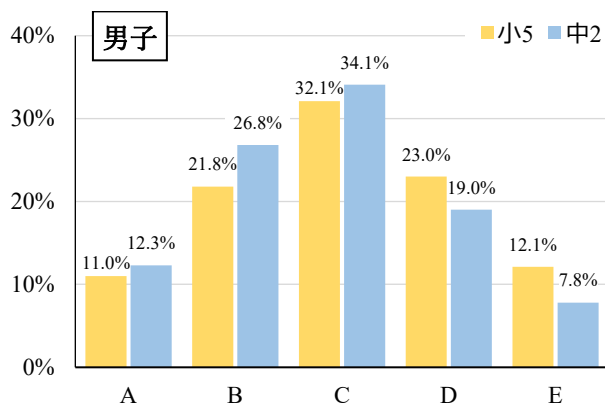


図 2-3-9. 宮崎県における小5と中2の評価分布の比較

表 2-3-1. 小5と中2における評価分布の違い (男子)

評価	愛知		宮崎		熊本		東京		全国	
	小5 (22796)	中2 (22066)	小5 (4882)	中2 (4156)	小5 (7616)	中2 (6947)	小5 (47299)	中2 (36039)	小5 (501742)	中2 (466965)
A	7.2%	5.3%	11.0%	12.3%	9.1%	7.5%	9.8%	5.5%	9.6%	7.7%
B	18.2%	19.6%	21.8%	26.8%	21.3%	24.9%	21.5%	21.3%	21.1%	23.2%
C	32.3%	35.1%	32.1%	34.1%	33.3%	37.2%	33.1%	37.2%	32.4%	35.1%
D	26.5%	28.0%	23.0%	19.0%	24.5%	22.6%	23.6%	26.4%	24.0%	24.5%
E	15.9%	12.0%	12.1%	7.8%	11.9%	7.8%	12.0%	9.6%	12.9%	9.5%

※. 括弧内は人数を示す

表 2-3-2. 小5と中2における評価分布の違い (女子)

評価	愛知		宮崎		熊本		東京		全国	
	小5 (22796)	中2 (22066)	小5 (4882)	中2 (4156)	小5 (7616)	中2 (6947)	小5 (47299)	中2 (36039)	小5 (501742)	中2 (466965)
A	9.7%	19.9%	14.0%	27.5%	12.7%	26.2%	12.3%	19.9%	13.0%	23.4%
B	20.8%	27.7%	23.6%	30.3%	25.4%	30.7%	24.5%	30.8%	24.1%	29.7%
C	34.5%	30.4%	35.2%	25.7%	34.6%	28.2%	35.3%	31.0%	34.0%	28.5%
D	24.9%	17.6%	20.3%	13.3%	20.3%	12.2%	20.9%	15.0%	21.1%	14.7%
E	10.1%	4.4%	7.0%	3.2%	7.0%	2.7%	7.0%	3.3%	7.7%	3.7%

※. 括弧内は人数を示す

[まとめ]

- ・図 2-3-3 および図 2-3-4 で示したように、愛知県は全国値に比べ体力合計得点は低い傾向にあることが示された。小5と中2を比べてみると、小5の方がその差は大きく、中2では大きな差はないことが窺える。これらを踏まえたうえで、図 2-3-5 の小5と中2の評価分布の違いをみてみると、愛知県においては、AとBの評価の割合は全国、比較都県と比べ低いことがわかる。特にDとEを併せた評価の割合は、愛知県の小5、中2の男子で40%を占め、これは他の比較都県と比べ明らかに多いことが示された。
- ・表 2-3-1 および表 2-3-2 をみると、愛知県の中でも男女に違いがあることがわかる。なかでも体力・運動能力の記録が高いA評定と低いD評定をみてみると、その差が明らかであった。すなわちA評定では、男子は中2の方が割合は少ないのに対し、女子では明らかに中2の方がA評定の割合が多くなっている。また、D評定では、男子は中2の方が割合は多いのに対し、女子ではその割合が明らかに少なくなっていた。
- ・比較都県をみても、女子は中2でAとBの評定の割合が大幅に増加していることがわかった。これらについて、男女で評価得点の基準は異なるため、中2の女子の方が体力・運動能力が高いという安易な解釈はここではできないが、男女で評定が高いグループの運動習慣等に違いがみられるかもしれない。



## 【2-4 「運動やスポーツが好き」の愛知県の現状および他都道府県との比較】

「運動やスポーツが好き」の項目は、スポーツ庁の報告でも非常に重要視されており、この項目が良好になることを大前提とした上での体力向上であると言える。また、実際に体力測定値との間にも強い関係が認められており、極めて重要な項目であると言える。そこで、本報告書においても、愛知県の児童生徒の「運動やスポーツが好き」の実態について改めて示すこととした。表 2-4-1 に、「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いに対する回答の比率を他都県および全国値と比較した結果を示す。あわせて、図 2-4-1 では、回答比率の違いを視覚的に把握するために、帯グラフを用いて他都県との状況の違いを図示した。

表 2-4-1. 「運動やスポーツが好き」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国		69.8%	22.6%	5.2%	2.4%	55.0%	31.0%	9.7%	4.3%
愛知県		67.9%	23.8%	5.6%	2.7%	53.0%	32.1%	10.2%	4.7%
宮崎県 (全体10位)		68.8%	23.5%	5.0%	2.6%	53.3%	33.8%	9.2%	3.6%
熊本県 (全体20位)		68.8%	23.7%	5.4%	2.2%	53.1%	32.7%	10.1%	4.1%
東京都 (全体33位)		72.8%	20.1%	4.7%	2.4%	59.7%	28.0%	8.3%	3.9%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			
運動やスポーツをすることが好きですか。	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国		61.7%	27.1%	7.4%	3.8%	44.1%	33.1%	15.2%	7.6%
愛知県		59.5%	28.7%	8.3%	3.6%	42.7%	33.8%	16.0%	7.5%
宮崎県 (全体10位)		63.8%	26.5%	6.3%	3.4%	46.3%	35.8%	12.3%	5.6%
熊本県 (全体20位)		61.4%	27.2%	7.7%	3.7%	39.8%	35.9%	16.6%	7.8%
東京都 (全体33位)		64.3%	24.6%	6.8%	4.3%	48.4%	30.1%	13.7%	7.8%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

※. 愛知県の値には名古屋市を含む

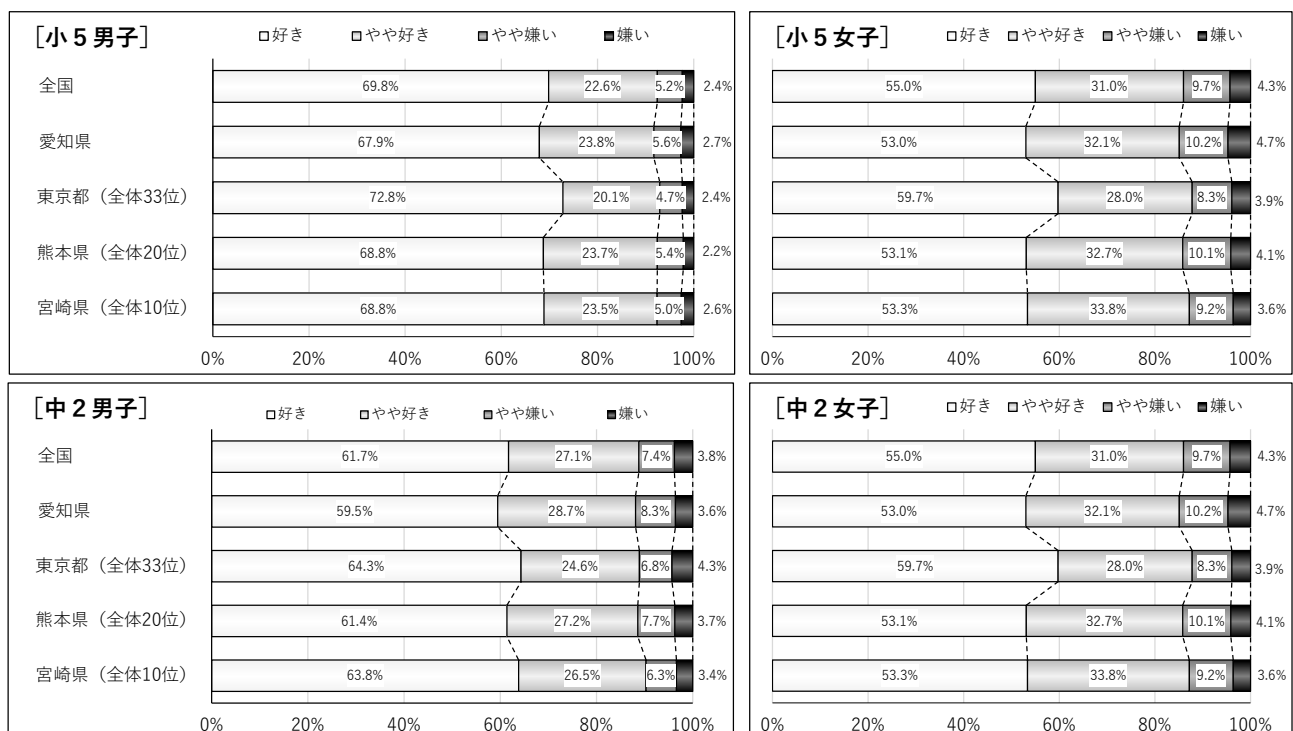


図 2-4-1. 「運動やスポーツが好き」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・愛知県においては、運動が好きの割合が明らかに低い。男子も女子も低く、この規模の統計調査で2%の差はかなり大きな差であると言える。
- ・特に中学生男子では、他都県に比べて「好き」の割合が低い。一方で、ランキング10位の宮崎県は、好きが相対的に多く、嫌いが少なく、目標にすべき形である。
- ・東京都においては、2-2 で述べた通り、児童では、かなり良好な順位であるため、それに伴って「運動やスポーツが好き」の割合は高くなっている。
- ・「やや好き」「やや嫌い」などを含めて観察しても、全体的に愛知県は児童生徒の運動嗜好が良好ではないことがうかがえる。測定値の向上は成果としてとても大切であるが、まずは、運動やスポーツが好きという気持ちを育むような取り組みが重要であると思われる。

## 【2-5 「肥満度」の愛知県の現状および他都道府県との比較検討】

「肥満度」は、特に、令和4年度に関しては大きく問題視された項目である。スポーツ庁の報告によれば、肥満傾向の児童生徒の方が、体力総合評価が低い傾向にあることが示されている。同時に、痩身傾向の児童生徒においても、肥満ほどではないが、平均的な体格の児童生徒に比べると総合評価が悪くなる傾向が示されている。令和4年度は新型コロナウイルスの影響もあって、肥満の方がクローズアップされた感もあるが、学校保健統計などでは、痩身の児童生徒の増加も危惧されており、注目しておく必要がある。表 2-5-1 に肥満・痩身の状況を他都県および全国と比較した結果を示す。

表 2-5-1. 児童生徒の肥満・痩身状況の他都県および全国との比較

測定項目	都道府県 他	小 5					
		男子			女子		
		肥満	普通	痩身	肥満	普通	痩身
全国		14.5%	82.9%	2.5%	9.7%	87.6%	2.6%
愛知県		13.1%	84.0%	2.9%	8.8%	88.4%	2.8%
宮崎県 (全体10位)		18.6%	79.6%	1.9%	13.2%	85.2%	1.5%
熊本県 (全体20位)		15.6%	82.7%	1.7%	11.7%	86.3%	2.0%
東京都 (全体33位)		12.7%	84.7%	2.7%	8.0%	89.0%	3.0%
有意確率 (p値)		p<0.05			p<0.05		

肥満/痩身の状況	都道府県 他	中 2					
		男子			女子		
		肥満	普通	痩身	肥満	普通	痩身
全国		11.3%	85.4%	3.2%	7.4%	88.6%	3.9%
愛知県		11.1%	85.2%	3.7%	7.2%	88.5%	4.3%
宮崎県 (全体10位)		14.3%	83.8%	1.8%	11.6%	86.4%	2.0%
熊本県 (全体20位)		12.0%	85.8%	2.2%	10.1%	87.1%	2.9%
東京都 (全体33位)		10.7%	85.7%	3.5%	6.8%	89.1%	4.1%
有意確率 (p値)		p<0.05			p<0.05		

※. 愛知県の値には名古屋市を含む

### [考察]

- ・肥満の児童生徒はむしろ少ないが、痩身の児童生徒が、特に女子が目立って多い。
- ・体力測定値の面では、筋力の弱さとも関係があるかもしれない。
- ・中2では、肥満も全国値や他都県との差が縮まることを考えると、小5から中2にかけて運動不足になる児童性の増加が推察される。

以上の考察を受けて、図 2-5-1 には、性・学年別の痩身傾向の割合を図示した。

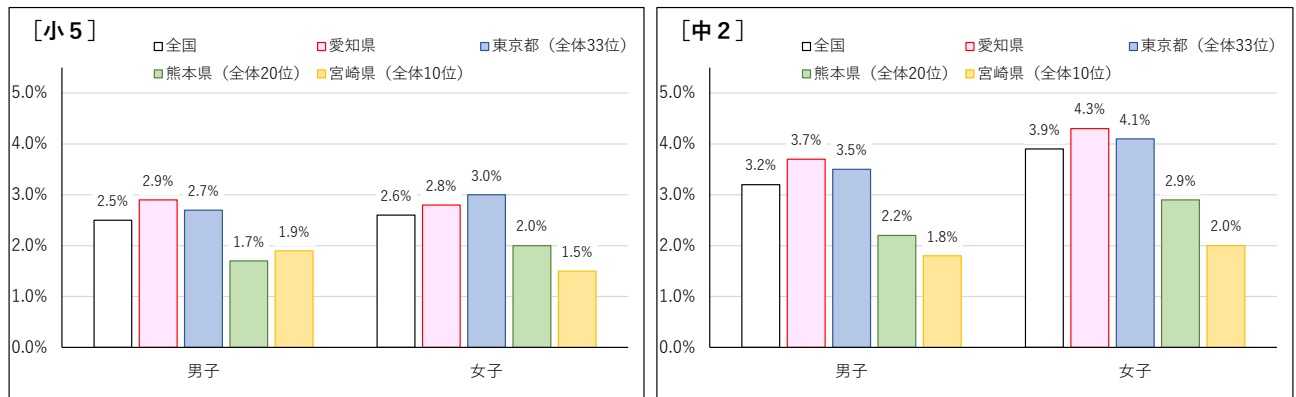


図 2-5-1. 性・学年別の痩身傾向の割合





## 【2-6 運動習慣、生活習慣項目の愛知県の現状および他都道府県との比較】

### －運動習慣－

(運動は大切、今後の運動実施)

運動習慣関連の項目として、最初に「運動は大切」と「今後の運動実施」の比較結果を示す。これらの項目は、運動を実施することに対する価値を見童生徒がどのようにとらえているかを示しているものと考えることができる。表 2-6-1 と 2-6-2 に各項目の他都県および全国値との比較結果、ならびに、図 2-6-1 と 2-6-2 に「大切」「やや大切」、「実施したい」「実施したいとやや思う」に焦点化した図を示した。

表 2-6-1. 「運動は大切」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
全国		68.7%	24.6%	5.3%	1.4%	59.2%	31.5%	7.8%	1.5%
愛知県		65.5%	26.9%	6.1%	1.5%	55.0%	34.2%	9.0%	1.8%
宮崎県 (全体10位)		64.7%	28.5%	5.4%	1.4%	56.4%	34.2%	8.0%	1.4%
熊本県 (全体20位)		65.3%	27.5%	6.0%	1.2%	56.5%	34.2%	7.9%	1.4%
東京都 (全体33位)		71.2%	21.8%	5.2%	1.7%	62.2%	28.3%	7.5%	2.0%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

あなたにとって運動 (体を動かす遊びをふくむ) やスポーツは大切なものですか。	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
全国		65.5%	26.3%	6.3%	1.9%	50.3%	35.9%	11.2%	2.5%
愛知県		60.7%	29.4%	7.9%	1.9%	46.4%	37.9%	12.9%	2.8%
宮崎県 (全体10位)		67.8%	25.2%	5.4%	1.5%	51.9%	36.8%	9.6%	1.7%
熊本県 (全体20位)		66.7%	26.1%	5.7%	1.5%	49.2%	38.1%	10.6%	2.0%
東京都 (全体33位)		67.0%	24.3%	6.1%	2.6%	53.8%	31.7%	11.1%	3.4%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

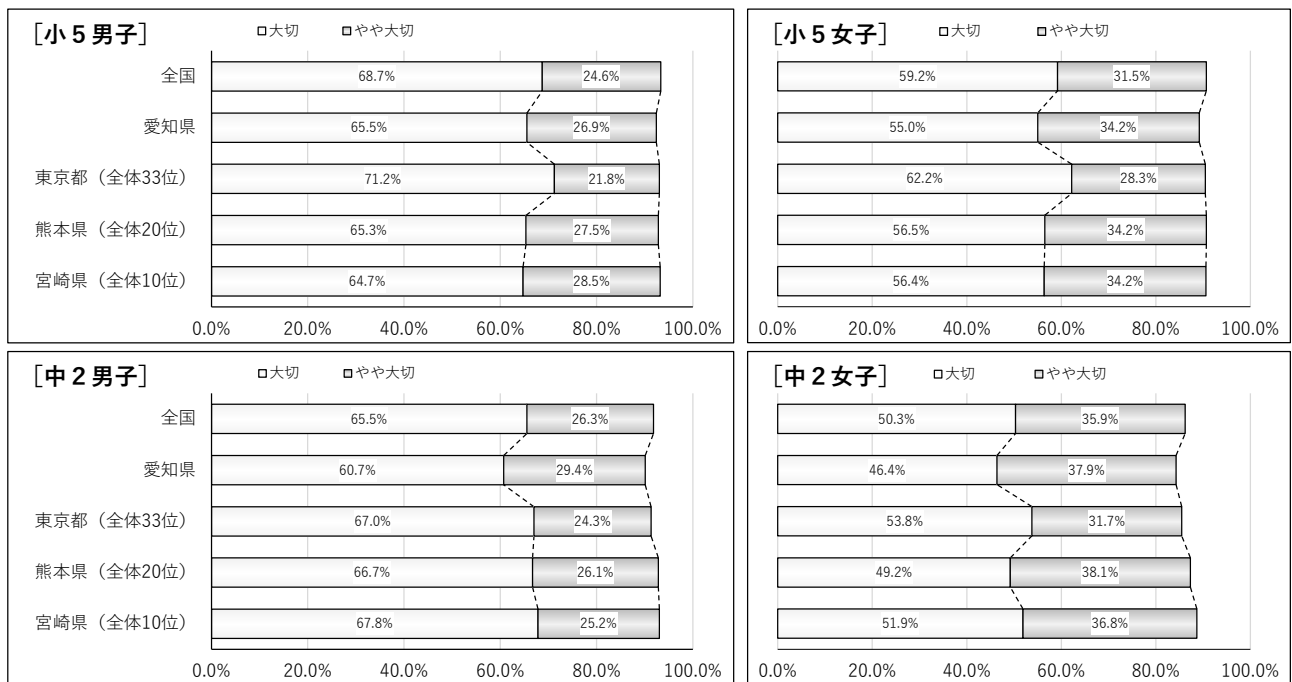


図 2-6-1. 「運動は大切」「運動はやや大切」の他都県および全国との比較

表 2-6-2. 「今後の運動実施」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
児童： 中学校に進んだら、授業 以外でも自主的に運動 (体を動かす遊びをふく む) やスポーツをする時 間を持ちたいと思います か。	全国	63.2%	25.2%	8.8%	2.8%	54.9%	30.1%	11.8%	3.2%
	愛知県	61.2%	26.2%	9.6%	3.0%	51.4%	31.8%	13.1%	3.7%
	宮崎県 (全体10位)	63.2%	24.7%	9.1%	3.0%	55.6%	29.9%	11.6%	2.9%
	熊本県 (全体20位)	61.7%	26.4%	9.4%	2.5%	52.8%	31.8%	12.5%	2.9%
	東京都 (全体33位)	64.9%	23.1%	8.8%	3.3%	57.3%	27.9%	11.2%	3.6%
	有意確率 (p値)	p<0.05				p<0.05			
生徒： 中学校を卒業した後運動 (体を動かす遊びをふく む) やスポーツをする時 間を持ちたいと思います か。 <th rowspan="3">都道府県 他</th> <th colspan="8">中2</th>	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		思う	やや思う	あまり 思わない	思わない	思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
児童： 中学校に進んだら、授業 以外でも自主的に運動 (体を動かす遊びをふく む) やスポーツをする時 間を持ちたいと思います か。	全国	56.1%	29.3%	11.0%	3.6%	41.6%	36.4%	16.8%	5.2%
	愛知県	52.7%	31.4%	12.2%	3.7%	39.8%	37.2%	17.7%	5.3%
	宮崎県 (全体10位)	57.9%	29.4%	10.0%	2.7%	44.6%	36.7%	14.5%	4.2%
	熊本県 (全体20位)	55.8%	30.4%	10.9%	2.9%	38.1%	39.5%	17.9%	4.5%
	東京都 (全体33位)	58.0%	27.3%	10.1%	4.6%	46.4%	32.2%	15.2%	6.2%
	有意確率 (p値)	p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

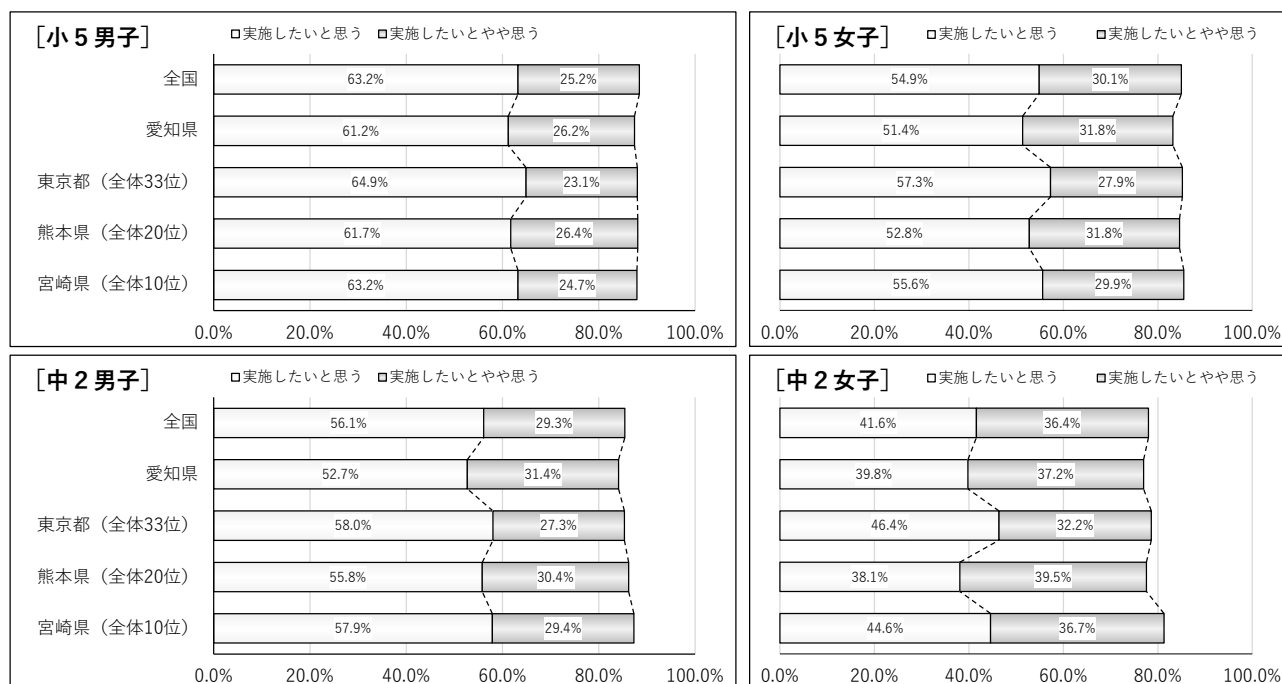


図 2-6-2. 「今後も運動を実施したいと思う」「今後も運動をやや実施したいと思う」の他都県および全国との比較

[考察]

『運動は大切』

- ・「運動は大切」と考える児童生徒が他都県および全国値と比較しても低いことが確認された。特に中学生では、その傾向が顕著であった。
- ・「運動は大切」と「運動はやや大切」の和においても、すべての性・学年で全国値を明らかに下回っていた。また、この数値に関しては、他都県の体力測定値の順位に比例して変化していることが確認された。
- ・順位との比例関係より、運動は大切という気持ちを育むことの重要性が再確認された。

### 『今後の運動実施』

- ・「今後の運動実施」の意志がすべての性・学年において低いことが確認された。
- ・特に、女子において他都県と比べて低い傾向にあった。
- ・「実施したいと思う」「実施したいとやや思う」の和においても他県や全国値に比べて低くなっていた。
- ・特に、男子ではこの項目の結果と体力測定値の順位との比例関係が観察された。また、スポーツ庁も重視している項目であり、生涯スポーツの意味合いからも、この項目の向上は大きな課題である。

### (まとめ)

- ・「運動は大切」という意識の低さが「今後の運動実施」への意志を低下させていると推察される。
- ・運動の大切さや価値を正しく伝え、様々な環境、水準で運動継続をできるような環境整備を行っていることが、子どもの運動継続意志を高めるためには重要であると考えられる。

以上の考察を受けて、「運動は大切」と「今後の運動実施」の関係を検討した結果を図 2-6-3 に示す。この結果においては、統計的な検定においても有意な関係が確認された。

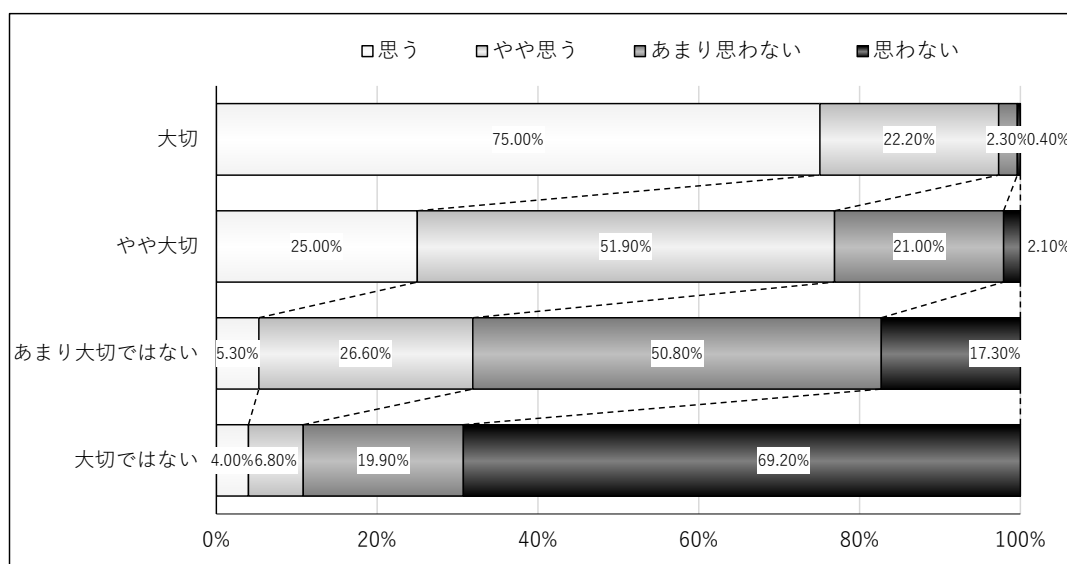


図 2-6-3. 「運動は大切」と「今後の運動実施」の関係

### [考察]

- ・「運動は大切」と考えている児童生徒ほど、今後の運動実施の意志が強いことが確認された。
- ・「運動が大切」と「運動は大切ではない」では、今後、運動を実施したいと思う割合が実に 71% 違っており、運動の大切さや価値を子どもの頃に伝えることの重要性が確認された。
- ・愛知県においては、「運動が大切」の割合が低く、伴って今後の運動継続への意欲も引くなっていることが推察される。子どもの頃から、その大切さや楽しさを伝える活動を重視し、結果的に運動を今後も継続したいと思えるような指導、教育が求められると思われる。

(一週間の総運動時間)

表 2-6-3 に一週間の総運動時間の他都県および全国値との比較結果を示した。同様に、60 分未満の回答した児童生徒の詳細の内訳を表 2-6-4 に示した。

表 2-6-3. 一週間の総運動時間の他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小 5							
		男子				女子			
		0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全国		4.3%	4.5%	41.0%	50.1%	5.8%	8.8%	56.3%	29.2%
愛知県		4.7%	4.7%	41.7%	48.9%	6.5%	9.4%	55.6%	27.5%
宮崎県 (全体10位)		5.0%	4.6%	39.2%	51.2%	5.2%	7.7%	52.4%	34.7%
熊本県 (全体20位)		3.7%	4.4%	40.4%	51.4%	5.1%	7.9%	55.7%	31.2%
東京都 (全体33位)		3.7%	3.8%	42.9%	49.6%	5.0%	7.4%	59.2%	28.5%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			
中 2									
1 週間の総運動時間	都道府県 他	中 2							
		男子				女子			
		0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上	0分	1分以上～ 60分未満	60分以上～ 420分未満	420分以上
全国		5.8%	2.3%	13.8%	78.1%	12.3%	5.8%	24.2%	57.7%
愛知県		6.2%	2.4%	17.5%	73.9%	12.3%	5.7%	27.9%	54.1%
宮崎県 (全体10位)		4.1%	2.3%	10.0%	83.6%	8.5%	5.9%	23.1%	62.5%
熊本県 (全体20位)		6.0%	2.1%	12.4%	79.5%	11.3%	5.8%	25.7%	57.2%
東京都 (全体33位)		6.5%	3.1%	18.8%	71.6%	12.4%	6.8%	27.8%	52.9%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

表 2-6-4. 一週間の総運動時間が 60 分未満の児童生徒の割合の全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小 5					
		男子			女子		
		0分	1分以上～ 30分未満	30分以上～ 60分未満	0分	1分以上～ 30分未満	30分以上～ 60分未満
全国		4.3%	1.9%	2.6%	5.8%	3.7%	5.2%
愛知県		4.8%	1.6%	2.0%	6.5%	4.0%	4.9%
有意確率 (p値)		p=0.112			p=0.134		
中 2							
1 週間の総運動時間	都道府県 他	中 2					
		男子			女子		
		0分	1分以上～ 30分未満	30分以上～ 60分未満	0分	1分以上～ 30分未満	30分以上～ 60分未満
全国		5.8%	1.1%	1.3%	12.3%	2.5%	3.4%
愛知県		5.5%	1.3%	2.6%	11.9%	2.8%	4.5%
有意確率 (p値)		p<0.05			p<0.05		

[考察]

- ・一週間の総運動時間に関しては、目立った違いは確認されなかった。
- ・ただし、愛知県に限らず、年々、0 分や 30 分未満といった運動時間がほとんどない児童生徒が増加が観察されており、益々、二極化が進んでいる傾向にある。そのため、多様なニーズに応える運動環境や指導の工夫により、運動時間が極端に少ない児童生徒の減少の心がて行く必要があると思われる。

(学校の運動部、地域クラブおよび地域クラブ以外での活動)

表 2-6-5 に学校の運動部および地域のスポーツクラブへの加入状況の他都県および全国値との比較結果を示した。同様に、学校の運動部および地域のスポーツクラブ以外での運動実施状況の他都県および全国値との比較結果を表 2-6-6 に示した。

表 2-6-5. 学校の運動部および地域のスポーツクラブへの加入状況の他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小 5							
		男子				女子			
		運動部	文化部	地域の スポーツクラブ	入って いない	運動部	文化部	地域の スポーツクラブ	入って いない
児童： 学校の運動部や地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事をふくみます）に入っていますか。当てはまるものすべてを選んでください。	全国	27.2%	-	49.5%	34.3%	19.3%	-	34.6%	51.5%
	愛知県	37.7%	-	48.5%	30.4%	28.6%	-	33.2%	46.8%
	宮崎県（全体10位）	27.5%	-	42.0%	37.5%	18.1%	-	27.3%	57.8%
	熊本県（全体20位）	23.9%	-	52.8%	31.0%	18.2%	-	39.4%	46.8%
	東京都（全体33位）	20.4%	-	55.8%	33.7%	12.7%	-	40.2%	51.6%
	有意確率（p値）	p<0.05				p<0.05			
生徒： 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべてを選んでください。	都道府県 他	中 2							
		男子				女子			
		運動部	文化部	地域の スポーツクラブ	入って いない	運動部	文化部	地域の スポーツクラブ	入って いない
全国	愛知県	72.8%	11.0%	18.6%	8.9%	56.4%	30.7%	10.9%	10.7%
	宮崎県（全体10位）	73.2%	10.9%	22.5%	10.1%	56.4%	30.7%	12.4%	11.2%
	熊本県（全体20位）	72.2%	5.9%	16.6%	10.9%	57.3%	23.1%	9.8%	14.4%
	東京都（全体33位）	69.5%	5.0%	19.3%	14.9%	51.2%	21.4%	12.6%	22.3%
	有意確率（p値）	66.6%	14.8%	22.2%	10.6%	52.8%	33.3%	12.5%	12.0%
	有意確率（p値）	p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

表 2-6-6. 運動部および地域のスポーツクラブ以外での運動実施状況の他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小 5							
		男子				女子			
		よくある	時々ある	あまりない	全くない	よくある	時々ある	あまりない	全くない
放課後や学校が休みの日に、運動部（部活動）や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。	全国	43.0%	33.6%	14.2%	9.1%	31.8%	39.8%	18.0%	10.5%
	愛知県	42.1%	34.0%	14.8%	9.1%	29.7%	39.6%	19.8%	10.9%
	宮崎県（全体10位）	43.4%	34.2%	13.1%	9.3%	32.4%	40.5%	16.9%	10.2%
	熊本県（全体20位）	41.2%	35.1%	14.2%	9.4%	29.4%	41.3%	19.2%	10.1%
	東京都（全体33位）	45.5%	31.2%	14.0%	9.3%	33.6%	37.4%	17.5%	11.5%
	有意確率（p値）	p<0.05				p<0.05			
生徒： 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべてを選んでください。	都道府県 他	中 2							
		男子				女子			
		よくある	時々ある	あまりない	全くない	よくある	時々ある	あまりない	全くない
全国	愛知県	33.2%	32.8%	20.7%	13.3%	17.9%	32.8%	29.8%	19.4%
	宮崎県（全体10位）	31.5%	33.5%	21.3%	13.7%	16.9%	33.2%	30.5%	19.4%
	熊本県（全体20位）	37.3%	35.4%	16.9%	10.3%	19.9%	37.5%	28.0%	14.6%
	東京都（全体33位）	33.9%	33.4%	20.8%	11.8%	16.4%	33.3%	31.9%	18.4%
	有意確率（p値）	37.3%	29.5%	19.6%	13.5%	21.4%	30.1%	28.3%	20.2%
	有意確率（p値）	p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

[考察]

- ・運動部および地域のスポーツクラブへの加入状況に関しては、児童では愛知県は良好な値であった。これは、愛知県は他都道府県に比べて小学校の部活動が根付いていいることが大きな要因であると思われる。
- ・一方で、生徒に関しては、他都県と大きな違いがなくなっている。悪い値ではないが、児童期に部活動を実施していることを考慮すると、中学校にいても、継続して多くの生徒が運動やスポーツを実施できるような環境の充実を期待したい。
- ・運動部や地域スポーツクラブ以外での運動実施状況に関しては、いずれの性・学年においても全国値および他都県と比べても低率であった。この結果から、部活やクラブに加入しないと運動を実施しづらい環境が想定される。

## －生活習慣－

ここからは、生活習慣関連の項目（朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイム）について示す。

### （朝食摂取）

最初に毎日の朝食摂取の結果を示す。朝食摂取は、スポーツ庁の報告書でも重要視されており、毎日摂取している児童生徒の方が、体力測定値も良好であることが示されている。一方で、近年は徐々に毎日朝食を摂取する児童生徒の割合が減少してきていることも示されており、継続的に観察し、再度の改善に努める状況にある項目である。表 2-6-7 に他都県および全国値との比較の結果を示した。また、毎日摂取の状況に焦点化した結果を図 2-6-4 に示した。

表 2-6-7. 朝食摂取の他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
全国		82.3%	14.0%	2.7%	1.0%	81.1%	15.6%	2.7%	0.7%
愛知県		82.5%	14.0%	2.6%	1.0%	80.8%	15.9%	2.6%	0.7%
宮崎県 (全体10位)		80.7%	15.8%	2.4%	1.0%	80.5%	16.8%	2.1%	0.6%
熊本県 (全体20位)		82.8%	13.6%	2.7%	0.9%	80.6%	16.1%	2.8%	0.4%
東京都 (全体33位)		86.4%	10.7%	2.1%	0.9%	85.8%	11.4%	2.2%	0.6%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

測定項目	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
朝食は毎日食べますか。 (学校が休みの日もふくめます)		80.1%	13.9%	3.8%	2.2%	73.6%	20.3%	4.3%	1.8%
全国		80.1%	13.9%	3.8%	2.2%	73.6%	20.3%	4.3%	1.8%
愛知県		78.1%	15.5%	4.2%	2.2%	70.7%	22.9%	4.5%	1.9%
宮崎県 (全体10位)		81.7%	13.5%	3.4%	1.4%	74.7%	20.8%	3.4%	1.1%
熊本県 (全体20位)		82.2%	12.5%	3.5%	1.7%	74.1%	20.6%	4.0%	1.3%
東京都 (全体33位)		82.6%	11.7%	3.3%	2.3%	77.3%	16.5%	4.3%	1.9%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

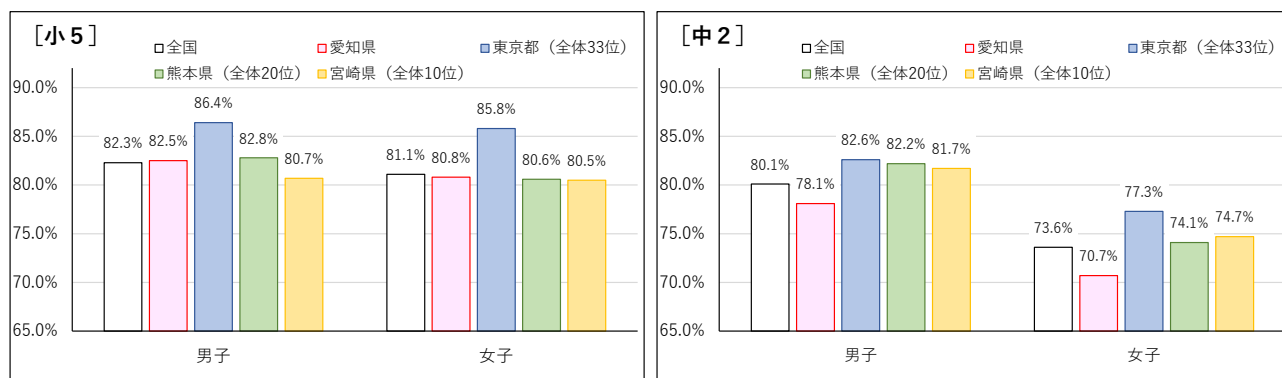


図 2-6-4. 毎日、朝食を摂取する児童生徒の割合の他都県および全国との比較

### [考察]

- ・朝食摂取に関しては、スポーツ庁の報告書を見ても、毎日摂取が原則と言える。そのような観点で結果を見ていくと、愛知県はかなり低水準であることが確認された。
- ・特に、中学生の朝食摂取率が極めて低く、また、男女で比較すると女子の方が好ましくない状況が確認された。
- ・全国的に、ここ数年、児童生徒の朝食摂取率は低下しているが、それにも増して愛知県の状況は悪く、かなり、良くない状況と認識するべきである。

(睡眠時間)

次に睡眠時間の結果を見ていく。睡眠時間に関しては、スポーツ庁の報告書において、児童では8時間以上10時間未満、生徒では6時間以上8時間未満の児童生徒が体力測定値が高い傾向にあることが確認されている。そこで、本報告書でも、この範囲を良好な睡眠時間(表中、網掛けにて明記)としてとらえて検討した。表2-6-8に他都県および全国値との比較結果を示した。また、8時間以上10時間未満の児童、6時間以上8時間未満の生徒の割合に焦点化した結果を図2-6-4に示した。

表2-6-8. 睡眠時間の他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		10時間以上	8時間以上 10時間未満	6時間以上 8時間未満	6時間未満	10時間以上	8時間以上 10時間未満	6時間以上 8時間未満	6時間未満
全国		10.0%	56.7%	29.5%	3.8%	9.5%	59.7%	28.2%	2.7%
愛知県		10.1%	57.1%	28.8%	4.0%	9.5%	60.1%	27.6%	2.7%
宮崎県 (全体10位)		8.4%	56.6%	30.9%	4.1%	8.2%	60.1%	28.7%	3.0%
熊本県 (全体20位)		8.6%	56.7%	30.8%	3.9%	8.7%	59.5%	29.0%	2.7%
東京都 (全体33位)		10.0%	55.4%	30.6%	3.9%	9.5%	57.5%	30.2%	2.9%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

測定項目	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		10時間以上	8時間以上 10時間未満	6時間以上 8時間未満	6時間未満	10時間以上	8時間以上 10時間未満	6時間以上 8時間未満	6時間未満
全国		2.0%	25.8%	63.6%	8.6%	1.1%	19.1%	67.2%	12.6%
愛知県		2.1%	25.8%	62.6%	9.4%	1.2%	19.6%	66.7%	12.5%
宮崎県 (全体10位)		2.0%	29.0%	61.6%	7.5%	1.3%	20.4%	66.6%	11.6%
熊本県 (全体20位)		1.7%	26.1%	65.0%	7.2%	1.1%	18.9%	67.7%	12.3%
東京都 (全体33位)		2.4%	27.4%	61.9%	8.4%	1.2%	20.4%	65.7%	12.8%
有意確率 (p値)		p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

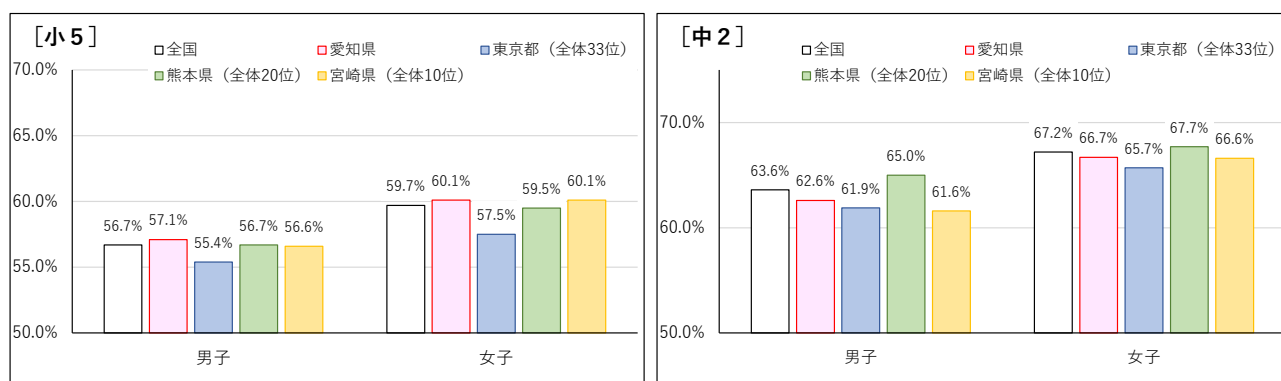


図2-6-5. 睡眠時間が8時間以上10時間未満の児童、6時間以上8時間未満の生徒の割合の他都県および全国との比較

[考察]

- ・睡眠時間に関しては、他都県、全国値と大きな違いは見られなかった。
- ・ただし、この後に示すスクリーンタイムが伸びている現状を考えると、油断はできず継続的な調査、確認をしていくべきと思われる。

(スクリーンタイム)

最後に、テレビや DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間（スクリーンタイム）について示した。この項目もスポーツ庁の報告書では体力測定値との関係が明確に示されており、近年、児童生徒のスクリーンタイムが伸びていることが指摘されている。表 2-6-9 に他都県および全国値との比較結果を示した。また、スポーツ庁の報告書では、児童生徒ともにスクリーンタイムが 3 時間以上になると、体力測定値の平均値を下回ることが示されていることを鑑み、図 2-6-5 に 3 時間以上 4 時間未満と 4 時間以上の児童生徒の割合に焦点化した結果を示した。

表 2-6-9. スクリーンタイムの他都県および全国値との比較

測定項目	都道府県 他	小5											
		男子						女子					
		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない
全国		27.1%	13.8%	20.9%	23.5%	12.8%	2.0%	22.0%	12.5%	19.4%	24.7%	18.6%	2.7%
愛知県		29.1%	14.0%	20.3%	22.1%	12.4%	2.1%	23.9%	12.1%	18.6%	23.8%	18.6%	3.0%
宮崎県 (全体10位)		25.9%	12.5%	19.6%	24.6%	15.2%	2.3%	20.0%	11.9%	19.7%	26.6%	19.5%	2.3%
熊本県 (全体20位)		24.7%	14.5%	22.0%	24.0%	12.7%	2.2%	20.1%	12.8%	19.6%	26.1%	19.2%	2.2%
東京都 (全体33位)		22.9%	12.5%	21.2%	25.9%	15.2%	2.3%	18.9%	11.2%	19.8%	26.2%	21.0%	2.9%
有意確率 (p値)		p<0.05						p<0.05					
平日 (月～金曜日) について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	都道府県 他	中2											
		男子						女子					
		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない
全国		28.3%	18.4%	26.2%	20.9%	5.5%	0.7%	26.1%	18.1%	25.9%	21.7%	7.4%	0.6%
愛知県		35.3%	19.5%	23.6%	16.6%	4.5%	0.5%	32.7%	19.8%	23.3%	17.7%	6.0%	0.5%
宮崎県 (全体10位)		20.8%	15.2%	26.7%	27.5%	8.8%	1.1%	17.7%	14.7%	27.5%	27.0%	12.0%	1.1%
熊本県 (全体20位)		21.0%	17.0%	27.4%	26.5%	7.4%	0.7%	19.9%	16.6%	27.1%	26.2%	9.4%	0.7%
東京都 (全体33位)		29.8%	18.0%	27.3%	19.3%	5.0%	0.6%	27.7%	17.7%	27.0%	20.4%	6.6%	0.6%
有意確率 (p値)		p<0.05						p<0.05					

※. 愛知県の値には名古屋市を含む

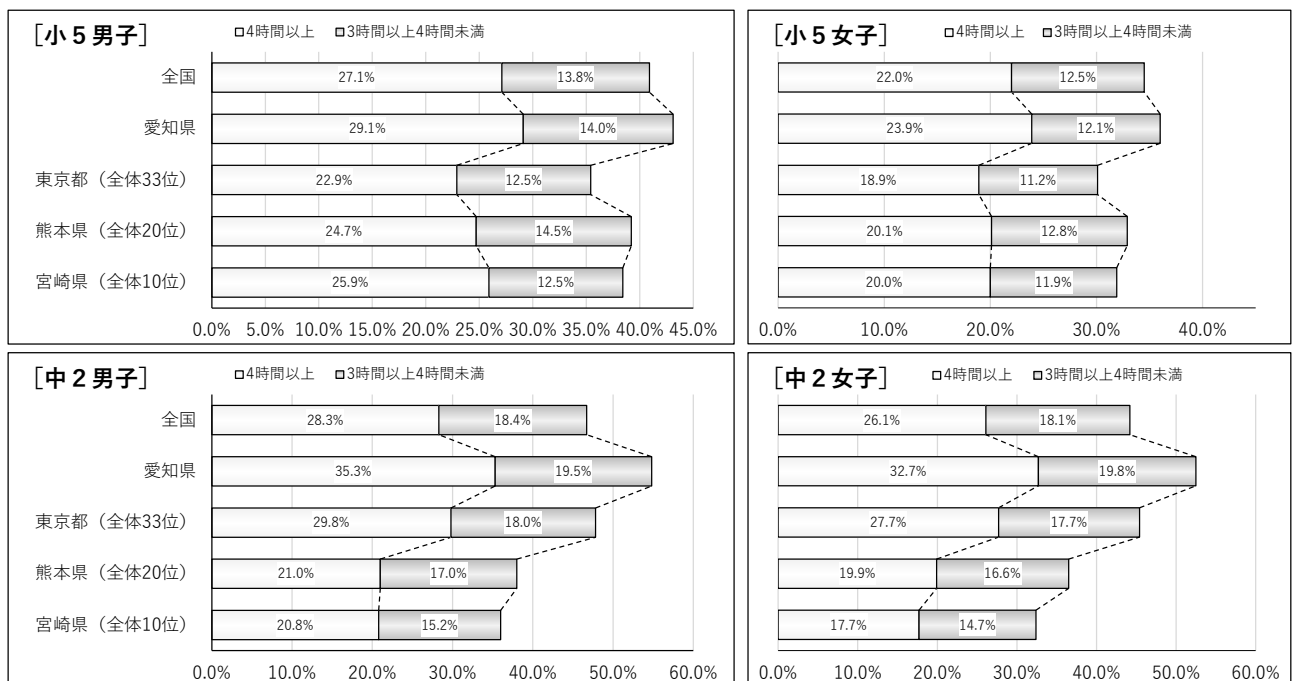


図 2-6-5. 「3 時間以上 4 時間未満」「4 時間以上」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・スクリーンタイムに関しては、他都県、全国値と比べてとても長く、中学生では際立って長い。
- ・東京都の児童が良い順位であることを考慮すると、スクリーンタイムの長さや体力測定値は比例していると言える。現在の児童生徒の生活時間の多くをスクリーンタイムが占めていることが予想される。
- ・愛知県は際立って長いですが、睡眠時間は変わらないことを考えると、明らかに運動や学習の時間が圧迫されていることが予想され、思い切った対策が必要であると思われる。



## 一運動習慣および生活習慣項目に関するまとめ一

最初に運動習慣に関してまとめを行う。愛知県の児童生徒の運動習慣は大きく以下のような特徴を有することが確認された。

- ・「運動は大切」と考えている児童生徒が少なく、特に、中学生では少なさが顕著になる。
- ・「今後の運動実施」への意欲が他都県に比べて低く、中でも女子において低い傾向がある。
- ・一週間の総運動時間は他都県や全国値と同水準であった。
- ・学校の運動部や地域クラブでの活動は、児童では若干多いが、生徒では全国値と同程度であった。

上記の特徴をまとめて考察すると、運動時間や運動部等での活動には関連があることが推察される。前述の通り、愛知県では小学校でのクラブ活動（現在は地域移行）が多く行われているため、この成果が今回の調査結果に反映されたと思われる。運動部や地域クラブ活動を通して、一定程度の運動時間は確保されていると考えるのが自然であろう。しかしながら、「運動は大切」という気持ちや「今後の運動実施」への意欲があまり高まっていないのは大変、気になる点である。また、2-4 節で示した「運動は好き」と回答する児童生徒が少なかったことも考え合わせると、現在の児童生徒の運動活動が「好き」や「楽しい」と感じさせるようなやり方になっていないのかもしれない。また、推察の域は越えないかもしれないが、主体的に運動に取り組んだり、楽しむという要素が不足していることが「今後の運動実施」への意欲を低下させていることが考えられる。この点は、後述する体育授業の取り組みの部分でも確認されており、様々な指導の取り組みや工夫の際に、体力、競技力の向上といった視点に加えて、児童生徒が楽しむ、主体的に運動に取り組めるような工夫を心がけていく必要があると思われる。

続いて、生活習慣に関してまとめを行う。愛知県の児童生徒の生活習慣は大きく以下のような特徴を有することが確認された。

- ・「毎日の朝食摂取」が低水準であることが確認された。特に、中学生は顕著に低水準であった。
- ・「スクリーンタイム」がとても長く、特に、中学生ではその差が拡大し、顕著に長かった。

ここで最初に注目すべきは、中学生の顕著な生活習慣の悪化である。小学生においても、他都県や全国値と比較して低水準であるが、中学生では、これがさらに際立っていた。朝食摂取、スクリーンタイムいずれにおいても、今回示した他都県や全国値と比較して“断然”悪いという表現が当てはまる。いずれの項目もスポーツ庁の報告で体力測定結果との関係が明らかになっており、改善に努める必要がある。運動習慣は生活習慣の一部であると考えられるため、運動とともに生活習慣全体をターゲットに取り組むべきと思われる。また、児童においても低水準であり、小学生の頃からの不断の取り組みが必要である。加えて、筆者らの研究データでは、スクリーンタイムは年々、延伸しており、体力測定の結果とも密接な関係が確認されている。今後、さらに進むであろうデジタル社会において、適切な ICT 機器との付き合い方やルールを示し、子どもの良好な生活習慣獲得に努めていくことが社会の責務であると考えられる。その結果として、生活習慣向上⇒運動習慣向上⇒体力向上、と段階的に進んでいくことを期待する。

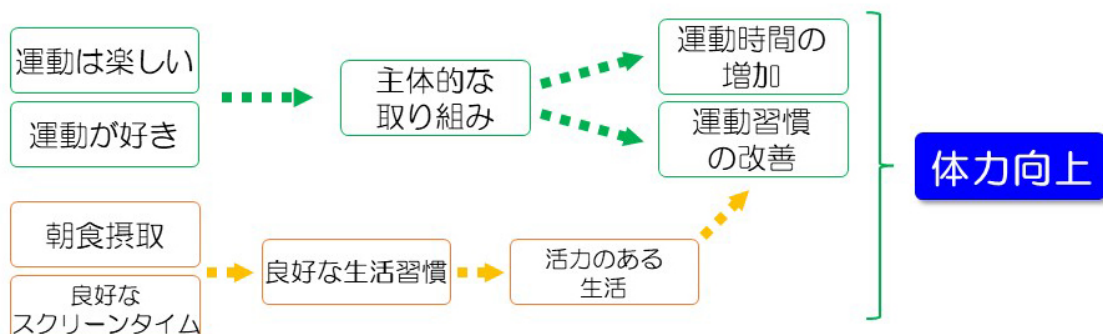


図. 2-6-6 運動習慣、生活習慣、体力向上の流れ



## 【2-7 体育授業関連項目の愛知県の現状および他都道府県との比較】

最初に、体育（保健体育）授業に対する児童生徒の意識として、楽しさと進んでの学習について示す。  
 （体育（保健体育）の授業は楽しい）

この項目は、「運動やスポーツをすることが好き」と並んで、非常に重要な項目である。スポーツ基本計画においても、運動やスポーツが好きなお子どをもを増やすことが目標に掲げられており、体育においても、“好き”、という気持ちを育てていくことが重要視されている。表 2-7-1 に「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」の他都県および全国値との比較結果を示した。また、図 2-7-1 に「楽しい」と「やや楽しい」に焦点化した結果を示した。

表 2-7-1. 「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない	楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない
全国		73.4%	20.6%	4.4%	1.7%	59.4%	30.1%	8.3%	2.2%
愛知県		72.0%	21.5%	4.8%	1.7%	57.9%	30.8%	8.7%	2.5%
宮崎県（全体10位）		72.6%	20.3%	5.1%	2.0%	56.9%	32.7%	8.2%	2.1%
熊本県（全体20位）		73.0%	21.7%	4.2%	1.1%	58.0%	32.3%	7.8%	1.9%
東京都（全体33位）		75.2%	18.6%	4.2%	2.0%	62.4%	27.5%	7.6%	2.5%
有意確率（p値）									

測定項目	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない	楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない
全国		56.8%	33.9%	6.7%	2.6%	41.9%	42.0%	12.6%	3.5%
愛知県		58.4%	33.2%	6.4%	2.0%	42.0%	41.9%	12.7%	3.4%
宮崎県（全体10位）		59.6%	31.7%	6.3%	2.3%	46.7%	39.4%	10.7%	3.1%
熊本県（全体20位）		56.0%	35.5%	6.5%	2.1%	37.6%	45.0%	14.0%	3.4%
東京都（全体33位）		57.4%	32.1%	7.2%	3.4%	43.6%	39.2%	12.9%	4.3%
有意確率（p値）									

※、愛知県の値には名古屋市を含む

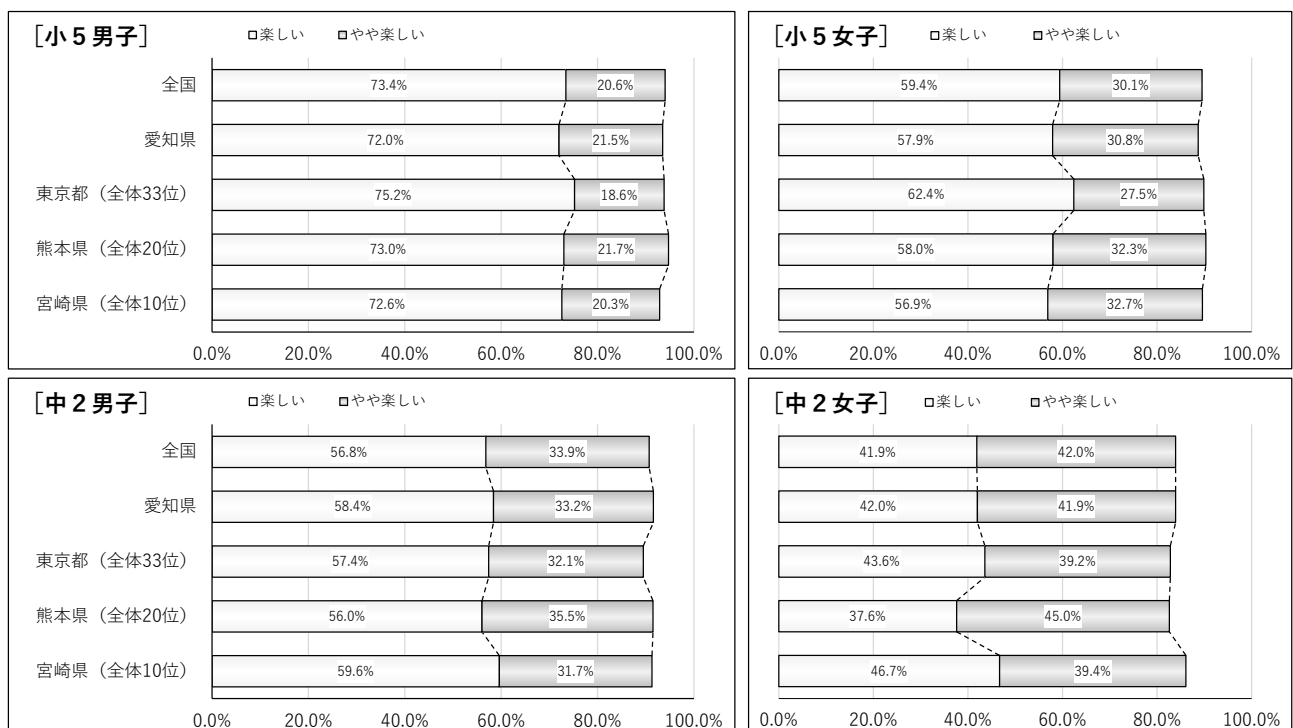


図 2-7-1. 「運動は大切」「運動はやや大切」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・体育（保健体育）授業は楽しいに関しては、楽しい、あるいは、やや楽しいと回答する児童生徒の割合が全体的に若干低率であった。
- ・「楽しい」と「やや楽しい」を加算すると、その差はわずかであるが、「楽しい」に絞って見ると、他都県よりも低いことがうかがえる（熊本県は例外的に低い：あまりよくない傾向と考えられる）。
- ・他都県や全国値においても同様の傾向だが、明らかに女子の方が楽しいと回答している割合が低く、配慮が必要であると思われる。
- ・運動は楽しい、に関しても低率であったことを考慮すると、まずは、楽しいという内面から湧き出る欲求を喚起するような取り組みを期待する。

(体育(保健体育)へ進んで学習)

続いて「体育(保健体育)の授業では、進んで学習に参加していますか」の比較結果を示す。表2-7-2に「体育(保健体育)の授業では、進んで学習に参加していますか」の他都県および全国値との比較結果を示した。また、図2-7-2に「いつも進んで学習」「だいたい進んで学習」に焦点化した結果を示した。

表2-7-2. 「体育(保健体育)の授業では、進んで学習に参加していますか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		いつも 進んで学習	だいたい 進んで学習	あまり 進んで 学習しない	進んで 学習する ことはない	いつも 進んで学習	だいたい 進んで学習	あまり 進んで 学習しない	進んで 学習する ことはない
全国		63.2%	30.0%	5.6%	1.3%	55.2%	36.1%	7.4%	1.3%
愛知県		59.5%	32.5%	6.5%	1.5%	51.9%	37.9%	8.5%	1.7%
宮崎県(全体10位)		64.1%	29.6%	5.2%	1.1%	59.2%	32.8%	6.8%	1.1%
熊本県(全体20位)		61.8%	31.5%	5.7%	1.1%	55.0%	37.5%	6.4%	1.1%
東京都(全体33位)		63.4%	29.1%	6.0%	1.5%	54.2%	36.0%	8.1%	1.7%
有意確率(p値)									

測定項目	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		いつも 進んで学習	だいたい 進んで学習	あまり 進んで 学習しない	進んで 学習する ことはない	いつも 進んで学習	だいたい 進んで学習	あまり 進んで 学習しない	進んで 学習する ことはない
全国		46.6%	43.6%	8.1%	1.7%	37.5%	50.1%	10.6%	1.7%
愛知県		41.8%	46.4%	10.1%	1.8%	33.1%	51.9%	13.1%	2.0%
宮崎県(全体10位)		48.9%	42.1%	7.1%	1.9%	43.8%	45.9%	8.9%	1.3%
熊本県(全体20位)		43.7%	46.5%	8.2%	1.6%	34.7%	52.6%	11.2%	1.5%
東京都(全体33位)		46.4%	42.8%	8.7%	2.1%	37.3%	48.9%	11.8%	2.1%
有意確率(p値)									

※. 愛知県の値には名古屋市を含む

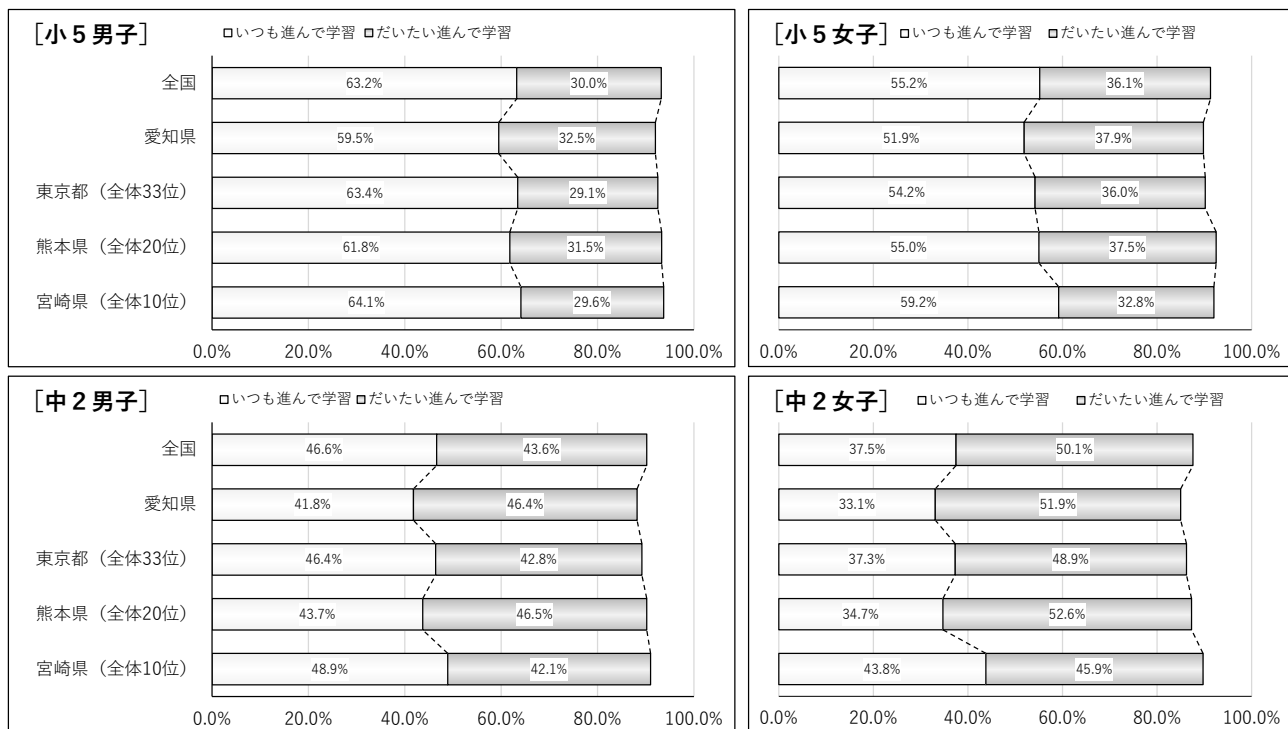


図2-7-2. 「いつも進んで学習」「だいたい進んで学習」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・体育（保健体育）授業への進んでの学習に関しては、いわゆる主体的な学習としてとらえることができる。愛知県においては、この数値が他都県および全国値と比較して低いことが確認された。
- ・「いつも進んで学習」のみで見ても低率であった。「だいたい進んで学習」との和においては、より顕著に低率であることが確認された。
- ・他都県の結果を見ても、体力測定値の順位とほぼ比例するように数値が変化しており、体育（保健体育）授業への主体的な学習は、体力向上を目指すうえで極めて重要な項目であることがうかがえた。
- ・積極的な声掛けや主体的な取り組みへの働きかけを通して、児童生徒の主体的な体育（保健体育）授業への参加を促進していくことが求められる。

次に、体育（保健体育）授業の実施方法の工夫について、目標意識、自分に合った練習、助け合い、ICT活用の4項目の結果を示す。

（体育（保健体育）授業での目標意識の効果）

「体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との比較結果を表2-7-3に示した。

表2-7-3. 「体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
	全国	32.2%	51.8%	13.4%	2.6%	26.1%	56.5%	15.3%	2.0%
	愛知県	30.4%	52.6%	14.4%	2.5%	25.8%	55.4%	16.6%	2.2%
	宮崎県 (全体10位)	27.8%	52.0%	16.5%	3.8%	23.4%	57.1%	17.2%	2.3%
	熊本県 (全体20位)	29.3%	54.7%	13.8%	2.1%	23.7%	59.2%	15.5%	1.6%
	東京都 (全体33位)	34.5%	47.9%	14.3%	3.2%	27.8%	53.3%	16.3%	2.5%
	有意確率 (p値)	p<0.05				p<0.05			
体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
	全国	26.1%	58.0%	13.9%	2.0%	20.6%	62.0%	15.8%	1.6%
	愛知県	21.9%	60.9%	15.3%	2.0%	18.4%	62.7%	17.2%	1.7%
	宮崎県 (全体10位)	22.1%	58.0%	17.0%	2.9%	18.3%	62.5%	17.7%	1.5%
	熊本県 (全体20位)	24.3%	60.0%	13.9%	1.8%	18.1%	64.8%	16.0%	1.2%
	東京都 (全体33位)	27.6%	54.6%	15.1%	2.7%	20.0%	59.3%	18.4%	2.3%
	有意確率 (p値)	p<0.05				p<0.05			

※、愛知県の値には名古屋市を含む

#### [考察]

- ・この項目は、体育（保健体育）授業において、目標意識を持たせることで効果が得られたかを示している項目であると思われるが、これに関しては、愛知県が目立って悪いということはない。
- ・前述の体育（保健体育）授業が楽しいや主体的な学習の数値があまり高くなかった熊本県の数値が高く、逆に宮崎県や東京都は低めであったことから、授業時の工夫と子どもの楽しさや主体的学習を促進することは、相反する関係にある可能性も考えられる。愛知県においては、どちらかと言えば、熊本県タイプの傾向であると、これまでの項目の傾向からも判断できるとと思われる。

(体育(保健体育)授業での自分に合った練習の効果)

「体育(保健体育)の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との比較結果を表2-7-4に示した。また、図2-7-3に「いつもある」「だいたいある」に焦点化した結果を示した。

表2-7-4. 「体育(保健体育)の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国		34.0%	49.9%	13.7%	2.3%	28.3%	54.2%	15.6%	1.9%
愛知県		32.8%	50.2%	14.7%	2.4%	27.5%	53.8%	16.7%	2.1%
宮崎県(全体10位)		30.0%	51.7%	15.5%	2.8%	26.5%	55.0%	16.8%	1.8%
熊本県(全体20位)		30.0%	53.6%	14.6%	1.8%	25.4%	57.2%	15.8%	1.6%
東京都(全体33位)		36.2%	47.3%	13.7%	2.8%	29.8%	52.3%	15.7%	2.2%
有意確率(p値)									
体育(保健体育)の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国		27.8%	55.4%	14.8%	2.0%	21.1%	59.3%	17.9%	1.7%
愛知県		24.0%	57.0%	17.1%	2.0%	18.6%	59.4%	20.2%	1.8%
宮崎県(全体10位)		24.2%	54.9%	18.0%	2.8%	20.4%	59.9%	17.9%	1.8%
熊本県(全体20位)		25.9%	57.9%	14.6%	1.6%	18.1%	61.7%	18.7%	1.5%
東京都(全体33位)		29.2%	53.6%	14.6%	2.6%	21.7%	57.8%	18.4%	2.2%
有意確率(p値)									

※、愛知県の値には名古屋市を含む

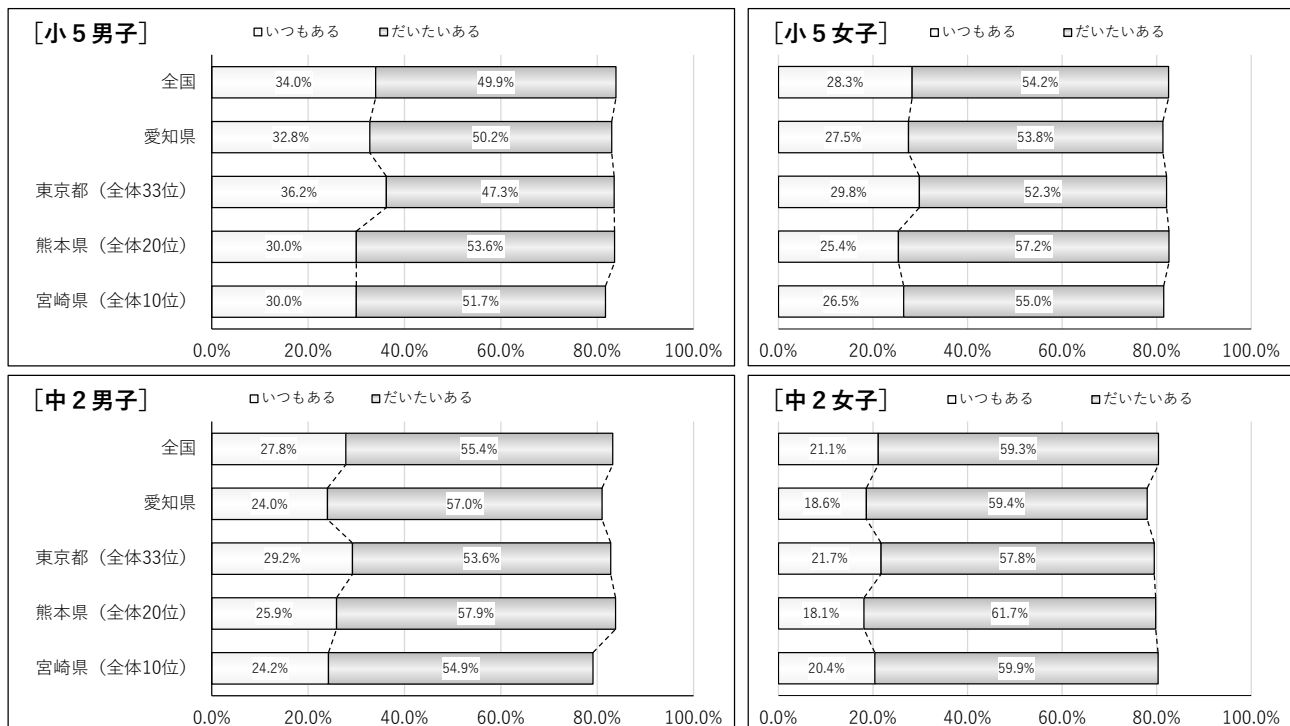


図2-7-3. 「いつもある」「だいたいある」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・この項目においても愛知県が目立って悪いということはない。
- ・ただし、中学生に関しては若干ではあるが低値であるため、さらなる取り組みの強化が有効であろう。



(体育(保健体育)授業での友達との助け合いの効果)

「体育(保健体育)の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との比較結果を表2-7-5に示した。また、図2-7-4に「いつもある」「だいたいある」に焦点化した結果を示した。

表2-7-5. 「体育(保健体育)の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国		35.5%	47.1%	14.7%	2.8%	36.1%	49.2%	12.8%	1.9%
愛知県		34.7%	46.8%	15.6%	2.9%	35.7%	48.1%	14.0%	2.2%
宮崎県(全体10位)		32.7%	47.7%	16.2%	3.4%	35.3%	50.2%	13.0%	1.6%
熊本県(全体20位)		31.4%	51.2%	15.2%	2.2%	32.4%	53.4%	12.5%	1.7%
東京都(全体33位)		36.9%	44.9%	15.0%	3.2%	36.3%	48.0%	13.4%	2.2%
有意確率(p値)									
測定項目	都道府県 他	中2							
		男子				女子			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国		31.8%	53.5%	12.6%	2.1%	30.5%	56.4%	11.6%	1.5%
愛知県		28.8%	55.2%	13.8%	2.1%	28.1%	57.2%	13.1%	1.5%
宮崎県(全体10位)		29.7%	54.3%	13.8%	2.2%	32.9%	55.7%	10.2%	1.2%
熊本県(全体20位)		31.4%	55.7%	11.3%	1.6%	27.7%	61.5%	9.7%	1.1%
東京都(全体33位)		31.0%	52.5%	13.8%	2.7%	28.2%	56.3%	13.5%	2.1%
有意確率(p値)									

※、愛知県の値には名古屋市を含む

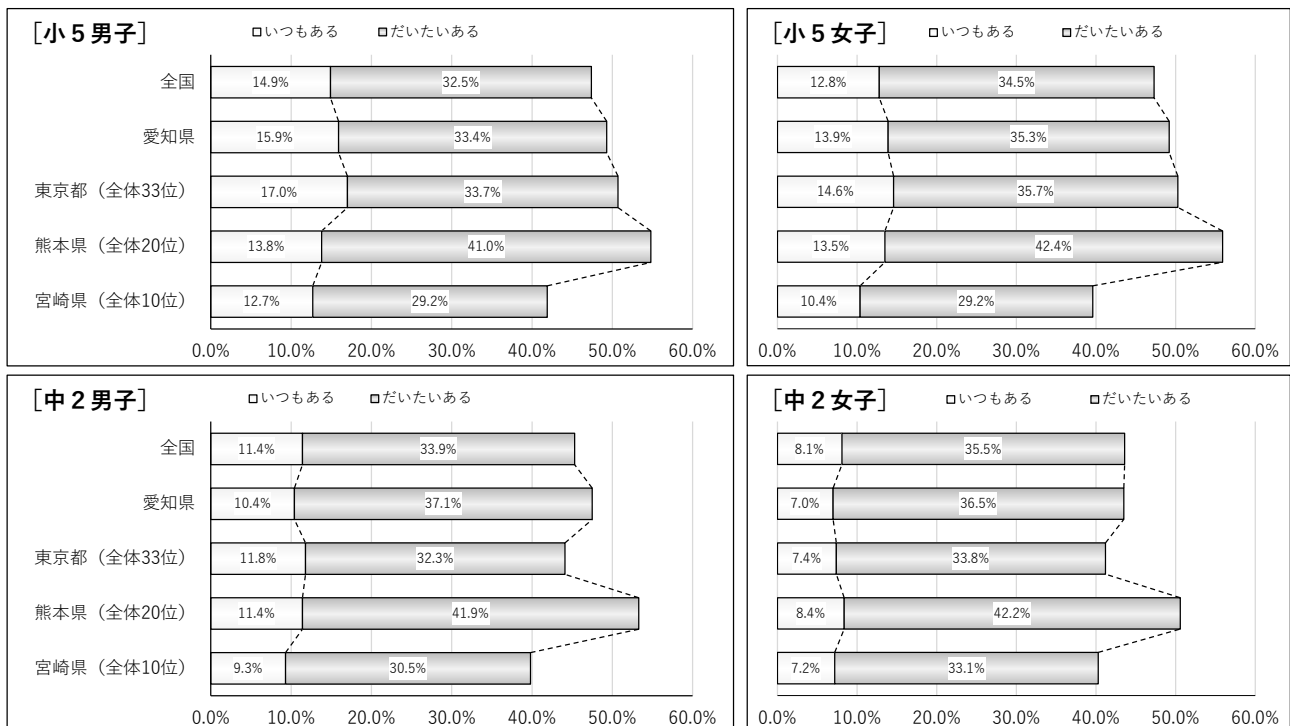


図2-7-4. 「いつもある」「だいたいある」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・この項目においては他都県や全国値に比べ、若干ではあるが、良好な結果であった。
- ・引き続き、良好な状態を維持できるような取り組みを期待したい。

(体育(保健体育)授業でのICT利用の効果)

この項目では、まず始めにICTの利用状況を図2-7-5に示した。その上で、「体育(保健体育)の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との比較結果を表2-7-6に示した。また、図2-7-6には「いつもある」「だいたいある」に焦点化した結果を示した。

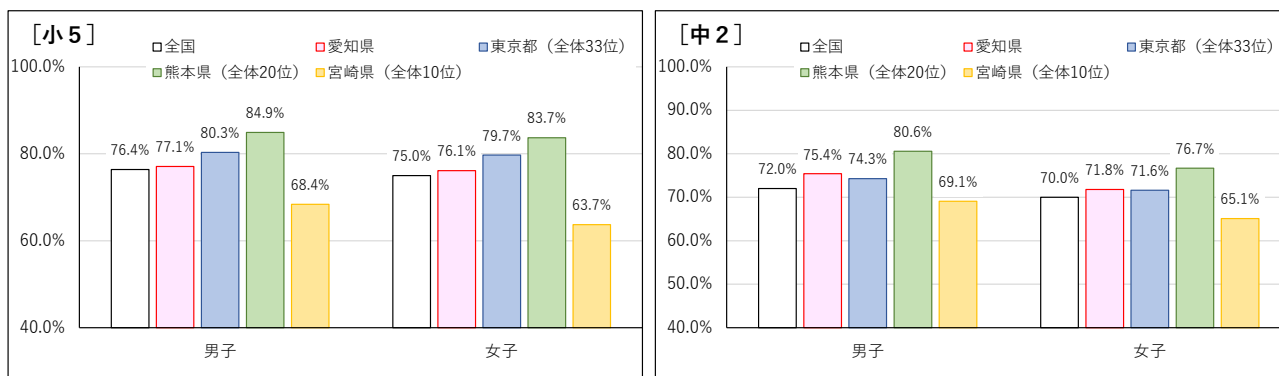


図 2-7-5. ICT を利用している割合の他都県および全国との比較  
(100%から利用していないの回答を減算)

表 2-7-6. 「体育(保健体育)の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」の他都県および全国値との回答比率の違い

測定項目	都道府県 他	小5									
		男子					女子				
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない
		14.9%	32.5%	23.4%	5.7%	23.6%	12.8%	34.5%	23.2%	4.5%	25.0%
	愛知県	15.9%	33.4%	22.5%	5.3%	22.9%	13.9%	35.3%	22.7%	4.3%	23.9%
	宮崎県 (全体10位)	12.7%	29.2%	19.7%	6.8%	31.6%	10.4%	29.2%	18.2%	5.8%	36.3%
	熊本県 (全体20位)	13.8%	41.0%	25.7%	4.3%	15.1%	13.5%	42.4%	24.3%	3.4%	16.3%
	東京都 (全体33位)	17.0%	33.7%	23.9%	5.8%	19.7%	14.6%	35.7%	24.7%	4.6%	20.3%
有意確率 (p値)											
体育(保健体育)の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	都道府県 他	中2									
		男子					女子				
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない
	全国	11.4%	33.9%	22.3%	4.4%	28.0%	8.1%	35.5%	23.1%	3.4%	30.0%
	愛知県	10.4%	37.1%	23.9%	3.9%	24.6%	7.0%	36.5%	25.0%	3.3%	28.2%
	宮崎県 (全体10位)	9.3%	30.5%	23.6%	5.7%	30.9%	7.2%	33.1%	20.6%	4.3%	34.9%
	熊本県 (全体20位)	11.4%	41.9%	23.8%	3.5%	19.4%	8.4%	42.2%	23.5%	2.6%	23.3%
	東京都 (全体33位)	11.8%	32.3%	24.8%	5.3%	25.7%	7.4%	33.8%	26.2%	4.2%	28.4%
有意確率 (p値)											

※. 愛知県の値には名古屋を含む

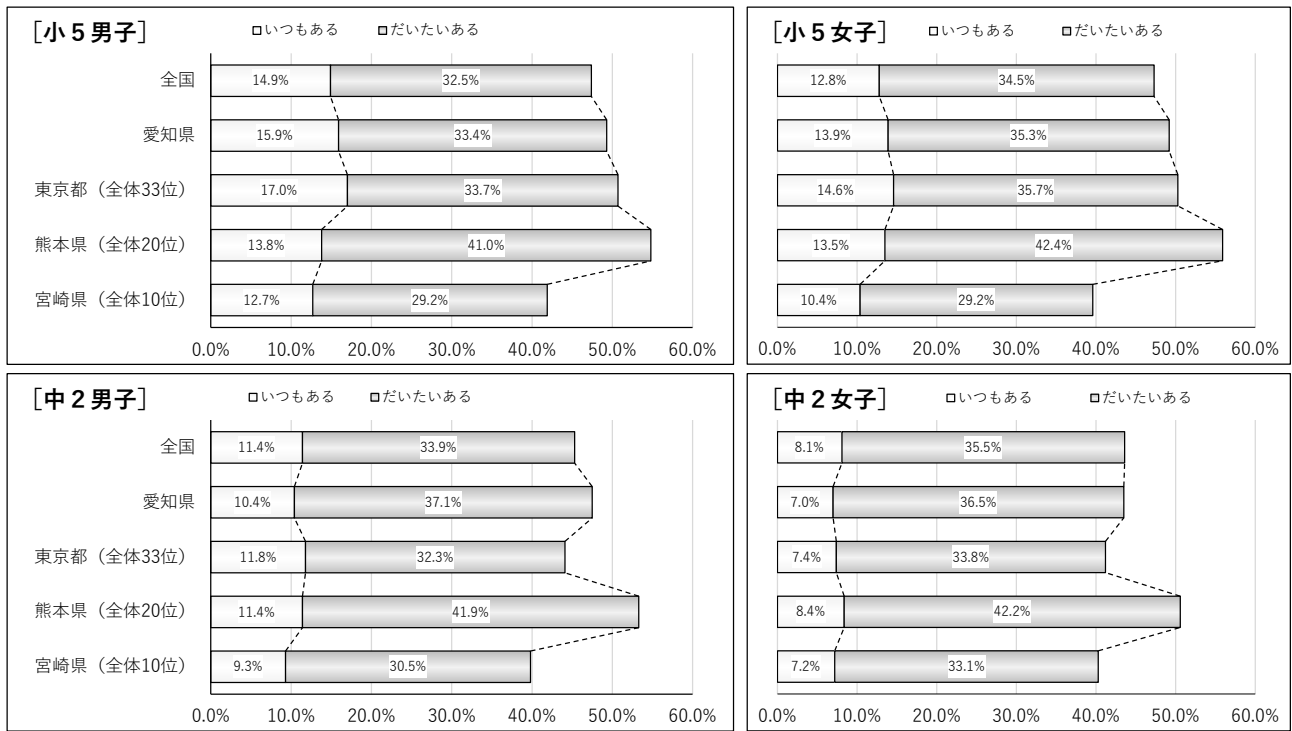


図 2-7-6. 「いつもある」「だいたいある」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・まず、ICT 活用に関しては、都県でかなりの差があることが確認された。
- ・熊本県は非常に積極的に利用しており、東京都、愛知県は全国平均並みであった。
- ・体力値が全体 10 位に位置する宮崎県は、ICT 活用はかなり低率であった。また、児童生徒の ICT 活用に伴う効果の実感（できたり、わかったり）に関しても他都県に比べて低かった。
- ・愛知県は、ICT 活用に関しては比較的良好であると思われる。今後は、体力向上や児童生徒の楽しいという気持ちの育みにつながる効果的な活用法を探求していくことが求められる。

最後に、体育（保健体育）授業における体力テスト結果からの目標設定について示す。

（体力・運動能力テスト結果からの目標設定）

「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか」の他都県および全国値との比較結果を図 2-7-7 に示した。

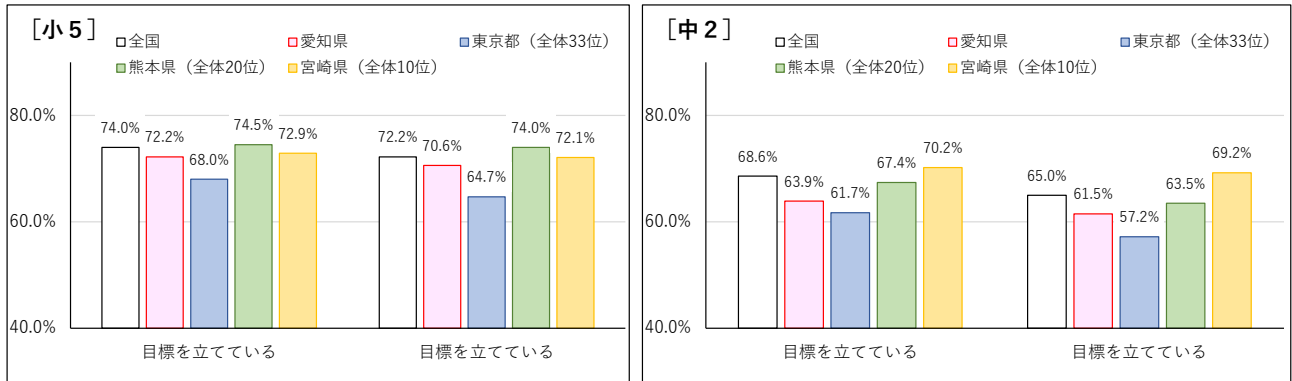


図 2-7-7. 「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか」の他都県および全国との比較

[考察]

- ・この項目は都県ごとの姿勢が明確に出ている。宮崎県や熊本県では明らかに高率であり、体力テスト結果を目標設定などに活用していることが確認された。一方で東京都はこのような活用の度合いは低くなっていた。愛知県に関しては、全国値を少し下回っていた。
- ・体力テストの結果は、あくまで成果指標であると思われるが、児童生徒のやる気の喚起やテスト結果の教材としての活用は、スポーツ庁でも推奨されており、今後は、上手な活用が望まれる。

## 一 体育授業関連項目に関するまとめ

体育授業関連の項目は、大きく2つに分類できると思われる。1つ目は「楽しさ」や「主体的学習」といった児童生徒の気持ちや行動に焦点を当てた取り組み、2つ目は「自分にあった練習」や「ICT活用」などの授業自体の実施方法を工夫した取り組みである。そこで、ここでは、これら2つの側面からまとめを行う。

最初に、「楽しさ」や「主体的学習」といった児童生徒の気持ちや行動に焦点を当てた取り組みについてまとめる。ここでは、以下のような特徴が確認された。

- ・「体育（保健体育）授業は楽しい」と回答する児童生徒の割合が少ない傾向にある。
- ・「体育（保健体育）の授業への主体的な参加（進んで学習）」をする児童生徒の割合が低い。
- ・上記2項目に関し、最も良好な選択肢である「楽しい」や「いつも進んで学習」の選択割合が、体力測定値のランキングが10位の宮崎県で顕著に高い傾向にあり、これらが体力測定結果に大きく影響している可能性がある。

上記の特徴をまとめて考察すると、愛知県では、児童生徒が体育（保健体育）授業を楽しんでいる割合が他都県に比べて低いため、主体的な授業への参加に関しても低水準であると考えられる。一方で、宮崎県のように高体力の県では、これらのサイクルが上手に回っていると推察することができる。同じような傾向が東京都（特に小5）でも見られており、近年、東京都の順位が徐々に上がってきているのも納得の結果である。2-6節の図2-6-6でも示した通り、まずは、楽しいという気持ちを育み、児童生徒が主体的に参加するようになった先に、体力向上があるという考えは体育（保健体育）授業においても同様であると思われる。愛知県では、この点に関してはまだまだ課題が大きいと言える。

続いて、「自分にあった練習」や「ICT活用」などの授業自体の実施方法を工夫した取り組みについてまとめる。ここでは、以下のような特徴が確認された。

- ・全体として、愛知県はこれらの授業の工夫に関しては全国平均を若干下回るものの、他都県の傾向も千差万別であり、愛知県だけが極端に悪いということはない。
- ・ICTの活用に関しては、愛知県、東京都、熊本県は全国平均を上回っていたが、体力測定値のランキングが10位の宮崎県では、低率であった。
- ・他都県の傾向としては、熊本県や東京都は、これらの授業の工夫には熱心な傾向がある一方で、宮崎県はどれも低水準であった。

上記の特徴をまとめて考察すると、愛知県は、これらの授業の工夫に関しては平均水準であると考えられる。他都県の傾向は、必ずしも体力測定の結果とリンクしているとは言いきれない傾向も確認できる。例えば、上位の宮崎県は、これらの取り組みよりも前述の「楽しさ」や「主体的学習」を重視していることがうかがえる。一方で熊本県などは、授業の工夫に力を入れていることがうかがえる。東京都は、どちらも平均水準を上回っている項目が多いことから、バランス型の取り組みを行っているといえる。愛知県をこれらの都県のパターンに照らし合わせると、熊本県のパターンに近いと言える。ちなみに、過去5年間における、これらの都県の体力測定結果の順位の推移は図2-7-8の通りである。小5では東京都は明らかな改善、宮崎県は概ね維持、熊本県は低下傾向であり、中2では東京都、宮崎県は概ね維持、熊本県は改善傾向と言える。一方、愛知県は常に最低水準が続いている。これらの傾向と体育（保健体育）授業の取り組み傾向を合わせて考えると、小学生は「楽しさ」や「主体的学習」を重視する方が良い傾向につながり、逆に中学生では、授業の実施方法の工夫が良い傾向につながっていることが推察される。これらのことから取り組みの強化方針を年齢ごとに最適な形へと変えていくことも、より高い効果を得るためには重要であると思われる。

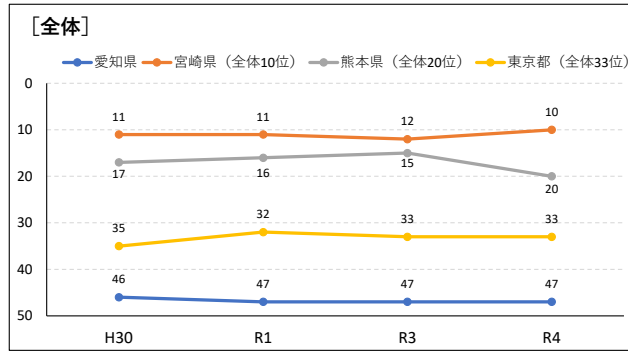
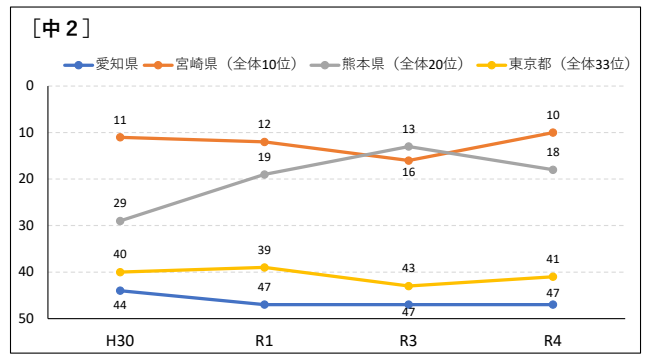
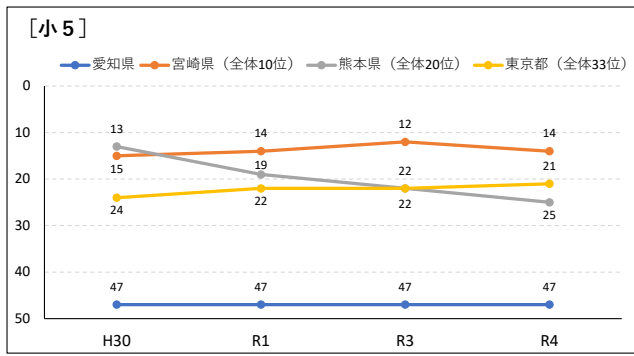


図 2-7-8. 体力得点の順位の推移

## 【2-8. 多角的視点による体力低下要因の探索】

ここまでの体力テストの結果分析では、運動・生活習慣等のアンケート結果をもとに、その中の1項目(変数)のみを取り出して、体力・運動能力との関連を検討してきた(例:「運動の好き嫌い×体力評価」、「スクリーンタイム×体力合計点」など)。ここでは、アンケートの1項目の抽出ではなく、複数の質問項目の組み合わせを考慮した分析を行う。具体的には主に、以下の3つの方法で分析検討を進めた。いずれも、ここまでの分析の中で体力との関係が確認されたり、愛知県において課題が見えたりした項目を分析対象項目として採用している。

- a) 性別と肥満度による体力総合評価の違いおよび、生活習慣3項目の状況による体力総合評価の違いを多重クロス集計による検討
- b) 体力総合評価を目的変数、運動習慣・生活習慣および体育授業での取り組みに関する項目を説明変数とした決定木分析によるルール抽出
- c) 複数の調査項目を用いた児童生徒のクラスタリングとクラスタごとの体力テスト結果、肥満度、体育授業の楽しさの状況の検討

以降、順に分析結果を示す。

- a) 性別と肥満度による体力総合評価の違いおよび、生活習慣3項目の状況による体力総合評価の違いを多重クロス集計による検討

### 分析内容と手順

分析対象：以下の調査項目への回答に欠損のない児童生徒

性・肥満度 ⇒ 小学5年生 44,120名(男子 22,366名、女子 21,754名)

⇒ 中学2年生 38,713名(男子 19,776名、女子 18,937名)

生活習慣 ⇒ 小学5年生 40,697名(男子 20,247名、女子 20,450名)

⇒ 中学2年生 37,452名(男子 19,091名、女子 18,361名)

用いた調査項目等：以下の項目を用いて、多重クロス集計を実施した。

体力テストの評価 (A-E)

性別、肥満度(肥満・瘦身の状況)

Q5 (Q6)：朝食は毎日食べますか。

Q6 (Q7)：毎日どのくらい寝ていますか。

Q7 (Q8)：学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンな

どの画面を見えていますか。

分析方法：上記の調査項目を用いた多重クロス集計

#### I. 性、学年、肥満度による体力総合評価

性、学年ごとの肥満、瘦身の状況をクロス集計により示し、それらが体力テスト評価とどのような関係となっているかを検討。

(例) 男子の中2に肥満が多いが、中2では体力評価と関係するが、小5では関係しない

#### II. 朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムによる体力総合評価

3つの重要な生活習慣の状況が様々に重なり合った際に体力評価がどのようになるかを検討

(例) 朝食を毎日摂取し、睡眠時間が8時間から10時間でスクリーンタイムが3時間未満だと体力評価がAになる確率があがる

(1) 小学生の結果

(ア) 性、肥満度による体力総合評価

ここでは、性別を層に組み込み、肥満度別に体力総合評価を検討した、いわゆるトリプルクロスの結果を表 2-8-1 に示す。これにより、性別で肥満および痩せがどの程度、体力総合評価の結果に影響を及ぼしているかを検討する。

表 2-8-1. 小学生の性・肥満度別の体力総合評価

性別		体力総合評価					合計	
		A	B	C	D	E		
男子	肥満判定	高度痩せ	2.2%	6.5%	34.8%	37.0%	19.6%	100%
		痩せ	7.4%	18.6%	33.0%	25.7%	15.2%	100%
		普通	8.1%	20.0%	33.5%	25.2%	13.1%	100%
		軽度肥満	1.9%	8.9%	27.3%	35.1%	26.7%	100%
		中等度肥満	0.9%	4.6%	21.3%	36.9%	36.2%	100%
		高度肥満	0.3%	3.1%	18.0%	22.1%	56.4%	100%
		合計	7.2%	18.2%	32.3%	26.5%	15.8%	100%
女子	肥満判定	高度痩せ	0.0%	23.1%	38.5%	26.9%	11.5%	100%
		痩せ	6.8%	20.3%	35.0%	26.6%	11.3%	100%
		普通	10.6%	21.8%	34.9%	23.8%	8.9%	100%
		軽度肥満	2.7%	12.5%	36.0%	33.5%	15.3%	100%
		中等度肥満	1.4%	9.7%	24.2%	39.3%	25.4%	100%
		高度肥満	0.0%	8.4%	23.8%	36.4%	31.5%	100%
		合計	9.7%	20.9%	34.5%	24.9%	10.0%	100%

[考察]

- ・女子に比べて、男子では肥満度が高まると体力総合評価が明らかに D や E 判定が多くなることが確認された。一方、女子においても同様の傾向ではあるが、中等度肥満あたりを境に悪化が顕著になる。
- ・痩せに関しては、男子では痩せていても体力総合評価が A 判定の児童は一定数見られるが、女子では、その割合は減少する。
- ・このような傾向から、肥満が進むことは体力には悪影響となると言えるが、その傾向は男子で顕著である。逆に痩せに関しては、女子において特に注意が必要と結論付けることができる。



(イ) 朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムによる体力総合評価

続いて、3つの生活習慣項目を多重で掛け合わせた際の体力総合評価を検討した結果を表 2-8-2 に示す。ここでは、重要な生活習慣や複数の生活習慣の悪化が体力におよぼす影響を検討する。

表 2-8-2. 小学生の朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムによる体力テスト評価

朝食摂取	睡眠時間	スクリーンタイム	体力総合評価					合計
			A	B	C	D	E	
毎日食べる	10時間以上	4時間以上	3.2%	14.1%	31.2%	28.3%	<b>23.3%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	7.4%	18.6%	34.2%	25.4%	14.5%	100%
		2時間未満	<b>10.0%</b>	20.3%	32.5%	23.1%	14.1%	100%
		合計	7.8%	18.5%	32.6%	24.8%	16.2%	100%
	8時間以上	4時間以上	6.7%	16.1%	33.6%	28.4%	<b>15.3%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	9.0%	20.7%	34.9%	24.6%	10.8%	100%
		2時間未満	<b>11.0%</b>	23.5%	33.8%	22.0%	9.7%	100%
	10時間未満	4時間以上	5.2%	16.8%	33.4%	28.3%	<b>16.2%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	9.1%	20.9%	33.0%	25.0%	12.0%	100%
		2時間未満	<b>10.9%</b>	22.2%	33.3%	23.2%	10.5%	100%
		合計	8.6%	20.2%	33.2%	25.3%	12.7%	100%
	6時間未満	4時間以上	2.9%	15.0%	28.2%	29.4%	<b>24.4%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	6.0%	13.2%	33.5%	31.7%	15.6%	100%
		2時間未満	8.6%	14.5%	30.3%	27.6%	19.0%	100%
		合計	5.4%	14.4%	30.1%	29.4%	20.7%	100%
	食べない 日がある	10時間以上	4時間以上	2.7%	11.7%	24.8%	30.6%	<b>30.2%</b>
2時間以上3時間未満			1.0%	19.0%	27.0%	29.0%	<b>24.0%</b>	100%
2時間未満			3.8%	17.8%	26.8%	31.8%	<b>19.7%</b>	100%
合計			2.7%	15.2%	25.9%	30.7%	25.5%	100%
8時間以上		4時間以上	4.0%	15.4%	29.4%	32.6%	<b>18.6%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	6.1%	15.0%	36.6%	28.3%	14.0%	100%
		2時間未満	7.1%	18.1%	33.1%	29.0%	12.6%	100%
10時間未満		4時間以上	5.2%	11.7%	30.6%	33.5%	<b>19.0%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	5.6%	18.1%	31.0%	31.9%	13.4%	100%
		2時間未満	8.4%	17.8%	30.5%	29.0%	14.4%	100%
		合計	6.0%	15.1%	30.7%	32.0%	16.2%	100%
6時間未満		4時間以上	3.8%	13.7%	29.2%	33.5%	<b>19.8%</b>	100%
		2時間以上3時間未満	3.8%	17.1%	33.3%	29.5%	<b>16.2%</b>	100%
		2時間未満	5.3%	12.6%	32.6%	30.5%	<b>18.9%</b>	100%
		合計	4.0%	14.1%	30.5%	32.3%	19.0%	100%

[考察]

- ・全体として、朝食を毎日食べていない児童では、睡眠時間やスクリーンタイムに関わらず、評価 A が 10% (赤字) を超えることがない。逆に、評価 E が 15% (青字) の出現率が高くなる。
- ・評価 E の児童の割合は、朝食摂取や睡眠時間に関わらず、スクリーンタイム 4 時間以上になると全て 15% を超える。
- ・朝食を毎日食べない児童では、睡眠時間が 10 時間以上もしくは 6 時間未満になると評価 E の出現率が 15% を超える。

(2) 中学生の結果

(ア) 性、学年、肥満度による体力総合評価

児童と同様に性別を層に組み込み、肥満度別に体力総合評価を検討した、いわゆるトリプルクロスの結果を表 2-8-3 に示す。これにより、性別で肥満および痩せがどの程度、体力総合評価の結果に影響を及ぼしているかを検討する。

表 2-8-3. 中学生の性・肥満度別の体力総合評価

性別		体力総合評価					合計	
		A	B	C	D	E		
男子	肥満判定	高度痩せ	0.0%	14.3%	42.9%	22.9%	20.0%	100%
		痩せ	1.1%	7.4%	32.0%	36.2%	23.4%	100%
		普通	5.9%	21.5%	36.4%	26.7%	9.5%	100%
		軽度肥満	3.6%	10.5%	28.8%	35.8%	21.3%	100%
		中等度肥満	1.3%	8.3%	27.6%	34.6%	28.2%	100%
		高度肥満	1.7%	6.1%	19.5%	34.9%	37.8%	100%
		合計	5.4%	19.7%	35.2%	27.9%	11.8%	100%
女子	肥満判定	高度痩せ	8.7%	28.3%	21.7%	34.8%	6.5%	100%
		痩せ	13.0%	24.0%	32.5%	23.3%	7.3%	100%
		普通	21.2%	28.5%	30.0%	16.6%	3.7%	100%
		軽度肥満	12.0%	20.7%	33.9%	25.4%	7.9%	100%
		中等度肥満	3.5%	21.2%	34.9%	26.8%	13.6%	100%
		高度肥満	3.6%	13.7%	30.2%	35.3%	17.3%	100%
		合計	19.9%	27.8%	30.4%	17.6%	4.3%	100%

[考察]

- ・中学生においても、小学生同様に、女子に比べて、男子で肥満度が高まると体力総合評価が明らかに D や E 判定が多くなることが確認された。また、女子においては、やはり中等度肥満あたりを境に悪化が顕著になることが確認された。
- ・痩せに関しては、小学生とはかなり傾向が異なっていた。中学生男子では痩せていても体力総合評価が A 判定の児童はわずかであるが、中学生女子では、高度痩せでは 8.7%、痩せでは 13.0%確認された。中学生男児の痩せの進行は、体力低下の要因になっている可能性があると言える。
- ・最後に、小学生、中学生ともに性別を問わず、体格が普通のカテゴリーの児童生徒が最も A 判定が多く、最も E 判定が少なくなっていた。

(イ) 朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムによる体力総合評価

児童同様に、3つの生活習慣項目を多重で掛け合わせた際の体力総合評価を検討した結果を表2-8-4に示し、重要な生活習慣や複数の生活習慣の悪化が体力におよぼす影響を検討する。

表2-8-4. 中学生の朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムによる体力総合評価

朝食摂取	睡眠時間	スクリーンタイム	体力総合評価					合計
			A	B	C	D	E	
毎日食べる	10時間以上	4時間以上	2.4%	19.8%	30.2%	26.2%	21.4%	100%
		2時間以上3時間未満	6.2%	26.0%	32.9%	24.0%	11.0%	100%
		2時間未満	13.9%	23.2%	33.8%	21.2%	7.9%	100%
		合計	7.8%	23.2%	32.4%	23.6%	13.0%	100%
	8時間以上	4時間以上	8.4%	18.2%	30.5%	29.5%	13.5%	100%
		2時間以上3時間未満	11.7%	22.2%	32.9%	23.4%	9.9%	100%
		2時間未満	14.2%	24.8%	32.0%	20.9%	8.0%	100%
	6時間未満	4時間以上	10.5%	22.4%	33.3%	24.6%	9.2%	100%
		2時間以上3時間未満	13.8%	26.1%	33.5%	20.5%	6.1%	100%
		2時間未満	17.6%	28.2%	31.8%	17.5%	4.8%	100%
		合計	13.9%	25.6%	33.1%	20.8%	6.6%	100%
	6時間未満	4時間以上	10.3%	20.7%	32.7%	28.3%	7.9%	100%
2時間以上3時間未満		14.5%	27.0%	32.9%	19.6%	6.0%	100%	
2時間未満		24.6%	26.1%	29.2%	17.0%	3.0%	100%	
合計		13.5%	23.4%	32.3%	24.1%	6.7%	100%	
食べない日がある	10時間以上	4時間以上	1.9%	15.4%	30.8%	21.2%	30.8%	100%
		2時間以上3時間未満	7.3%	19.5%	22.0%	34.1%	17.1%	100%
		2時間未満	10.3%	17.2%	17.2%	34.5%	20.7%	100%
		合計	5.7%	17.2%	24.6%	28.7%	23.8%	100%
	8時間以上	4時間以上	6.0%	16.1%	33.1%	31.9%	12.9%	100%
		2時間以上3時間未満	10.4%	17.9%	33.6%	26.8%	11.3%	100%
		2時間未満	10.7%	18.4%	39.3%	20.9%	10.7%	100%
	6時間未満	4時間以上	9.4%	19.8%	31.2%	28.3%	11.2%	100%
		2時間以上3時間未満	11.1%	21.5%	35.4%	24.0%	8.0%	100%
		2時間未満	14.3%	26.2%	31.9%	22.0%	5.6%	100%
		合計	10.7%	21.2%	33.0%	25.9%	9.3%	100%
	6時間未満	4時間以上	9.0%	22.4%	31.1%	26.3%	11.1%	100%
2時間以上3時間未満		11.8%	23.1%	36.6%	21.7%	6.8%	100%	
2時間未満		18.0%	22.0%	30.7%	22.7%	6.7%	100%	
合計		10.3%	22.5%	32.3%	25.0%	9.8%	100%	

[考察]

- ・中学生では、朝食を毎日摂取している生徒の方が明らかに評価Aの出現率が上がる。
- ・スクリーンタイムが2時間未満の生徒では、評価Aの出現率がいずれも10%を超える。また、睡眠時間と掛け合わせた検討では、睡眠時間が短めの生徒の方が体力総合評価良い傾向にある。
- ・朝食を毎日食べる生徒では、睡眠時間が10時間以上でスクリーンタイムが4時間以上、朝食を毎日食べない生徒では、睡眠時間が10時間以上になると評価Eの出現率が15%を超える。

- b) 体力総合評価を目的変数、運動習慣・生活習慣および体育授業での取り組みに関する項目を説明変数とした決定木分析によるルール抽出

#### 分析内容と手順

分析対象：以下の調査項目への回答に欠損のない児童生徒（全変数が分岐に使われた場合）

（実際の分析では、分岐項目に使われる変数構成によって変化する）

運動習慣・生活習慣 ⇒ 小学5年生 39,305名（男子 19,483名、女子 19,822名）

⇒ 中学2年生 36,474名（男子 18,563名、女子 17,911名）

体育（保健体育）授業 ⇒ 小学5年生 41,555名（男子 20,852名、女子 20,703名）

⇒ 中学2年生 35,434名（男子 17,981名、女子 17,453名）

説明変数：以下の13項目を説明変数として

Q1：運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。

Q2：あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは大切なものですか。

Q5（Q6）：朝食は毎日食べますか。

Q6（Q7）：毎日どのくらい寝ていますか。

Q7（Q8）：学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

Q8（Q4）：学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。[学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。]

Q9：放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。

Q10：体育（保健体育）の授業は楽しいですか。

Q11：体育（保健体育）の授業では、進んで学習に参加していますか。

Q12：体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

Q13：体育（保健体育）の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

Q14：体育（保健体育）の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

Q15：体育（保健体育）の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

目的変数：

- ・体力テストの評価（A-E） ⇒ i）Q1～Q9を説明変数、ii）Q10～Q15を説明変数

分析方法：上記の目的変数が良好になるための条件を決定木分析により抽出した。

#### I. 決定木分析

成長方法：CARTによる分類2進木、不純度の測定：Gini係数、最大の階層深度：4段階

検証方法：分割数10の交差検証、ケースの最小数：親ノード100 子ノード50

#### II. 目的変数と説明変数の組み合わせ

体力テストの評価を運動習慣、生活習慣項目（Q1～Q9）および、体育（保健体育）授業関連項目（Q11～Q15）でルール抽出。これらの組み合わせでのルールを性、学年別に抽出し、解釈可能なものに関して考察を行う。

(1) 小学生の結果

(ア) 運動習慣、生活習慣項目 (Q1~Q9) を説明変数とした分析結果

ここでは、運動習慣、生活習慣項目を説明変数とし、体力総合評価が A+B、D+E になる条件の抽出を行った。その結果を図 2-8-1 に示す。これにより、どのような運動習慣、生活習慣目標を立てれば、体力向上につながるかを検討する。

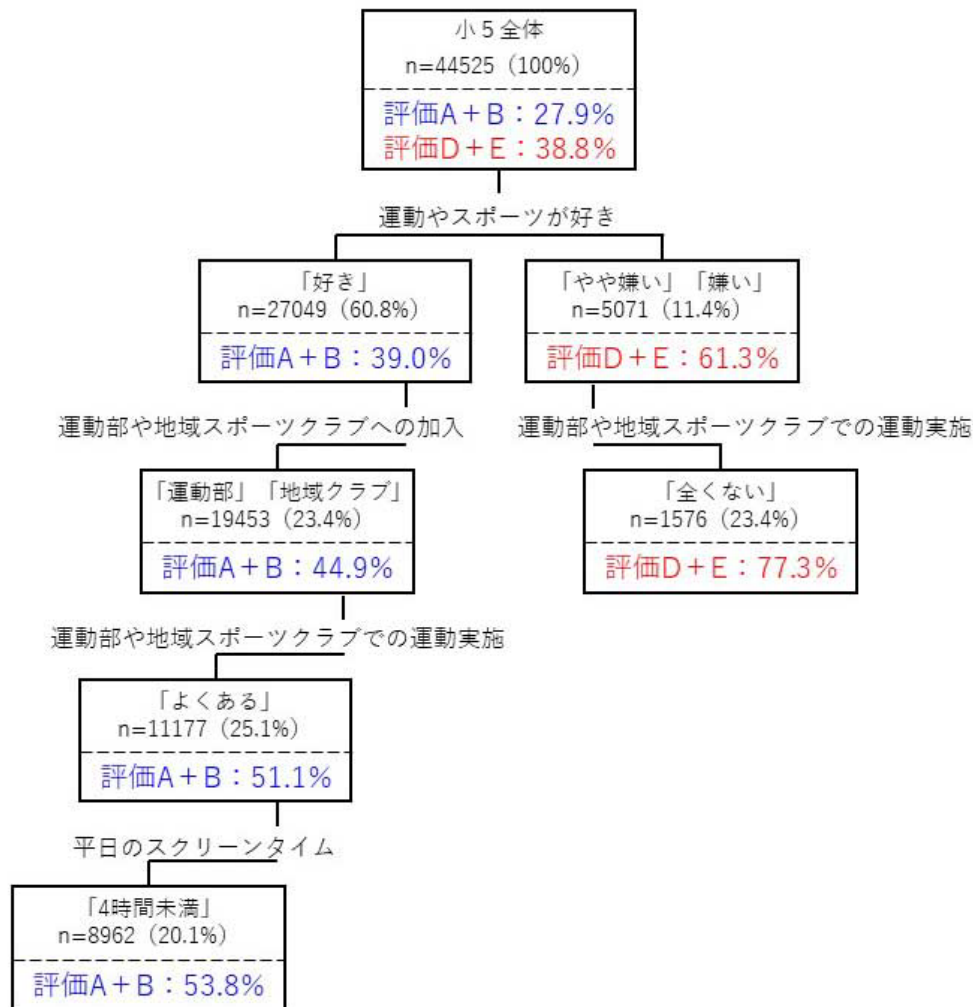


図 2-8-1. 体力総合評価が A+B および D+E になるための運動習慣、生活習慣ルール (小学生)

[考察]

- ・ 運動やスポーツが「好き」という気持ちを育むことで、評価 A+B の割合が 11.1% 高まる。さらに、運動部や地域スポーツクラブへの加入と実施、そして、スクリーンタイムを 4 時間未満にすることで、評価 A+B になる確率は 53.8% まで高まった。
- ・ 運動やスポーツが「やや嫌い」「嫌い」の児童では、評価 D+E の割合が一気に高まる。さらに、運動部や地域スポーツクラブでの運動実施がない児童では、実に 77.3% が評価 D+E になることが確認された。

(イ) 体育授業関連項目 (Q11~Q15) を説明変数とした分析結果

ここでは、体育授業関連項目を説明変数とし、体力総合評価が A+B、D+E になる条件の抽出を行った。その結果を図 2-8-2 に示す。これにより、体育授業において、どのような方法を推進すれば、体力向上につながるかを検討する

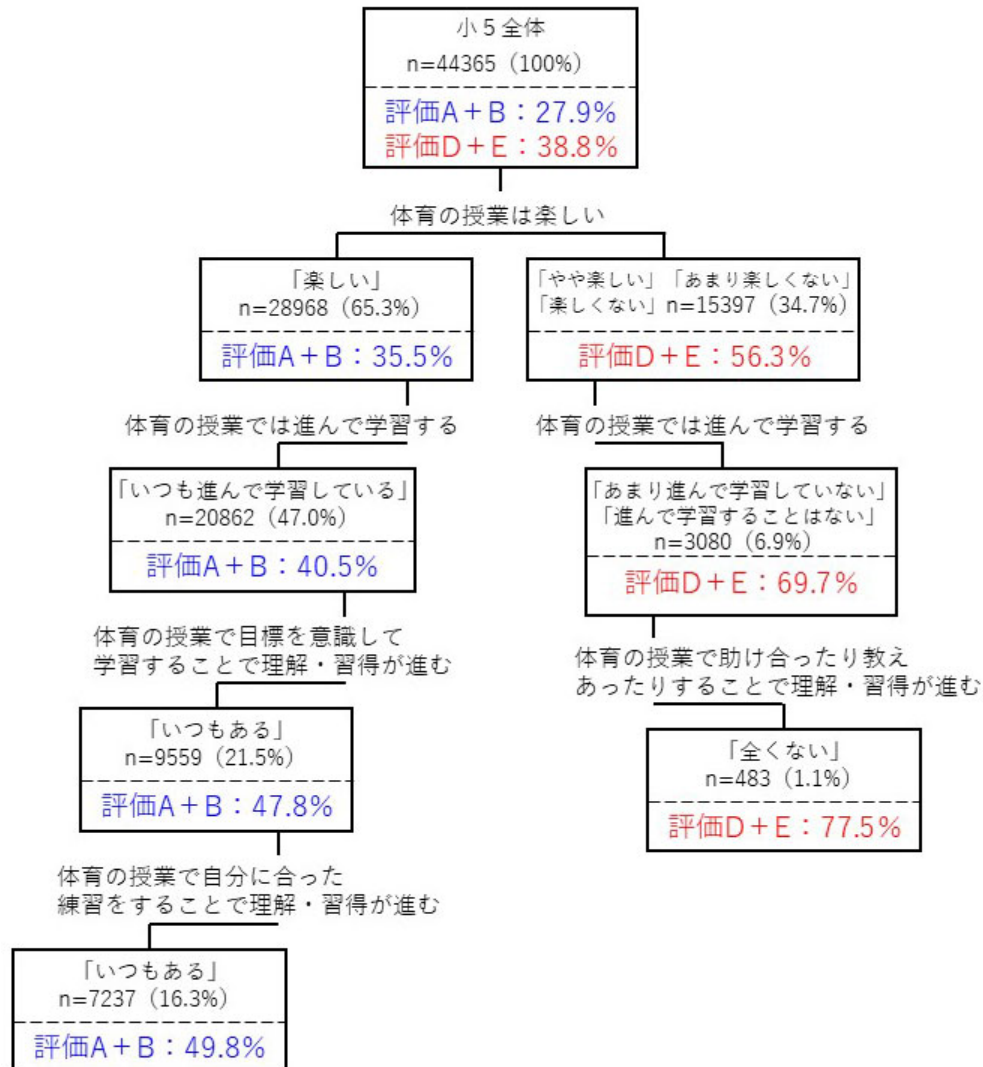


図 2-8-2. 体力総合評価が A+B および D+E になるための体育授業のルール (小学生)

[考察]

- 体育の授業は「楽しい」という気持ちを育むことで、評価 A+B の割合が 7.6% 高まる。さらに、いつも進んで学習すること (主体的学習)、目標を意識した学習を展開すること、自分に見合った練習を導入することが有効に作用し、これらを達成することで、評価 A+B になる確率は 49.8% まで高まった。
- 体育の授業は「楽しい」と回答しない生徒では、評価 D+E の割合が 17.5% 高まる。さらに、いつも進んで学習すること (主体的学習)、授業で助け合ったり、教えあったりすることを促進しないと評価 D+E の割合は 77.5% までに高まってしまふことが確認された。

(2) 中学生の結果

(ア) 運動習慣、生活習慣項目 (Q1~Q9) を説明変数とした分析結果

小学生同様に、運動習慣、生活習慣項目を説明変数とし、体力総合評価が A+B、D+E になる条件の抽出を行った結果を図 2-8-3 に示す。これにより、どのような運動習慣、生活習慣目標を立てれば、体力向上につながるかを検討する。

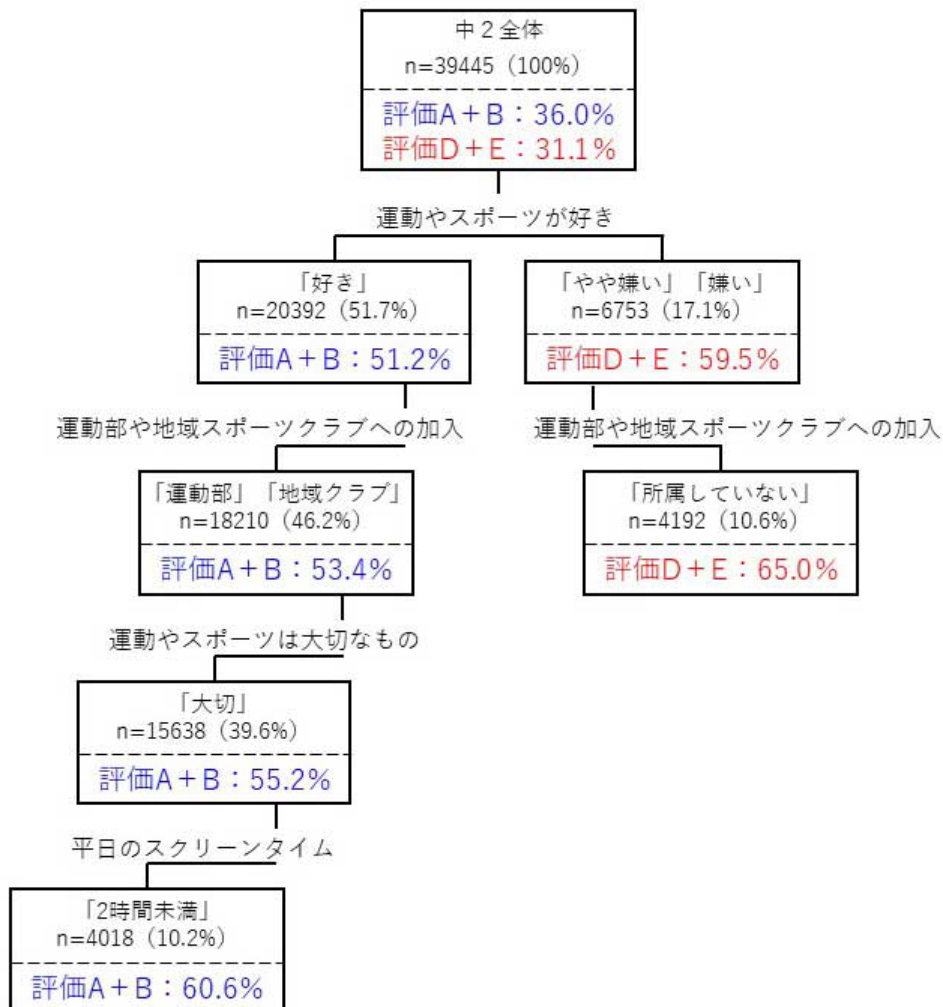


図 2-8-3. 体力総合評価が A+B および D+E になるための運動習慣、生活習慣ルール (中学生)

[考察]

- ・中学生においても、運動やスポーツが「好き」という気持ちを育むことで、評価 A+B の割合が 15.2% 高まる。さらに、運動部や地域スポーツクラブへの加入すること、運動やスポーツは大切という気持ちを育むこと、さらに、スクリーンタイムを2時間未満にすることで、評価 A+B になる確率は 60.6% まで高まった。
- ・中学生においても、運動やスポーツが「やや嫌い」「嫌い」の生徒では、評価 D+E の割合が一気に高まる。さらに、運動部や地域スポーツクラブへの加入がないと、評価 D+E の割合は 65.0% まで高まってしまう。



(イ) 保健体育授業関連項目 (Q11~Q15) を説明変数とした分析結果

小学生同様に、保健体育授業関連項目を説明変数とし、体力総合評価が A+B、D+E になる条件の抽出を行った結果を図 2-8-4 に示す。これにより、体育授業において、どのような方法を推進すれば、体力向上につながるかを検討する

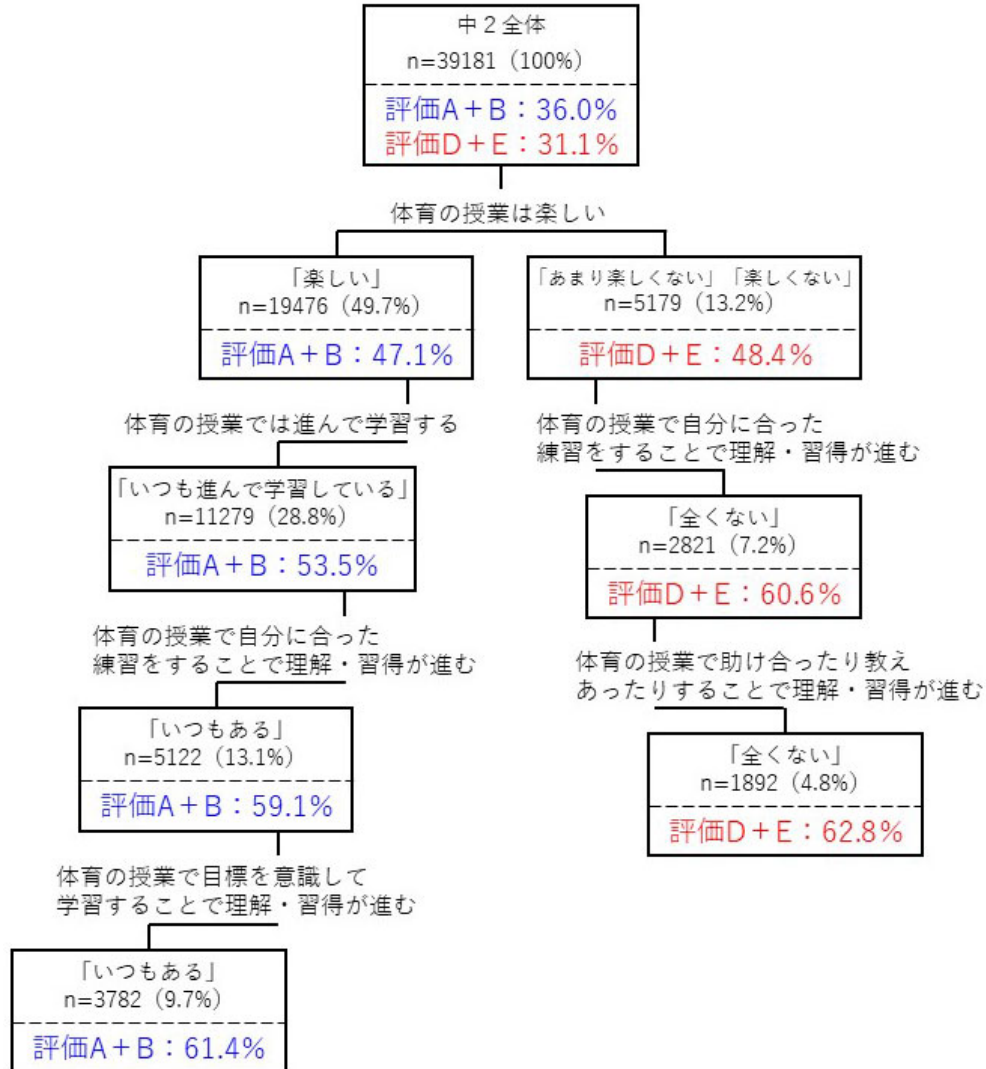


図 2-8-4. 体力総合評価が A+B および D+E になるための体育授業のルール (中学生)

[考察]

- ・中学生においても、体育の授業は「楽しい」という気持ちを育むことで、評価 A+B の割合が 11.1% 高まる。さらに、いつも進んで学習すること (主体的学習)、自分に見合った練習を導入すること、目標を意識した学習を展開することが有効に作用し、これらを達成することで、評価 A+B になる確率は 61.4% まで高まった。
- ・中学生においても、体育の授業は「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した生徒では、評価 D+E の割合が 17.3% 高まる。さらに、自分に見合った練習の導入や、授業で助け合ったり、教えあったりすることを促進しないと評価 D+E の割合は 62.8% に高まってしまふことが確認された。



- c) 複数の調査項目を用いた児童生徒のクラスターリングとクラスタごとの体力テスト結果、肥満度、体育授業の楽しさの状況の検討

#### 分析内容と手順

分析対象：以下の調査項目への回答に欠損のない児童生徒

小学5年生 40,585名（男子 20,147名、女子 20,438名）

中学2年生 39,050名（男子 19,853名、女子 19,197名）

質問項目：以下の9項目について、適宜カテゴリを統合して使用した。※ [] 内は、中学生の項目

Q1：運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。

Q2：あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは大切なものですか。

Q3：中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。[中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。]

Q4：学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをしていますか。[学校の保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをしていますか。]

Q5：朝食は毎日食べますか。

Q6：毎日どのくらい寝ていますか。

Q7：学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

Q8：学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。[学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。]

Q9：放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。

関連項目：運動・生活習慣と関連する変数として、以下の項目を踏まえて検討した。

- ・体力テストの評価（A-E）
- ・肥満度（-20%以下を「痩身傾向」、+20%以上を「肥満傾向」とした）
- ・体育授業の楽しさ（Q10：体育の授業は楽しいですか。[保健体育の授業は楽しいですか。]

分析方法：以下の手順IからIIIに従い、小学生と中学生それぞれについて分析を行った。

- I. 潜在クラス分析による児童生徒のクラスターリングを行った。小学生と中学生それぞれについて、上記9項目の回答パターンをもとに類型化を行った。類型化のクラスタ数は、1つのクラスタの大きさ（構成割合）が5%未満にならないことを条件として設定した。

例) クラスタ A・・・運動が好きで、運動時間も長く、生活習慣も望ましい

クラスタ B・・・運動が好きだが、運動時間は短く、睡眠時間が短い

クラスタ C・・・運動が嫌いだが、運動部に所属し、生活習慣も望ましい など

- II. 各クラスタについて、体力判定の割合（A+B、D+E）を算出し、運動・生活習慣の特徴別に、体力・運動能力の程度がどのように異なるのかを確認した。同様に、各クラスタについて、肥満度と体育授業の楽しさに関する質問への回答割合を算出し、それぞれの傾向を確認した。

- III. 自治体別に、各クラスタの構成比を算出し、どの自治体にどの運動・生活習慣の特徴をもつ児童生徒が多いのか（少ないのか）を確認した。

(1) 小学生の結果

(ア) 運動・生活習慣に基づくクラスタ分類

潜在クラス分析の結果、小学生は、S1 から S9 までの 9 つのクラスタに類型された。表 2-8-5 の条件付き応答確率とは、各クラスタが 9 つの質問項目について、どのように解答するかを確率で示したものである。網掛けで示した箇所は、そのクラスタの回答として最も確率の高いものを示している。例えば、S1 のクラスタの児童は、Q1 には「好き」、Q2 には「大切」、Q3 には「思う」と回答しやすいということになる。最も確率の高い回答内容をもとに、9 つのクラスタが、それぞれどのような運動・生活習慣の特徴をもつ児童であるのかを解釈した。表 2-8-6 は、クラスタごとの運動・生活習慣の特徴を解釈した結果である。プラス面とマイナス面、マイナス面を踏まえた各クラスタの課題を示した。

表 2-8-5. 小学生の各クラスタの条件付き応答確率

質問	回答	全体	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
Q1 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。	嫌い/やや嫌い	11.6%	0.1%	0.1%	0.1%	0.8%	5.5%	7.3%	15.9%	61.2%	76.0%
	やや好き	27.8%	1.8%	2.7%	12.6%	15.6%	58.8%	54.6%	66.9%	35.9%	22.1%
	好き	60.6%	98.2%	97.2%	87.3%	83.7%	35.7%	38.1%	17.2%	3.0%	1.9%
Q2 あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは大切なものですか。	大切でない/あまり大切でない	9.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	2.5%	6.8%	6.4%	56.9%	65.6%
	やや大切	30.5%	2.9%	11.7%	11.4%	11.5%	65.8%	58.4%	67.5%	39.1%	30.2%
	大切	60.5%	97.1%	88.2%	88.5%	88.5%	31.7%	34.8%	26.1%	3.9%	4.2%
Q3 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。	思わない/あまり思わない	14.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0.6%	10.1%	14.5%	20.7%	73.9%	81.8%
	やや思う	29.2%	4.9%	13.1%	25.3%	22.1%	58.6%	53.2%	58.7%	23.3%	15.8%
	思う	56.3%	95.1%	85.9%	74.7%	77.2%	31.4%	32.4%	20.6%	2.9%	2.4%
Q4 学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをしていますか。（合計時間）	～60分	13.4%	0.2%	0.8%	0.2%	16.8%	0.1%	23.8%	43.1%	3.1%	77.5%
	60～420分	48.5%	18.4%	20.8%	63.2%	75.2%	66.8%	58.2%	56.9%	81.8%	22.5%
	420分～	38.2%	81.4%	78.3%	36.6%	8.0%	33.1%	18.0%	0.0%	15.1%	0.0%
Q8 学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。	未加入	40.0%	9.3%	22.7%	0.0%	72.5%	30.6%	66.7%	80.2%	42.1%	92.7%
	運動部・スポーツクラブ加入	60.0%	90.7%	77.3%	100.0%	27.5%	69.4%	33.3%	19.9%	57.9%	7.3%
Q9 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。	全くない/あまりない	26.8%	2.9%	7.5%	13.1%	26.7%	21.0%	40.3%	55.0%	56.1%	89.8%
	時々ある	37.0%	14.2%	20.1%	86.9%	42.9%	54.0%	46.6%	43.5%	35.4%	9.7%
	ある	36.2%	83.0%	72.4%	0.0%	30.4%	25.0%	13.2%	1.6%	8.6%	0.6%
Q5 朝食は毎日食べますか。	食べない日が多い/食べない	3.0%	0.2%	8.0%	0.6%	1.6%	0.5%	17.4%	0.2%	3.9%	8.5%
	食べない日もある	14.4%	3.7%	28.2%	9.8%	11.0%	10.5%	51.0%	11.3%	17.3%	24.2%
	毎日食べる	82.6%	96.1%	63.8%	89.6%	87.4%	89.1%	31.7%	88.5%	78.8%	67.3%
Q6 毎日どのくらい寝ていますか。	7時間未満	11.7%	4.0%	27.8%	4.7%	7.7%	6.3%	40.5%	7.0%	15.3%	24.1%
	7時間以上9時間未満	50.2%	46.1%	54.3%	57.2%	43.6%	53.4%	45.0%	54.1%	54.6%	48.9%
	9時間以上	38.2%	49.9%	17.9%	38.1%	48.8%	40.3%	14.6%	38.9%	30.0%	27.1%
Q7 学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。	3時間以上	39.1%	22.0%	65.4%	32.7%	33.4%	32.9%	80.0%	37.3%	47.0%	55.5%
	1時間以上3時間未満	43.4%	52.1%	29.1%	53.4%	41.3%	50.6%	15.9%	46.1%	38.4%	32.7%
	1時間未満	17.5%	25.9%	5.5%	13.9%	25.4%	16.4%	4.1%	16.7%	14.6%	11.9%
	構成割合（推計値）		23.5%	9.8%	7.6%	13.0%	16.7%	6.0%	11.2%	6.4%	5.9%

表 2-8-6. 小学生の各クラスターの運動・生活習慣の特徴と課題

クラスター	プラス面	マイナス面	課題
S1	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い ・運動部に参加し、普段の運動時間も長い ・生活習慣も望ましい		
S2	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い ・運動部に参加し、普段の運動時間も長い	・スクリーンタイムが長い	・スクリーンタイムの削減
S3	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い ・運動部に参加している	・運動時間は1日60分未満 ・休日は時々運動する	・運動時間の増加
S4	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い	・運動部に参加せず、運動時間は1日60分未満 ・休日は時々運動する	・運動機会の確保
S5	・運動がやや好きで、運動への意識・意欲もやや高い ・運動部に参加している	・運動時間は1日60分未満 ・休日は時々運動する	・運動意識・意欲の向上 ・運動時間の増加
S6	・運動がやや好きで、運動への意識・意欲もやや高い	・運動部に参加せず、運動時間は1日60分未満 ・休日は時々運動する ・朝食を食べない日があり、スクリーンタイムが長い	・運動意識・意欲の向上 ・運動機会の確保 ・生活習慣の改善
S7	・運動がやや好きで、運動への意識・意欲もやや高い	・運動部に参加せず、運動時間は1日60分未満 ・休日はあまり運動しない	・運動意識・意欲の向上 ・運動機会の確保
S8	・運動部に参加している	・運動が嫌いで、運動への意識・意欲も低い ・運動時間は1日60分未満 ・休日はあまり運動しない、スクリーンタイムが長い	・運動意識の変革 ・運動時間の増加 ・スクリーンタイムの削減
S9		・運動が嫌いで、運動への意識・意欲も低い ・運動部に参加せず、運動時間は週に60分未満 ・休日はあまり運動しない、スクリーンタイムが長い	・運動意識の変革 ・運動機会の確保 ・スクリーンタイムの削減

[考察]

- ・ 「運動が好きで、運動時間が長く、生活習慣に乱れない (S1)」児童は、全体の 25%程度の割合であり、「運動が嫌いで、ほとんど運動に取り組まない (S9)」児童は、全体の 5-6%程度である。
- ・ 「運動が好きなのに、運動部やスポーツクラブに所属せず、運動時間も短い (S4)」児童 (約 13%) や、「運動が嫌いではない (やや好き) が、休日にほとんど運動しない (S7)」児童 (約 11%) が一定数みられ、そういった児童は、身近な生活での運動機会が十分に得られていない可能性がある。
- ・ 運動への意識に関わらず、スクリーンタイムが長い児童がみられ (S2、S6、S8、S9)、特に運動時間が短い場合には、日中の多くの時間を画面の視聴に費やしている可能性がある。

これ以降の分析結果では、9つのクラスターの特徴を以下のように簡易に示した表示を各表に添付する。このうち運動・生活習慣からみて、S1の児童を最も理想的なモデルとして考察する。

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌いで、運動時間は長くない、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		

(イ) クラスター別にみた体力・運動能力の評価、肥満度、体育授業の楽しさ

表 2-8-7 は、9つのクラスターと体力評価 (A-E) の割合及び A+B、D+E の割合を、全体と男女別で示している。クラスターごとに縦方向の A-E の割合を合計すると 100%になる。全国集計では、A+B の割合が男子で約 30%、女子で約 37%であることを踏まえると、男子では S1 (49.4%) と S2 (31.0%) で A または B 評価が 30%を上回り、女子では、S1 (60.0%)、S2 (50.3%)、S3 (43.7%) で A または B 評価が 40%を上回っている。

一方で、男子では S4-S9、女子では S7-S9 で、D+E の割合が 50%を上回っている。このことから、運動が嫌いな児童は体力評価が低くなっているとともに、運動が「やや好き」な児童であっても、男子では総じて体力評価が低く、女子では運動の機会が少ない場合に体力評価が低くなる傾向がある。

表 2-8-7. 小学生のクラスタ別にみた体力評価の割合

評価	クラスタ								
	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
A	19.9%	10.8%	9.5%	5.1%	3.7%	2.6%	1.2%	1.2%	0.4%
男子	16.4%	6.4%	5.1%	2.1%	2.0%	1.4%	0.4%	0.8%	0.0%
女子	26.0%	18.3%	14.1%	7.0%	5.2%	3.8%	1.7%	1.6%	0.6%
B	33.4%	27.3%	23.8%	17.4%	15.5%	9.6%	7.7%	7.0%	4.1%
男子	33.0%	24.6%	18.2%	11.0%	10.6%	5.1%	3.3%	3.1%	1.2%
女子	34.0%	32.0%	29.6%	21.5%	19.7%	13.7%	10.2%	9.8%	5.7%
C	33.0%	36.3%	39.1%	37.1%	36.5%	31.3%	29.7%	28.4%	18.1%
男子	35.2%	39.1%	40.4%	33.7%	33.2%	26.6%	19.7%	21.6%	10.1%
女子	29.3%	31.6%	37.7%	39.2%	39.4%	35.6%	35.3%	33.3%	22.6%
D	11.4%	20.4%	20.8%	27.2%	31.8%	36.9%	36.8%	36.9%	38.1%
男子	12.8%	23.6%	25.9%	32.6%	36.7%	38.3%	39.9%	37.0%	32.9%
女子	9.0%	15.0%	15.4%	23.8%	27.6%	35.5%	35.1%	36.9%	41.0%
E	2.3%	5.2%	6.9%	13.2%	12.5%	19.5%	24.5%	26.4%	39.3%
男子	2.6%	6.3%	10.3%	20.6%	17.5%	28.6%	36.7%	37.5%	55.8%
女子	1.7%	3.2%	3.3%	8.5%	8.1%	11.3%	17.7%	18.5%	30.0%
A+BとD+Eの割合									
A+B	53.3%	38.1%	33.3%	22.5%	19.2%	12.2%	8.9%	8.2%	4.5%
D+E	13.7%	25.6%	27.7%	40.4%	44.3%	56.4%	61.3%	63.3%	77.4%
男子A+B	49.4%	31.0%	23.3%	13.1%	12.6%	6.5%	3.7%	3.9%	1.2%
男子D+E	15.4%	29.9%	36.2%	53.2%	54.2%	66.9%	76.6%	74.5%	88.7%
女子A+B	60.0%	50.3%	43.7%	28.5%	24.9%	17.5%	11.9%	11.4%	6.3%
女子D+E	10.7%	18.2%	18.7%	32.3%	35.7%	46.8%	52.8%	55.4%	71.0%

S1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい  
 S2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い  
 S3：運動好きだが、運動時間は長くない  
 S4：運動好きだが、運動機会が少ない  
 S5：運動がやや好きで、運動時間は長くない  
 S6：運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある  
 S7：運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない  
 S8：運動が嫌いで、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い  
 S9：運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い

表 2-8-8 は、クラスタ別に各種目の得点（1-10 点）の平均値及び標準偏差、運動・生活習慣のモデルとなる S1 との得点差を示している。運動時間が短い、運動機会がない特徴をもつ S6-S9 の児童にとって、特に「上体起こし」、「シャトルラン」、「50m 走」、「反復横跳び」の得点が、男女ともに低い傾向がみられた。また、男子では、S7 以降で「ソフトボール投げ」の得点が特に低くなっていた。

表 2-8-8. 小学生のクラスタ別にみた種目得点（1-10 点）

男子

テスト項目	S1			S2			S3			S4		
	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差
握力	6.57	1.27	0.00	6.49	1.29	-0.08	6.24	1.25	-0.32	6.06	1.29	-0.50
上体起こし	7.69	1.75	0.00	7.12	1.92	-0.57	6.94	1.83	-0.75	6.35	1.94	-1.34
長座体前屈	6.77	1.90	0.00	6.48	1.97	-0.29	6.40	1.92	-0.37	6.07	2.03	-0.70
反復横跳び	7.91	1.70	0.00	7.29	1.82	-0.62	7.29	1.83	-0.62	6.55	1.99	-1.36
シャトルラン	7.43	1.64	0.00	6.53	1.65	-0.91	6.42	1.59	-1.01	5.63	1.59	-1.81
50m走	7.28	1.43	0.00	6.78	1.48	-0.50	6.61	1.50	-0.67	6.22	1.65	-1.06
立ち幅跳び	6.85	1.51	0.00	6.47	1.59	-0.38	6.33	1.58	-0.52	5.98	1.77	-0.87
ソフトボール投げ	6.52	1.44	0.00	6.16	1.37	-0.36	5.73	1.39	-0.80	5.24	1.33	-1.29

テスト項目	S5			S6			S7			S8			S9		
	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差
握力	6.10	1.29	-0.47	6.01	1.37	-0.56	5.77	1.31	-0.80	5.88	1.25	-0.69	5.60	1.34	-0.96
上体起こし	6.42	1.95	-1.27	5.99	2.02	-1.70	5.62	1.95	-2.07	5.74	1.97	-1.95	4.91	2.06	-2.78
長座体前屈	6.27	1.99	-0.51	6.08	2.08	-0.70	5.81	2.08	-0.96	5.90	2.18	-0.87	5.66	2.18	-1.12
反復横跳び	6.79	1.79	-1.12	6.21	1.96	-1.70	6.05	1.85	-1.86	6.19	1.88	-1.72	5.50	1.88	-2.41
シャトルラン	5.81	1.53	-1.62	5.14	1.56	-2.29	4.94	1.50	-2.49	5.03	1.50	-2.40	4.31	1.45	-3.12
50m走	6.03	1.50	-1.25	5.66	1.63	-1.62	5.40	1.63	-1.88	5.28	1.66	-2.00	4.63	1.76	-2.65
立ち幅跳び	5.87	1.61	-0.98	5.52	1.67	-1.33	5.22	1.77	-1.63	5.22	1.72	-1.63	4.67	1.78	-2.18
ソフトボール投げ	5.27	1.31	-1.25	5.08	1.26	-1.45	4.56	1.26	-1.96	4.63	1.31	-1.89	4.12	1.25	-2.40

女子

テスト項目	S1			S2			S3			S4		
	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差
握力	6.75	1.34	0.00	6.84	1.45	0.08	6.62	1.34	-0.13	6.47	1.35	-0.29
上体起こし	8.11	1.85	0.00	7.82	1.92	-0.29	7.58	1.95	-0.53	7.05	2.04	-1.06
長座体前屈	7.20	1.79	0.00	6.98	1.88	-0.22	6.95	1.83	-0.25	6.64	1.88	-0.56
反復横跳び	8.07	1.70	0.00	7.64	1.85	-0.43	7.64	1.80	-0.42	7.07	1.94	-0.99
シャトルラン	7.52	1.68	0.00	6.95	1.67	-0.57	6.88	1.59	-0.64	6.19	1.58	-1.33
50m走	7.39	1.41	0.00	7.18	1.40	-0.21	7.04	1.39	-0.34	6.71	1.47	-0.68
立ち幅跳び	7.20	1.57	0.00	6.91	1.67	-0.29	6.94	1.56	-0.26	6.49	1.67	-0.71
ソフトボール投げ	6.89	1.46	0.00	6.75	1.39	-0.14	6.44	1.36	-0.45	6.07	1.28	-0.82

テスト項目	S5			S6			S7			S8			S9		
	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差	平均値	標準偏差	S1との差
握力	6.41	1.33	-0.34	6.62	1.45	-0.13	6.26	1.37	-0.49	6.29	1.43	-0.46	6.16	1.53	-0.60
上体起こし	6.97	2.05	-1.14	6.61	2.08	-1.50	6.33	2.07	-1.78	6.23	2.18	-1.87	5.76	2.07	-2.35
長座体前屈	6.71	1.89	-0.49	6.58	1.89	-0.62	6.32	1.94	-0.88	6.48	2.02	-0.72	6.19	2.03	-1.01
反復横跳び	7.18	1.80	-0.89	6.69	1.87	-1.38	6.58	1.87	-1.48	6.61	1.84	-1.46	6.11	1.88	-1.96
シャトルラン	6.16	1.54	-1.36	5.62	1.47	-1.90	5.51	1.41	-2.01	5.46	1.46	-2.06	4.90	1.36	-2.62
50m走	6.38	1.38	-1.01	6.13	1.48	-1.25	6.00	1.45	-1.38	5.74	1.45	-1.65	5.41	1.55	-1.98
立ち幅跳び	6.32	1.57	-0.88	5.92	1.65	-1.28	5.85	1.63	-1.35	5.79	1.59	-1.41	5.35	1.65	-1.85
ソフトボール投げ	6.05	1.28	-0.84	5.89	1.21	-1.00	5.55	1.15	-1.34	5.61	1.24	-1.29	5.27	1.17	-1.62

S1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい  
 S2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い  
 S3：運動好きだが、運動時間は長くない  
 S4：運動好きだが、運動機会が少ない  
 S5：運動がやや好きで、運動時間は長くない  
 S6：運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある  
 S7：運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない  
 S8：運動が嫌いで、運動時間は長くない、スクリーンタイムが長い  
 S9：運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い

[考察]

- ・ 体力評価の分布からみると、男子では運動が好きで、運動時間が長く運動の機会も多い児童（S1、S2）が全国の体力水準を上回っている。女子では、週の運動時間が長なくても（週に420分未満）、運動が好きで運動の機会が多い児童（S1、S2、S3）は全国の体力水準を上回っている。
- ・ 「上体起こし」、「シャトルラン」、「50m走」、「反復横跳び」では、日頃の運動時間や運動の機会の多少の影響が大きい可能性がある。

表 2-8-9 は、クラスタ別の肥満と瘦身の状況を示している。瘦身傾向児の割合には、小学生の時点で、クラスタ間の割合に大きな違いはみられない。肥満傾向児の割合をみると、運動はやや好きだが、朝食の欠食やスクリーンタイムが長いなどの生活習慣の乱れがある S6 の児童では、男子で 21.7%、女子で 14.2% となり、全国集計の結果（男子：14.5%、女子：9.8%）を大きく上回っていた。また、運動が嫌いで運動の機会がほとんどない S9 の児童も、男子で 22.8%、女子で 14.3% となり、全国集計の結果を上回っていた。その一方で、運動・生活習慣のモデルとなる S1 の児童の肥満傾向の割合は、男子で 6.3%、女子で 4.7% となり、全国集計の半数以下の割合となり、特に男子では、S2 以降の肥満傾向児の割合とは大きな差が生じていた。そのため、小学生の時期においては、スクリーンタイムを含めた生活習慣の側面が、肥満の状況に大きく影響すると考えられる。

表 2-8-9. 小学生のクラスター別にみた肥満と瘦身の状況

男子	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
痩身傾向	3.0%	2.5%	2.7%	3.4%	2.8%	2.0%	3.7%	2.7%	3.0%
標準	90.7%	84.7%	85.9%	84.6%	82.2%	76.2%	77.1%	78.0%	74.6%
肥満傾向	6.3%	12.8%	11.4%	12.1%	15.0%	21.8%	19.1%	19.3%	22.4%

女子	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
痩身傾向	2.4%	2.3%	3.3%	2.9%	2.6%	1.7%	3.0%	3.3%	1.9%
標準	93.0%	90.0%	90.7%	90.5%	88.0%	84.1%	87.2%	84.1%	83.7%
肥満傾向	4.7%	7.7%	6.0%	6.6%	9.4%	14.2%	9.8%	12.5%	14.3%

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌いで、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		

[考察]

- ・ 痩身傾向児は、運動・生活習慣の違いからみて、どのクラスターでもある一定の割合で出現すると考えられる。
- ・ 「運動が好きで、運動時間が長く、生活習慣も望ましい」S1のような特徴を示す児童では、肥満は生じにくい。
- ・ 運動が嫌い、運動時間が短い、運動の機会が少ない、スクリーンタイムが長いといった運動・生活習慣に肥満の状況は関連し、ネガティブな特徴が重なると、肥満傾向の割合が一貫して高くなると考えられる。
- ・ 特に男子では、S1の肥満傾向の割合が顕著に低いことから、小学生の時期では、スクリーンタイムを含めた生活習慣の側面が、肥満の状況に大きく影響すると考えられる。

表 2-8-10 は、Q10「体育の授業は楽しいですか」に対する回答割合をクラスター別に示している。男女ともに、「楽しい」と回答した割合は、運動が好きな児童のクラスター (S1-S4) において 80% を超えている。そして、この 4 つのクラスターでは、「やや楽しい」の割合を合わせると 98% を超え、ほぼ全ての児童が体育授業を楽しんでいると感じていた。また、運動が嫌いではない (やや好き) 児童のクラスター (S5-S7) では、「楽しい」と「やや楽しい」の割合がおおよそ同程度となるが、両者を合わせるとほぼ 90% の児童が肯定的な回答を示していた。一方、運動が嫌いな児童のクラスター (S8-S9) では、体育の授業が「あまり楽しくない」と「楽しくない」と回答する割合が、合計で 40-50% 程度となり、S1-S7 までの児童と比べて大きく割合が増加していた。しかし、運動が嫌いでも普段からあまり運動に取り組まない児童であっても、約半数程度の児童が体育授業に対して肯定的な回答を示している点にも着目すべきである。

表 2-8-10. 小学生のクラスター別にみた「体育の授業は楽しいですか」への回答割合

男子	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
楽しい	92.7%	87.5%	87.1%	88.9%	57.3%	56.6%	44.3%	15.2%	16.2%
やや楽しい	6.4%	10.5%	12.1%	9.8%	37.8%	35.9%	47.3%	48.6%	39.3%
あまり楽しくない	0.7%	1.7%	0.6%	1.1%	4.1%	5.6%	7.1%	26.6%	27.8%
楽しくない	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.8%	1.8%	1.4%	9.5%	16.7%
女子	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
楽しい	90.2%	85.1%	82.0%	81.1%	44.0%	43.8%	33.6%	10.0%	8.4%
やや楽しい	8.7%	13.5%	17.5%	17.1%	48.0%	45.5%	54.9%	43.2%	35.5%
あまり楽しくない	0.8%	1.1%	0.5%	1.4%	7.1%	8.7%	10.3%	35.7%	36.9%
楽しくない	0.3%	0.3%	0.1%	0.4%	0.9%	1.9%	1.2%	11.1%	19.1%

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌い、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌い、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		

表 2-8-11 は、運動がやや好き、あるいは運動が嫌いな児童のクラスターである S5-S9 について、同じクラスターの中で、体育授業に対して肯定的な回答をした児童と否定的な回答をした児童のそれぞれの体力評価の分布を示している。D+E の割合をみると、特に運動がやや好きな S5-S7 の児童では、体育授業を楽しんでいる児童と楽しくないと感じている児童との間に、8-9% 程度の割合の差が生じている。そのため、運動が嫌いではなくやや好きと感じている児童が、楽しいと思える体育授業を小学校で実施することは、体力水準の向上に貢献できる可能性がある。

表 2-8-11. 小学生の S5-S9 における体育授業の楽しさと体力評価の関係性

		S5	S6	S7	S8	S9
体育授業が楽しい	A+B	19.6%	12.9%	9.4%	8.7%	5.2%
(楽しい/やや楽しい)	D+E	43.8%	55.5%	60.4%	61.5%	74.7%
体育授業が楽しくない	A+B	14.4%	8.1%	4.4%	7.7%	3.8%
(あまり楽しくない/楽しくない)	D+E	52.2%	63.6%	69.5%	65.6%	79.8%

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌い、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌い、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		



では、運動がやや好き、あるいは運動が嫌いな児童は、体育授業のどのような要素について楽しさを感じているのだろうか。また、どのような要素があれば、体育授業が今よりも楽しくなると考えているのだろうか。その点について検討するため、Q10「体育の授業は楽しいですか」の質問に、「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童について、クラスタ別に体育授業が楽しい理由として回答した選択肢の割合を算出した（表 2-8-12）。さらに、Q10 に対し、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童について、体育授業が楽しくなる要素として回答した選択肢の割合を算出した（表 2-8-13）。

体育授業が楽しい理由をみると、「自分が好きな種目、できる種目があるから」と「友達と一緒にできるから」の割合は、S1 から S9 まで一貫して割合が高く、どのクラスタでもおよそ半数以上の児童が当てはまると回答している。また、運動がやや好きな児童（S5-7）においては、「できなかったことができるようになるから」の割合が高く、これもおよそ半数の児童が当てはまると回答している。

体育授業がより楽しくなるための要素をみると、「自分のペースで行うことができたなら」の割合が S1-S9 で一貫して高く、およそ半数以上の児童が当てはまると回答している。そして、運動がやや好き、あるいは嫌いな児童（S5-S9）においては、「できなかったことができるようになるから」、「人と比べられなかったら」という要素の割合が高くなっている。この点は、運動への意識があまり高くない児童の中で、現時点で体育授業に楽しさを感じていない児童にとっての授業改善のポイントとして重要である。

表 2-8-12. 小学生のクラスタ別にみた体育授業が楽しい理由（「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童）

	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
自分が好きな種目、できる種目があるから	77.0%	70.0%	72.8%	64.2%	65.4%	57.2%	56.4%	54.6%	49.9%
体を動かすことが好きだから	87.3%	82.6%	73.2%	67.4%	37.0%	38.2%	21.1%	6.8%	5.5%
友達と一緒にできるから	63.7%	63.5%	60.6%	55.9%	59.5%	57.1%	56.0%	53.8%	50.9%
運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	35.2%	27.4%	28.5%	26.5%	19.7%	16.7%	17.5%	11.5%	10.3%
いろんな種目を体験できるから	63.5%	54.6%	56.8%	50.0%	44.6%	38.8%	39.9%	28.7%	25.0%
できなかったことができるようになるから	59.9%	54.3%	59.7%	56.8%	53.5%	46.8%	50.0%	36.6%	34.5%
先生にほめられてうれしいから	28.8%	21.6%	22.0%	19.5%	14.9%	12.7%	12.4%	9.6%	8.0%
友達にみとめられてうれしいから	30.4%	23.7%	20.9%	17.9%	14.5%	14.0%	10.7%	10.3%	7.7%
体を動かすとすっきりした気分になるから	63.8%	56.7%	52.8%	48.5%	33.2%	32.7%	25.9%	14.6%	11.6%
その他	17.6%	17.6%	12.4%	11.0%	15.1%	15.4%	13.3%	20.0%	17.8%

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌いで、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		

表 2-8-13. 小学生のクラスタ別にみた体育授業が楽しくなる要素（「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童）

	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9
運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	22.0%	15.7%	22.2%	27.5%	23.5%	19.6%	24.7%	19.9%	18.7%
できなかったことができるようになったら	25.0%	15.7%	37.0%	46.3%	49.1%	38.6%	53.8%	51.0%	43.7%
自分に合った場やルールが用意されてたら	29.0%	19.6%	40.7%	27.5%	32.5%	25.9%	31.1%	36.5%	30.3%
タブレットなどのICTを活用できたら	18.0%	7.8%	18.5%	11.3%	14.5%	13.2%	11.3%	11.7%	10.9%
先生にほめられたら	19.0%	5.9%	22.2%	17.5%	16.1%	14.3%	14.7%	11.4%	11.2%
友達にみとめられたら	15.0%	7.8%	18.5%	18.8%	17.5%	18.0%	14.5%	13.9%	12.0%
先生に個別に教えてもらえたら	8.0%	9.8%	14.8%	8.8%	11.8%	10.1%	11.3%	11.2%	11.1%
自分のペースで行うことができたなら	47.0%	35.3%	59.3%	50.0%	55.5%	56.1%	55.5%	59.7%	53.7%
人と比べられなかったら	39.0%	27.5%	44.4%	45.0%	47.5%	40.2%	42.8%	45.3%	38.2%
その他	36.0%	51.0%	48.1%	28.7%	27.6%	32.8%	18.9%	27.9%	26.6%

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌いで、運動時間は長くなく、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		



[考察]

- ・ 運動が好き、やや好きな児童（S1-S7）の9割以上は、小学校での体育授業を楽しんでいる。運動が嫌いな児童（S8-S9）であっても、約半数が楽しいと感じている。
- ・ 運動がやや好きな児童（S5-S7）の中で、体育授業が楽しくないと感じている児童は、体力水準が低い傾向にある。運動が嫌いではないが、とても好きとはいえない児童にとって、体育授業の楽しさは大きな影響を与える可能性がある。
- ・ 運動がやや好きな児童（S5-S7）や運動が嫌いな児童（S8-S9）が、体育授業が楽しいと感じられる要素として、自分の好きな種目やできる種目に取り組めること、友達と一緒に楽しめること、達成感を感じられることが重要である。
- ・ 運動がやや好きな児童（S5-S7）や運動が嫌いな児童（S8-S9）が、今よりも体育授業が楽しくなる要素として、自分のペースで取り組むことができること、達成感を感じられること、他人とあまり比較されないことが重要である。

ここまで示した運動・生活習慣の特徴に基づく小学生の9つのクラスタの内容と、体力評価、肥満度、体育授業の楽しさとの関連についての結果をまとめると、図2-8-5のようになる。

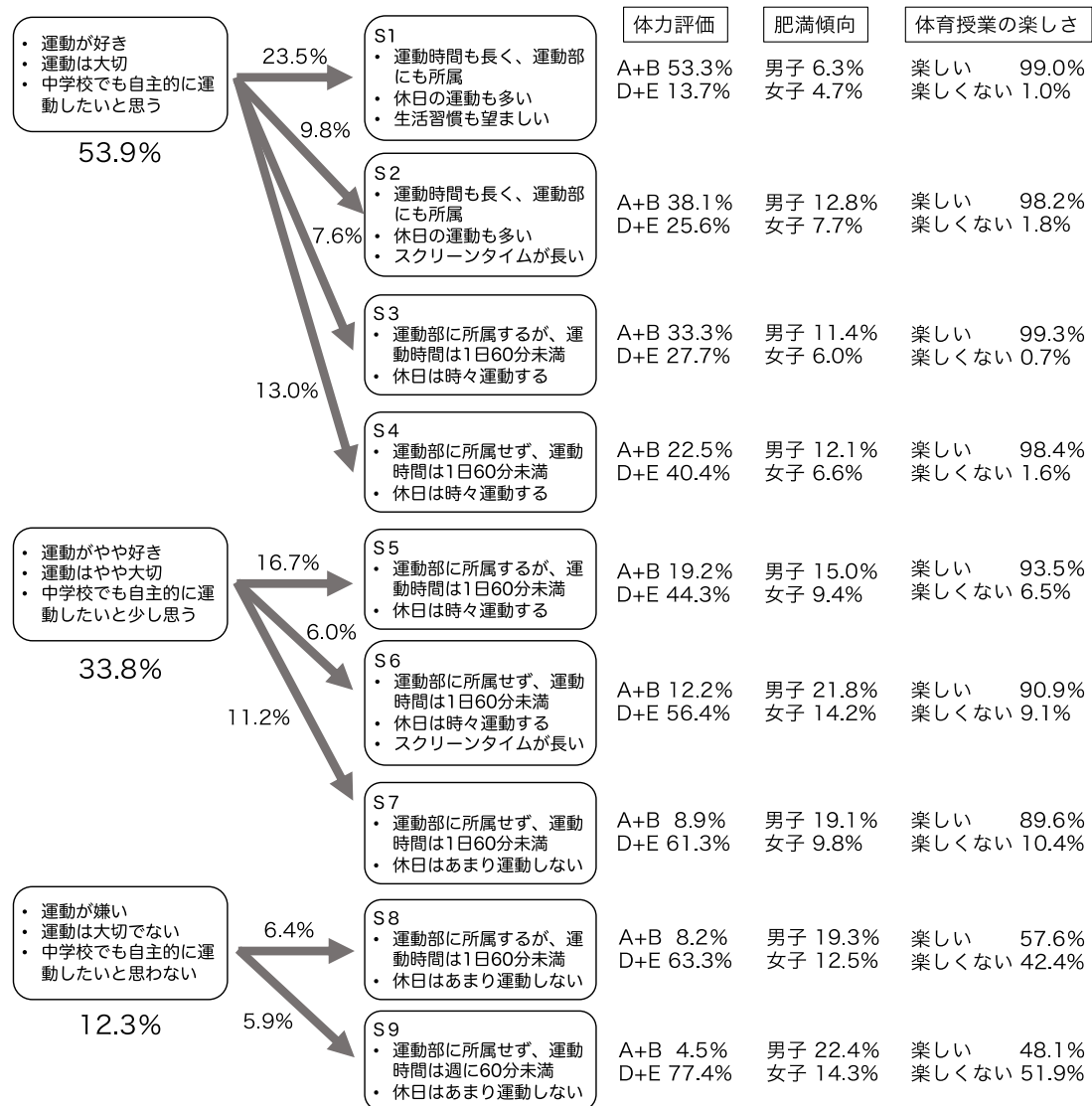


図2-8-5. 小学生の運動・生活習慣のクラスタの内容と諸要因との関連

(ウ) 自治体別の特徴

表 2-8-14 は、自治体別のクラスターの構成比を示している。左側の数値が割合、右側の数値は割合から算出した特化係数である。特化係数は、「当該自治体の割合÷全体の割合」で算出され、1 を超える場合は全体からみて割合が高く、1 を下回る場合は全体からみて割合が低いということになる。

表 2-8-14. 自治体別にみた小学生のクラスターの構成比

自治体	n	割合											特化係数 (>1なら全体からみて割合が高い、<1なら全体からみて割合が低い)											
		S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	A+B	D+E	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	A+B	D+E	
あま市	全体	612	21.7%	9.2%	9.2%	12.7%	17.8%	6.7%	10.5%	4.7%	7.5%	23.5%	40.8%	0.84	1.28	0.94	1.02	1.08	1.29	0.94	0.75	1.34	0.83	1.07
	男子	304	26.6%	12.5%	9.2%	9.5%	19.1%	4.9%	7.6%	4.3%	6.3%	21.9%	46.1%	0.81	1.36	0.91	0.97	1.23	0.98	0.93	0.83	1.54	0.85	1.10
	女子	308	16.9%	5.8%	9.1%	15.9%	16.6%	8.4%	13.3%	5.2%	8.8%	25.0%	35.6%	0.90	1.09	0.96	1.06	0.95	1.56	0.94	0.71	1.24	0.81	1.03
みよし市	全体	416	30.3%	7.2%	13.9%	8.7%	15.6%	5.5%	8.7%	6.3%	3.8%	33.9%	31.2%	1.17	1.00	1.42	0.70	0.95	1.06	0.78	1.00	0.68	1.20	0.81
	男子	213	36.6%	10.8%	11.7%	5.6%	15.5%	6.1%	5.6%	5.2%	2.8%	31.1%	36.0%	1.11	1.17	1.16	0.57	1.00	1.22	0.68	1.00	0.68	1.20	0.86
	女子	203	23.6%	3.4%	16.3%	11.8%	15.8%	4.9%	11.8%	7.4%	4.9%	36.9%	26.3%	1.26	0.64	1.72	0.79	0.90	0.91	0.83	1.01	0.69	1.20	0.76
阿久比市	全体	304	27.0%	6.3%	10.2%	10.9%	19.4%	5.3%	9.9%	5.9%	5.3%	26.3%	34.2%	1.05	0.88	1.04	0.88	1.18	1.02	0.88	0.94	0.95	0.93	0.89
	男子	147	30.6%	9.5%	10.9%	10.9%	15.0%	6.1%	7.5%	6.1%	3.4%	20.0%	36.5%	1.03	1.08	1.11	0.97	1.22	0.91	1.17	0.83	0.78	0.87	0.87
	女子	157	23.6%	3.2%	9.6%	10.8%	23.6%	4.5%	12.1%	5.7%	7.0%	32.2%	32.3%	1.26	0.60	1.01	0.72	1.35	0.83	0.85	0.78	0.99	1.05	0.93
愛西市	全体	419	25.8%	6.9%	14.1%	13.1%	13.6%	6.4%	10.7%	4.3%	5.0%	32.1%	30.1%	1.00	0.96	1.44	1.06	0.82	1.23	0.96	0.68	0.89	1.13	0.79
	男子	208	30.8%	8.7%	16.3%	9.1%	13.5%	8.2%	5.3%	6.3%	1.9%	26.4%	34.3%	0.94	0.95	1.61	0.93	0.87	1.64	0.65	1.21	0.46	1.03	0.82
	女子	211	20.9%	5.2%	11.8%	17.1%	13.7%	4.7%	16.1%	2.4%	8.1%	38.0%	26.0%	1.11	0.98	1.24	1.14	0.78	0.87	1.13	0.33	1.14	1.24	0.75
安城市	全体	1570	24.6%	7.6%	8.1%	12.0%	15.9%	5.7%	11.7%	7.4%	7.1%	22.4%	45.3%	0.95	1.06	0.83	0.97	0.96	1.10	1.04	1.17	1.27	0.79	1.18
	男子	777	29.3%	9.7%	9.4%	9.5%	14.8%	5.9%	9.5%	6.8%	5.0%	20.0%	50.3%	0.89	1.05	0.93	0.97	0.95	1.18	1.16	1.31	1.22	0.78	1.20
	女子	793	19.9%	5.5%	6.8%	14.4%	16.9%	5.4%	13.9%	7.9%	9.2%	24.6%	40.5%	1.06	1.04	0.72	0.96	0.97	1.00	0.98	1.08	1.30	0.80	1.17
一宮市	全体	2968	25.6%	7.3%	9.5%	15.0%	14.3%	5.1%	11.3%	5.5%	6.2%	21.0%	44.5%	0.99	1.01	0.97	1.21	0.87	1.04	1.01	0.87	1.11	0.74	1.16
	男子	1509	34.3%	8.8%	9.8%	10.9%	13.3%	4.9%	8.5%	4.7%	4.7%	20.4%	48.1%	1.04	0.96	0.97	1.11	0.86	0.98	1.04	0.90	1.15	0.79	1.15
	女子	1459	16.6%	5.7%	9.1%	19.2%	15.2%	6.0%	14.2%	6.4%	7.7%	21.7%	40.7%	0.88	1.08	0.96	1.28	0.87	1.11	1.00	0.88	1.08	0.71	1.17
稲沢市	全体	956	22.8%	7.7%	9.5%	13.7%	16.1%	6.2%	10.7%	7.4%	5.9%	23.6%	43.6%	0.88	1.07	0.97	1.10	0.98	1.19	0.96	1.17	1.05	0.83	1.14
	男子	492	28.7%	10.2%	9.6%	11.0%	16.5%	7.1%	7.7%	5.7%	3.7%	23.1%	47.5%	0.87	1.11	0.95	1.12	1.06	1.42	0.94	1.10	0.90	0.90	1.13
	女子	464	16.6%	5.2%	9.5%	16.6%	15.7%	5.2%	13.8%	9.3%	8.2%	24.0%	39.4%	0.88	0.98	1.00	1.11	0.90	0.96	0.97	1.27	1.15	0.78	1.14
岡崎市	全体	2948	28.5%	8.0%	12.6%	8.0%	19.9%	4.5%	7.3%	7.4%	3.7%	34.9%	32.7%	1.10	1.11	1.29	0.65	1.21	0.87	0.65	1.17	0.66	1.23	0.85
	男子	1412	34.1%	9.8%	12.6%	7.1%	18.2%	4.2%	5.6%	5.9%	2.5%	29.5%	37.9%	1.04	1.07	1.25	0.72	1.17	0.84	0.68	1.13	0.61	1.15	0.90
	女子	1536	23.2%	6.4%	12.6%	8.9%	21.5%	4.9%	8.9%	8.7%	4.8%	39.8%	28.1%	1.23	1.21	1.33	0.59	1.23	0.91	0.63	1.19	0.68	1.30	0.81
蟹江町	全体	277	24.2%	8.3%	7.9%	12.3%	15.2%	6.1%	11.2%	9.0%	5.8%	29.8%	39.5%	0.94	1.15	0.81	0.99	0.92	1.17	1.00	1.43	1.04	1.05	1.03
	男子	147	30.6%	9.5%	10.2%	7.5%	13.6%	4.8%	8.2%	10.9%	4.8%	23.8%	44.8%	0.93	1.03	1.01	0.77	0.88	0.96	1.00	2.10	1.17	0.93	1.07
	女子	130	16.9%	6.9%	5.4%	17.7%	16.9%	7.7%	14.6%	6.9%	6.9%	36.8%	33.6%	0.90	1.30	0.57	1.18	0.97	1.43	0.10	0.95	0.97	1.20	0.97
蒲郡市	全体	560	24.5%	5.5%	10.5%	13.2%	18.2%	3.0%	11.3%	6.6%	7.1%	28.6%	38.7%	0.95	0.76	1.07	1.06	1.10	0.58	1.01	1.05	1.27	1.01	1.01
	男子	273	31.1%	6.2%	10.6%	8.4%	19.0%	2.6%	8.8%	6.2%	7.0%	25.6%	42.7%	0.95	0.67	1.05	0.86	1.23	0.52	1.07	1.19	1.71	1.00	1.02
	女子	287	18.1%	4.9%	10.5%	17.8%	17.4%	3.5%	13.6%	7.0%	7.3%	31.3%	34.7%	0.96	0.92	1.11	1.19	0.99	0.65	0.96	0.96	1.03	1.02	1.00
刈谷市	全体	1271	29.8%	5.5%	11.2%	7.9%	17.9%	3.5%	9.6%	8.4%	6.2%	34.5%	32.5%	1.16	0.76	1.14	0.64	1.08	0.67	0.86	1.33	1.11	1.22	0.85
	男子	615	37.7%	7.5%	10.7%	6.3%	16.3%	4.1%	7.5%	7.0%	2.9%	31.8%	33.8%	1.15	0.82	1.06	0.64	1.05	0.82	0.91	1.35	0.71	1.24	0.80
	女子	656	22.4%	3.7%	11.6%	9.3%	19.4%	3.0%	11.6%	9.8%	9.3%	37.1%	31.1%	1.19	0.70	1.22	0.62	1.11	0.56	0.82	1.34	1.31	1.21	0.90
岩倉市	全体	319	19.4%	12.2%	6.3%	13.5%	14.4%	7.2%	14.7%	7.5%	4.7%	21.3%	51.8%	0.75	1.69	0.64	1.09	0.87	1.38	1.31	1.19	0.84	0.75	1.35
	男子	142	25.4%	19.0%	8.5%	11.3%	9.9%	7.0%	8.5%	7.0%	3.5%	21.4%	54.4%	0.77	2.07	0.84	1.15	0.64	1.40	1.04	1.35	0.85	0.83	1.30
	女子	177	14.7%	6.8%	4.5%	15.3%	18.1%	7.3%	19.8%	7.9%	5.6%	21.3%	49.7%	0.78	1.28	0.47	1.02	1.03	1.35	1.39	1.08	0.79	0.69	1.43
犬山市	全体	505	21.0%	4.4%	8.7%	15.2%	19.4%	4.8%	17.2%	4.6%	4.8%	35.1%	29.7%	0.81	0.61	0.89	1.23	1.18	0.92	1.54	0.73	0.86	1.24	0.78
	男子	257	23.0%	5.4%	10.9%	13.2%	19.1%	4.3%	16.7%	3.9%	3.5%	30.4%	34.5%	0.70	0.59	1.08	1.35	1.23	0.86	2.04	0.75	0.85	1.18	0.82
	女子	248	19.0%	3.2%	6.5%	17.3%	19.8%	5.2%	17.7%	5.2%	6.0%	40.1%	24.7%	1.01	0.60	0.68	1.15	1.13	0.96	1.25	0.71	0.85	1.31	0.71
幸田町	全体	452	29.4%	6.0%	9.5%	10.4%	15.3%	4.6%	13.3%	6.6%	4.9%	28.2%	38.2%	1.14	0.83	0.97	0.84	0.93	0.88	1.19	1.05	0.88	1.00	1.00
	男子	225	38.7%	8.9%	8.9%	7.6%	12.0%	5.8%	7.6%	8.0%	2.7%	26.1%	42.2%	1.18	0.97	0.88	0.78	0.77	1.16	0.93	1.54	0.66	1.02	1.00
	女子	227	20.3%	3.1%	10.1%	13.2%	18.5%	3.5%	18.9%	5.3%	7.0%	30.2%	34.3%	1.08	0.58	1.06	0.88	1.06	0.65	1.33	0.73	0.99	0.98	0.99
江南市	全体	749	23.1%	6.9%	8.3%	16.6%	12.8%	6.1%	14.6%	5.9%	5.7%	21.9%	43.7%	0.90	0.96	0.85	1.34	0.78	1.17	1.30	0.94	1.02	0.77	1.14
	男子	381	29.9%	9.2%	7.9%	12.1%	12.3%	6.3%	12.6%	4.2%	5.5%	22.1%	47.2%	0.91	1.00	0.78	1.23	0.79	1.26	1.54	0.81	1.34	0.86	1.12
	女子	368	16.0%	4.6%	8.7%	21.2%	13.3%	6.0%	16.6%	7.6%	6.0%	21.5%	40.1%	0.85	0.87	0.92	1.41	0.76	1.11	1.17	1.04	0.85	0.70	1.16
高浜市	全体	440	22.0%	6.6%	13.6%	15.0%	13.0%	5.2%	13.4%	5.0%	6.1%	21.9%	46.4%	0.85	0.92	1.39	1.21	0.79	1.00	1.20	0.79	1.09	0.77	1.21
	男子	197	31.0%	9.1%	15.2%	11.2%	14.2%	2.5%	7.6%	4.6%	4.6%	27.3%	43.9%	0.94	0.99	1.50	1.14	0.92	0.50	0.93	0.88	1.12	1.06	1.05
	女子	243	14.8%	4.5%	12.3%	18.1%	11.9%	7.4%	18.1%	5.3%	7.4%	17.6%	48.5%	0.79	0.85	1.29	1.21	0.68	1.37	1.27	0.73	1.04	0.57	1.40
春日井市	全体	2387	26.8%	7.5%	8.2%	15.6%	15.1%	4.5%	11.9%	5.7%	4.7%	19.7%	47.5%	1.04	1.04	0.84	1.26	0.92	0.87	1.06	0.90	0.84	0.70	1.24
	男子	1163	33.9%	10.1%	9.4%	12.4%	14.8%	4.3%	8.0%	4.0%	3.2%	19.5%	50.2%	1.03	1.10	0.93	1.27	0.95	0.86	0.98	0.77	0.78	0.76	1.20
	女子	1224	20.0%	5.0%	7.1%	18.7%	15.4%	4.7%	15.6%	7.4%	6.1%	20.0%	45.0%	1.06	0.94	0.75	1.25	0.88	0.87	1.10	1.01	0.86	0.65	1.30
小牧市	全体	1078	23.9%	7.9%	12.2%	12.8%	15.9%	6.1%	11.7%	5.1%	4.5%	19.8%	46.7%	0.93	1.10	1.24	1.03	0.96	1.17	1.04	0.81	0.80	0.70	1.22
	男子	528	31.4%	9.3%	11.9%	9.5%	16.9%	6.1%	7.4%	4.2%	3.4%	18.9%	46.8%	0.95	1.01	1.18	0.97	1.10	1.22	0.90	0.81	0.83	0.74	1.11
	女子	550	16.7%	6.5%	12.4%	16.0%	14.9%	6.2%	15.8%	6.0%	5.5%	20.5%	46.7%	0.89	1.23	1.31	1.07	0.85	1.15	1.11	0.8			

自治体	n	割合										特化係数 (>1なら全体からみて割合が高い、<1なら全体からみて割合が低い)													
		S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	A+B	D+E	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	A+B	D+E		
大府市	全体	827	27.0%	6.3%	8.3%	11.1%	18.7%	5.1%	10.8%	6.5%	6.2%	27.7%	38.7%	1.05	0.88	0.85	0.90	1.13	0.98	0.96	1.03	1.11	0.98	1.01	
	男子	430	35.8%	6.5%	8.8%	9.1%	17.4%	5.1%	7.0%	4.7%	5.6%	25.0%	44.3%	1.09	0.71	0.87	0.93	1.12	1.02	0.85	0.90	1.37	0.97	1.05	
女子	397	17.4%	6.0%	7.8%	13.4%	20.2%	5.0%	14.9%	8.6%	6.8%	30.7%	32.4%	0.93	1.13	0.82	0.89	1.15	0.93	1.05	1.18	0.96	1.00	0.93		
知多市	全体	674	23.6%	9.1%	9.8%	9.6%	17.5%	5.6%	11.1%	7.1%	6.5%	33.4%	36.3%	0.91	1.26	1.00	0.77	1.06	1.08	0.99	1.13	1.16	1.18	0.95	
	男子	354	28.2%	10.2%	10.7%	8.8%	14.1%	5.1%	9.6%	8.2%	5.1%	28.9%	40.7%	0.86	1.11	1.06	0.90	0.91	1.02	1.17	1.58	1.24	1.12	0.97	
女子	320	18.4%	7.8%	8.8%	10.6%	21.3%	6.3%	12.8%	5.9%	8.1%	38.3%	31.3%	0.98	1.47	0.93	0.71	1.22	1.17	0.90	0.81	1.14	1.25	0.90		
知立市	全体	550	21.3%	7.8%	7.3%	16.5%	14.4%	7.6%	11.1%	6.2%	7.8%	31.9%	34.5%	0.83	1.08	0.74	1.33	0.87	1.46	0.99	0.98	1.39	1.13	0.90	
	男子	287	26.5%	9.8%	6.6%	14.6%	11.5%	6.3%	11.1%	5.2%	8.4%	25.2%	43.1%	0.81	1.07	0.65	1.49	0.74	1.26	1.35	1.00	2.05	0.98	1.03	
女子	263	15.6%	5.7%	8.0%	18.6%	17.5%	9.1%	11.0%	7.2%	7.2%	39.3%	25.1%	0.83	1.08	0.84	1.24	1.00	1.69	0.77	0.99	1.01	1.28	0.72		
長久手市	全体	662	30.4%	4.7%	9.4%	12.8%	20.5%	3.5%	10.0%	5.3%	3.5%	25.6%	39.6%	1.18	0.65	0.96	1.03	1.24	0.67	0.89	0.84	0.63	0.90	1.03	
	男子	329	41.0%	6.1%	10.3%	10.3%	17.0%	3.0%	6.1%	4.0%	2.1%	21.3%	41.6%	1.25	0.66	1.02	1.05	1.10	0.60	0.74	0.77	0.51	0.83	0.99	
女子	333	19.8%	3.3%	8.4%	15.3%	24.0%	3.9%	13.8%	6.6%	4.8%	29.8%	37.8%	1.05	0.62	0.88	1.02	1.37	0.72	0.97	0.90	0.68	0.97	1.09		
津島市	全体	347	21.6%	6.6%	7.8%	17.0%	14.1%	7.5%	14.1%	5.8%	5.5%	29.1%	37.4%	0.84	0.92	0.80	1.37	0.85	1.44	1.26	0.92	0.98	1.03	0.98	
	男子	181	26.5%	8.3%	8.3%	14.9%	14.4%	6.1%	8.3%	7.2%	6.1%	26.0%	45.2%	0.81	0.90	0.82	1.52	0.93	1.22	1.01	1.38	1.49	1.01	1.08	
女子	166	16.3%	4.8%	7.2%	19.3%	13.9%	9.0%	20.5%	4.2%	4.8%	32.5%	28.8%	0.87	0.91	0.76	1.29	0.79	1.67	1.44	0.58	0.68	1.06	0.83		
田原市	全体	460	32.2%	7.4%	11.7%	5.9%	22.0%	2.4%	8.0%	7.4%	3.0%	42.1%	29.0%	1.25	1.03	1.19	0.48	1.33	0.46	0.71	1.17	0.54	1.49	0.76	
	男子	227	39.2%	10.6%	9.7%	3.1%	21.1%	3.1%	5.7%	5.3%	2.2%	36.8%	30.0%	1.19	1.15	0.96	0.32	1.36	0.62	0.70	1.02	0.54	1.43	0.71	
女子	233	25.3%	4.3%	13.7%	8.6%	22.7%	1.7%	10.3%	9.4%	3.9%	47.2%	27.9%	1.35	0.81	1.44	0.57	1.30	0.31	0.73	1.29	0.55	1.54	0.80		
東浦町	全体	407	24.1%	4.4%	12.8%	14.5%	12.0%	7.4%	12.5%	5.4%	6.9%	32.1%	35.4%	0.93	0.61	1.31	1.17	0.73	1.42	1.12	0.86	1.23	1.13	0.92	
	男子	209	29.7%	6.2%	13.9%	10.5%	12.0%	7.2%	10.0%	5.3%	5.3%	32.5%	37.6%	0.90	0.67	1.38	1.07	0.77	1.44	1.22	1.02	1.29	1.26	0.90	
女子	198	18.2%	2.5%	11.6%	18.7%	12.1%	7.6%	15.2%	5.6%	8.6%	31.6%	33.2%	0.97	0.47	1.22	1.25	0.69	1.41	1.07	0.77	1.21	1.03	0.96		
東栄町	全体	25	36.0%	12.0%	20.0%	4.0%	8.0%	4.0%	8.0%	4.0%	4.0%	68.0%	20.0%	1.40	1.67	2.04	0.32	0.48	0.48	0.77	0.71	0.63	0.71	2.40	0.52
	男子	16	50.0%	6.3%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	75.1%	12.5%	1.52	0.68	2.48	0.64	0.41	0.00	0.77	0.00	0.00	2.92	0.30	
女子	9	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	55.5%	33.3%	0.59	4.19	1.17	0.00	0.63	2.06	0.78	1.52	1.56	1.81	0.96		
東海市	全体	1112	24.6%	8.2%	8.5%	12.9%	15.8%	4.5%	13.5%	6.6%	5.4%	29.3%	35.6%	0.95	1.14	0.87	1.04	0.96	0.87	1.21	1.05	0.96	1.04	0.93	
	男子	587	32.9%	8.3%	8.9%	9.9%	14.0%	4.1%	10.6%	5.8%	5.6%	28.2%	38.7%	1.00	0.90	0.88	1.01	0.90	0.82	1.29	1.12	1.37	1.10	0.92	
女子	525	15.4%	8.0%	8.0%	16.4%	17.9%	5.0%	16.8%	7.4%	5.1%	30.4%	32.2%	0.82	1.51	0.84	1.09	1.02	0.93	1.18	1.01	0.72	0.99	0.93		
東郷町	全体	338	22.2%	9.8%	8.6%	11.5%	14.5%	5.9%	11.2%	7.7%	8.6%	32.1%	30.9%	0.86	1.36	0.88	0.93	0.88	1.13	1.00	1.22	1.54	1.13	0.81	
	男子	148	27.7%	12.8%	10.1%	9.5%	14.2%	6.8%	8.8%	4.7%	5.4%	27.3%	32.9%	0.84	1.39	1.00	0.97	0.92	1.36	1.07	0.90	1.32	1.06	0.78	
女子	190	17.9%	7.4%	7.4%	13.2%	14.7%	5.3%	13.2%	10.0%	11.1%	35.9%	29.2%	0.95	1.40	0.78	0.88	0.94	0.98	0.93	1.37	1.56	1.17	0.84		
南知多市	全体	106	29.2%	11.3%	15.1%	3.8%	15.1%	5.7%	7.5%	4.7%	7.5%	31.1%	40.7%	1.13	1.57	1.54	0.31	0.92	1.10	0.67	0.75	1.34	1.10	1.06	
	男子	51	35.3%	11.8%	13.7%	3.9%	7.8%	7.8%	5.9%	7.8%	5.9%	20.4%	51.0%	1.07	1.28	1.36	0.40	0.50	1.56	0.72	1.50	1.44	0.79	1.21	
女子	55	23.6%	10.9%	16.4%	3.6%	21.8%	3.6%	9.1%	1.8%	9.1%	40.8%	31.5%	1.26	2.06	1.73	0.24	1.25	0.67	0.64	0.25	1.28	1.33	0.91		
日進市	全体	824	29.5%	6.6%	11.3%	11.4%	20.1%	2.7%	7.6%	5.8%	5.0%	32.6%	32.7%	1.14	0.92	1.15	0.92	1.22	0.52	0.68	0.92	0.89	1.15	0.85	
	男子	398	38.7%	7.3%	12.1%	7.8%	18.3%	1.5%	4.8%	5.8%	3.8%	32.7%	36.1%	1.18	0.79	1.20	0.80	1.18	0.30	0.59	1.12	0.93	1.27	0.86	
女子	426	20.9%	5.9%	10.6%	14.8%	21.8%	3.8%	10.3%	5.9%	6.1%	32.6%	29.4%	1.11	1.11	1.12	0.99	1.25	0.70	0.73	0.81	0.86	1.06	0.85		
半田市	全体	917	23.1%	7.9%	7.4%	14.1%	15.9%	7.3%	12.0%	4.3%	8.1%	27.6%	38.8%	0.90	1.10	0.76	1.14	0.96	1.40	1.07	0.68	1.45	0.98	1.01	
	男子	488	30.1%	10.7%	7.2%	10.9%	15.4%	7.6%	9.0%	3.3%	5.9%	24.1%	41.0%	0.91	1.16	0.71	1.11	0.99	1.52	1.10	0.63	1.44	0.94	1.08	
女子	429	15.2%	4.7%	7.7%	17.7%	16.6%	7.0%	15.4%	5.4%	10.5%	31.4%	36.3%	0.81	0.89	0.81	1.18	0.95	1.30	1.08	0.74	1.48	1.02	1.05		
飛島村	全体	45	33.3%	6.7%	15.6%	6.7%	20.0%	8.9%	8.9%	0.0%	0.0%	27.2%	31.8%	1.29	0.93	1.59	0.54	1.21	1.71	0.79	0.00	0.00	0.96	0.83	
	男子	23	47.8%	4.3%	13.0%	8.7%	17.4%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%	27.2%	1.45	0.47	1.29	0.89	1.12	1.74	0.00	0.00	0.00	1.24	0.65	
女子	22	18.2%	9.1%	18.2%	4.5%	22.7%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	22.7%	36.3%	0.97	1.72	1.92	0.30	1.30	1.69	1.28	0.00	0.00	0.74	1.05		
尾張旭市	全体	593	24.8%	4.9%	9.4%	9.9%	20.1%	4.0%	11.6%	7.8%	7.4%	24.8%	43.5%	0.96	0.68	0.96	0.80	1.22	0.77	1.04	1.24	1.32	0.88	1.14	
	男子	303	34.3%	7.3%	8.9%	7.3%	20.5%	4.6%	5.6%	7.3%	4.3%	22.2%	48.1%	1.04	0.79	0.88	0.74	1.32	0.92	0.68	1.40	1.05	0.86	1.15	
女子	290	14.8%	2.4%	10.0%	12.8%	19.7%	3.4%	17.9%	8.3%	10.7%	27.6%	38.7%	0.79	0.45	1.05	0.85	1.13	0.63	1.26	1.14	1.51	0.90	1.12		
美浜町	全体	145	21.4%	7.6%	11.7%	14.5%	14.5%	7.6%	13.8%	4.8%	4.1%	24.6%	41.3%	0.83	1.06	1.19	1.17	0.88	1.46	1.23	0.76	0.73	0.87	1.08	
	男子	84	27.4%	9.5%	11.9%	13.1%	14.3%	8.3%	9.5%	3.6%	2.4%	17.7%	46.8%	0.83	1.03	1.18	1.34	0.92	1.66	1.16	0.69	0.59	0.69	1.11	
女子	61	13.1%	4.9%	11.5%	16.4%	14.8%	6.6%	19.7%	6.6%	6.6%	33.9%	33.9%	0.70	0.92	1.21	1.09	0.85	1.22	1.39	0.90	0.93	1.10	0.98		
扶桑町	全体	179	26.3%	7.3%	12.3%	12.8%	15.1%	5.0%	12.3%	5.6%	3.4%	25.2%	47.5%	1.02	1.01	1.26	1.03	0.92	0.96	1.10	0.89	0.61	0.89	1.24	
	男子	99	28.3%	9.1%	13.1%	11.1%	15.2%	5.1%	11.1%	5.1%	2.0%	27.6%	50.0%	0.86	0.99	1.30	1.13	0.98	1.02	1.35	0.98	0.49	1.07	1.19	
女子	80	23.8%	5.0%	11.3%	15.0%	15.0%	5.0%	13.8%	6.3%	5.0%	22.1%	44.2%	1.27	0.94	1.19	1.00	0.86	0.93	0.97	0.86	0.70	0.72	1.17		
武豊町	全体	245	21.6%	11.0%	7.3%	15.5%	8.2%	8.2%	14.3%	6.5%	7.3%	29.4%	39.1%	0.84	1.53	0.74	1.25	0.50	1.58	1.28	1.03	1.30	1.04	1.02	
	男子	123	27.6%	14.6%	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%	13.0%	5.7%	6.5%	24.2%	49.2%	0.84	1.59	0.80	0.83	0.52	1.62	1.59	1.10	1.59	0.94	1.17	
女子	122	15.6%	7.4%	6.6%	23.0%	8.2%	8.2%	15.6%	7.4%	8.2%	34.7%	28.8%	0.83	1.40	0.69	1.53	0.47	1.52	1.10	1.01	1.15	1.13	0.83		
碧南市	全体	577	24.8%	7.5%	12.3%	10.7%	15.6%	7.6%	13.5%	3.5%	4.5%	31.4%	32.4%	0.96	1.04	1.26	0.86	0.95	1.46	1.21	0.56	0.80	1.11	0.85	
	男子	290	31.0%	8.3%	13.4%	6.9%	17.9%	7.6%	9.7%	2.8%	2.4%	29.6%	35.0%	0.94	0.90	1.33	0.70	1.15	1.52	1.18	0.54	0.59	1.15	0.83	
女子	287	18.5%	6.6%	11.1%	14																				

表 2-8-15 は、S1 から S9 の各クラスターの割合が高かった上位 10 の自治体を示している。ただし、自治体ごとに児童数の幅が大きいいため、詳細は表 2-8-10 を参照されることが望ましい。

S1 の割合が高ければ、運動・生活習慣からみてモデルとなる児童の割合が、全体からみて多いといえる。S4 の割合が高ければ、運動は好きだが、運動部やスポーツクラブに未加入であったり、運動時間が短かったりすることで、日常生活での運動機会が十分に得られていない児童が全体からみて多いといえる。また、体力水準が低い自治体であっても、S6-S9 のどのクラスターの特徴を示す児童が多いのかによってその要因はさまざまである。そのため、表 2-8-10 からクラスターの構成比を確認し、各自自治体の傾向に合わせた体力向上施策を検討することが有効であると考えられる。

表 2-8-15. 小学生の各クラスターの割合が高い自治体

S1		S2		S3		S4					
割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数				
豊根村	50.0%	1.94	豊根村	50.0%	6.94	東栄町	20.0%	2.04	大治町	18.1%	1.46
東栄町	36.0%	1.40	岩倉市	12.2%	1.69	飛島村	15.6%	1.59	津島市	17.0%	1.37
設楽町	33.3%	1.29	東栄町	12.0%	1.67	南知多市	15.1%	1.54	江南市	16.6%	1.34
飛島村	33.3%	1.29	大治町	11.7%	1.63	愛西市	14.1%	1.44	知立市	16.5%	1.33
田原市	32.2%	1.25	南知多市	11.3%	1.57	みよし市	13.9%	1.42	北名古屋市	16.2%	1.31
豊明市	31.5%	1.22	武豊町	11.0%	1.53	高浜市	13.6%	1.39	春日井市	15.6%	1.26
長久手市	30.4%	1.18	東郷町	9.8%	1.36	西尾市	13.2%	1.35	武豊町	15.5%	1.25
みよし市	30.3%	1.17	清須市	9.5%	1.32	東浦町	12.8%	1.31	犬山市	15.2%	1.23
刈谷市	29.8%	1.16	あま市	9.2%	1.28	岡崎市	12.6%	1.29	一宮市	15.0%	1.21
日進市	29.5%	1.14	豊明市	9.1%	1.26	碧南市	12.3%	1.26	高浜市	15.0%	1.21
						扶桑町	12.3%	1.26			

S5		S6		S7		S8		S9						
割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数					
豊山町	22.3%	1.35	飛島村	8.9%	1.71	新城市	17.7%	1.58	蟹江町	9.0%	1.43	設楽町	11.1%	1.98
田原市	22.0%	1.33	豊山町	8.8%	1.69	犬山市	17.2%	1.54	刈谷市	8.4%	1.33	弥富市	9.1%	1.63
清須市	20.8%	1.26	大口町	8.2%	1.58	設楽町	16.7%	1.49	西尾市	8.1%	1.29	東郷町	8.6%	1.54
長久手市	20.5%	1.24	武豊町	8.2%	1.58	岩倉市	14.7%	1.31	尾張旭市	7.8%	1.24	半田市	8.1%	1.45
日進市	20.1%	1.22	碧南市	7.6%	1.46	江南市	14.6%	1.30	東郷町	7.7%	1.22	知立市	7.8%	1.39
新城市	20.1%	1.22	美浜町	7.6%	1.46	武豊町	14.3%	1.28	岩倉市	7.5%	1.19	北名古屋市	7.5%	1.34
尾張旭市	20.1%	1.22	知立市	7.6%	1.46	津島市	14.1%	1.26	安城市	7.4%	1.17	瀬戸市	7.5%	1.34
飛島村	20.0%	1.21	津島市	7.5%	1.44	瀬戸市	13.9%	1.24	稲沢市	7.4%	1.17	あま市	7.5%	1.34
岡崎市	19.9%	1.21	大治町	7.4%	1.42	美浜町	13.8%	1.23	田原市	7.4%	1.17	南知多市	7.5%	1.34
犬山市	19.4%	1.18	東浦町	7.4%	1.42	碧南市	13.5%	1.21	岡崎市	7.4%	1.17	尾張旭市	7.4%	1.32
阿久比市	19.4%	1.18												

S1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	S5: 運動がやや好きで、運動時間は長くない	S8: 運動が嫌いで、運動時間は長くない、スクリーンタイムが長い
S2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	S6: 運動がやや好きで、運動機会が少なく、生活習慣に乱れがある	S9: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどなく、スクリーンタイムが長い
S3: 運動好きだが、運動時間は長くない	S7: 運動がやや好きだが、運動機会がほとんどない	
S4: 運動好きだが、運動機会が少ない		

(2) 中学生の結果

(ア) 運動・生活習慣に基づくクラスタ分類

潜在クラス分析の結果、中学生は、C1 から C7 までの7つのクラスタに類型された。表 2-8-16 の条件付き応答確率をもとに、クラスタごとの運動・生活習慣の特徴を解釈した結果が表 2-8-17 である。

表 2-8-16. 中学生の各クラスタの条件付き応答確率

質問	回答	全体	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	
Q1 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。	嫌い/やや嫌い	17.6%	0.2%	0.4%	2.7%	5.4%	28.2%	56.6%	82.0%	
	やや好き	31.3%	4.9%	8.1%	28.1%	62.8%	59.3%	40.8%	17.2%	
	好き	51.1%	94.9%	91.5%	69.2%	31.8%	12.5%	2.6%	0.9%	
Q2 あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは大切なものですか。	大切でない/あまり大切でない	12.4%	0.1%	0.2%	0.0%	1.4%	9.0%	49.4%	69.9%	
	やや大切	33.6%	2.8%	8.9%	15.0%	64.5%	71.7%	47.8%	27.6%	
	大切	54.0%	97.1%	90.9%	85.1%	34.1%	19.3%	2.8%	2.4%	
Q3 中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。	思わない/あまり思わない	18.9%	0.0%	0.6%	0.6%	7.9%	21.1%	72.5%	84.7%	
	やや思う	34.8%	8.9%	19.2%	26.5%	70.3%	66.9%	25.7%	14.5%	
	思う	46.3%	91.1%	80.3%	72.9%	21.9%	12.1%	1.8%	0.8%	
Q4 学校の保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをしていますか。	～60分	13.4%	0.2%	0.7%	25.3%	0.1%	44.8%	0.0%	73.2%	
	60～420分	23.6%	4.9%	11.0%	73.9%	20.9%	54.5%	35.6%	26.8%	
	420分～	63.1%	94.9%	88.3%	0.8%	79.0%	0.7%	64.4%	0.0%	
Q8 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。	未加入	25.9%	1.7%	4.3%	76.7%	2.7%	94.7%	5.1%	97.4%	
	運動部・スポーツクラブ加入	74.1%	98.3%	95.7%	23.3%	97.3%	5.3%	94.9%	2.6%	
Q9 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。	全くない/あまりない	41.9%	11.3%	16.1%	34.4%	46.9%	65.4%	80.3%	93.4%	
	時々ある	33.4%	36.0%	40.5%	46.5%	42.6%	31.1%	14.6%	6.0%	
	ある	24.8%	52.7%	43.5%	19.2%	10.5%	3.5%	5.1%	0.6%	
Q5 朝食は毎日食べますか。	食べない日が多い/食べない	6.0%	1.0%	14.0%	4.7%	4.4%	7.2%	10.2%	11.4%	
	食べない日もある	18.9%	6.4%	34.4%	17.4%	18.1%	24.1%	26.0%	27.7%	
	毎日食べる	75.1%	92.6%	51.7%	77.9%	77.5%	68.8%	63.8%	60.9%	
Q6 毎日どのくらいねていますか。	7時間未満	40.9%	23.5%	70.3%	33.3%	39.7%	43.1%	53.0%	50.3%	
	7時間以上9時間未満	52.1%	66.9%	27.0%	55.1%	54.3%	49.7%	41.4%	44.0%	
	9時間以上	7.0%	9.6%	2.8%	11.6%	6.1%	7.1%	5.7%	5.7%	
Q7 学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	3時間以上	54.1%	34.0%	82.5%	47.2%	54.5%	57.5%	66.4%	67.0%	
	1時間以上3時間未満	40.5%	57.4%	16.5%	41.8%	41.4%	37.8%	29.9%	29.5%	
	1時間未満	5.4%	8.6%	1.0%	11.0%	4.2%	4.8%	3.7%	3.5%	
			構成割合(推計値)	28.8%	11.7%	5.1%	24.6%	11.5%	9.1%	9.3%

表 2-8-17. 中学生の各クラスタの運動・生活習慣の特徴

クラスタ	プラス面	マイナス面	課題
C1	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い ・運動部に参加し、普段の運動時間も長い ・生活習慣も望ましい		
C2	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い ・運動部に参加し、普段の運動時間も長い	・スクリーンタイムが長く、睡眠時間が7時間未満	・スクリーンタイムの削減
C3	・運動が好きで、運動への意識・意欲も高い	・運動部に参加せず、運動時間は1日60分未満 ・休日は時々運動する ・スクリーンタイムが長い	・運動機会の確保 ・スクリーンタイムの削減
C4	・運動がやや好きで、運動への意識・意欲もやや高い ・運動部に参加し、普段の運動時間も長い	・休日はほとんど運動しない ・スクリーンタイムが長い	・運動意識・意欲の向上 ・休日の過ごし方 ・スクリーンタイムの削減
C5	・運動がやや好きで、運動への意識・意欲もやや高い	・運動部に参加せず、運動時間は1日60分未満 ・休日はほとんど運動しない ・スクリーンタイムが長い	・運動意識・意欲の向上 ・運動機会の確保 ・スクリーンタイムの削減
C6	・運動部に参加し、普段の運動時間も長い	・運動が嫌いで、運動への意識・意欲も低い ・休日はほとんど運動しない ・スクリーンタイムが長く、睡眠時間が7時間未満	・運動意識の変革 ・休日の過ごし方 ・スクリーンタイムの削減
C7		・運動が嫌いで、運動への意識・意欲も低い ・普段からほとんど運動をしない ・スクリーンタイムが長く、睡眠時間が7時間未満	・運動意識の変革 ・運動機会の確保 ・スクリーンタイムの削減

[考察]

- ・ 「運動が好きで、運動時間が長く、生活習慣に乱れない (C1)」生徒は、全体の 30%程度の割合であり、「運動が嫌いで、ほとんど運動に取り組まない (C7)」生徒は、全体の 9%程度である。
- ・ 「運動が好きだが、運動部やスポーツクラブに所属せず、運動時間が短い (C3)」生徒 (約 5%) や、「運動が嫌いではない (やや好き) だが、運動部やスポーツクラブに所属せず、休日もほとんど運動しない (C5)」生徒 (約 11%) が一定数みられる。
- ・ 「運動が嫌いだが、運動部やスポーツクラブに所属し、運動時間も長い (C6)」生徒の割合が、9%程度である。

これ以降の分析結果では、7つのクラスタの特徴を以下のように簡易に示した表示を各表に添付する。このうち運動・生活習慣からみて、C1の生徒を最も理想的なモデルとして考察する。

C1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4: 運動がやや好きで、運動時間は長い	C6: 運動が嫌いだが、運動時間は長い
C2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5: 運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3: 運動好きだが、運動機会が少ない		

(イ) クラスタ別にみた体力・運動能力測定値の評価

表 2-8-18 は、7つのクラスタと体力評価 (A-E) の割合及び A+B、D+E の割合を、全体と男女別で示している。クラスタごとに縦方向の A-E の割合を合計すると 100%になる。男子では、運動が好きで、運動部やスポーツクラブに所属し、運動時間が長い C1 及び C2 の生徒は、A+B の割合が 30%を超えており、全国集計の結果 (A+B が約 30%) を上回っていた。女子では、運動が好きで、運動部やスポーツクラブに所属し、運動時間が長い C1 及び C2 の生徒、そして、運動がやや好きで運動部やスポーツクラブに所属し、運動時間が長い C4 の生徒は、全国集計の結果 (A+B が約 50%) を上回っていた。

一方で、男子では C3 以降、女子では C3 と C5 以降で D+E の割合が高くなっていた。そのため、たとえ運動が好きでも、普段の生活で運動機会が少ない場合には、体力水準が低くなる傾向がみられた。

表 2-8-18. 中学生のクラスタ別にみた体力評価の割合

評価	クラスタ						
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
A	23.2%	20.9%	6.4%	9.2%	2.0%	3.6%	1.0%
男子	10.1%	6.9%	1.5%	1.9%	0.3%	1.1%	0.1%
女子	47.1%	37.7%	9.3%	17.0%	2.7%	6.1%	1.4%
B	32.8%	31.3%	21.6%	22.9%	13.9%	16.5%	6.4%
男子	31.7%	26.5%	8.9%	12.1%	3.1%	8.6%	1.1%
女子	34.7%	37.0%	29.0%	34.6%	18.5%	24.9%	8.4%
C	30.9%	31.4%	34.3%	36.7%	33.2%	33.8%	27.4%
男子	39.3%	40.7%	32.0%	38.2%	16.7%	27.5%	11.9%
女子	15.5%	20.3%	35.7%	35.1%	40.2%	40.6%	33.2%
D	11.4%	14.3%	28.0%	24.7%	33.7%	33.6%	40.6%
男子	16.3%	22.4%	38.4%	36.2%	42.2%	41.7%	39.6%
女子	2.5%	4.5%	21.9%	12.2%	30.1%	25.1%	41.0%
E	1.7%	2.1%	9.7%	6.5%	17.2%	12.5%	24.6%
男子	2.6%	3.5%	19.3%	11.6%	37.8%	21.0%	47.2%
女子	0.2%	0.4%	4.2%	1.1%	8.5%	3.3%	16.0%
A+BとD+Eの割合							
A+B	56.0%	52.2%	28.0%	32.1%	15.9%	20.1%	7.4%
D+E	13.1%	16.4%	37.7%	31.2%	50.9%	46.1%	65.2%
男子A+B	41.8%	33.4%	10.4%	14.0%	3.4%	9.7%	1.2%
男子D+E	18.9%	25.9%	57.7%	47.8%	80.0%	62.7%	86.8%
女子A+B	81.8%	74.7%	38.3%	51.6%	21.2%	31.0%	9.8%
女子D+E	2.7%	4.9%	26.1%	13.3%	38.6%	28.4%	57.0%

C1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4: 運動がやや好きで、運動時間は長い	C6: 運動が嫌いだが、運動時間は長い
C2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5: 運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3: 運動好きだが、運動機会が少ない		

表 2-8-19 は、クラス別に各種目の得点（1-10 点）の平均値及び標準偏差、運動・生活習慣のモデルとなる C1 との得点差を示している。運動部やスポーツクラブに所属せず、運動機会が少ない C3、C5、C7 の生徒では、「上体起こし」、「反復横跳び」、「持久走」、「シャトルラン」、「50m 走」、「ハンドボール投げ」といった多くの種目で、C1 との差が大きく、体力水準が低い傾向がみられた。

表 2-8-19. 中学生のクラス別にみた種目得点（1-10 点）

男子

テスト項目	C1			C2			C3			C4			C5			C6			C7		
	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差
握力	3.96	1.43	0.00	4.07	1.47	0.11	3.63	1.43	-0.33	3.57	1.39	-0.39	3.22	1.39	-0.74	3.43	1.35	-0.52	3.01	1.32	-0.94
上体起こし	6.74	1.93	0.00	6.28	1.98	-0.46	5.05	2.10	-1.69	5.47	1.87	-1.28	4.30	1.89	-2.44	4.93	1.95	-1.82	3.90	1.80	-2.84
長座体前屈	6.10	2.04	0.00	5.83	2.09	-0.27	5.21	2.05	-0.90	5.42	2.02	-0.68	4.80	2.08	-1.30	5.18	2.07	-0.93	4.59	2.06	-1.51
反復横跳び	7.14	1.81	0.00	6.84	1.87	-0.30	5.41	2.05	-1.73	6.07	1.83	-1.07	4.83	1.81	-2.30	5.70	1.88	-1.44	4.58	1.85	-2.56
持久走	5.58	1.60	0.00	4.94	1.66	-0.65	3.68	1.50	-1.90	4.34	1.54	-1.24	2.95	1.38	-2.64	3.74	1.54	-1.85	2.68	1.33	-2.90
シャトルラン	6.58	1.72	0.00	5.82	1.71	-0.76	4.38	1.83	-2.20	5.14	1.68	-1.44	3.61	1.49	-2.97	4.53	1.64	-2.05	3.27	1.41	-3.31
50m走	5.16	1.67	0.00	5.01	1.73	-0.15	3.99	1.64	-1.17	4.27	1.65	-0.90	3.32	1.58	-1.85	3.90	1.65	-1.27	2.99	1.56	-2.17
立ち幅跳び	4.79	1.60	0.00	4.75	1.66	-0.04	3.87	1.75	-0.92	4.07	1.62	-0.72	3.33	1.60	-1.46	3.78	1.66	-1.01	3.09	1.58	-1.70
ハンドボール投げ	4.71	1.78	0.00	4.66	1.83	-0.05	3.27	1.79	-1.44	3.56	1.69	-1.15	2.45	1.45	-2.26	2.97	1.62	-1.74	2.11	1.32	-2.60

女子

テスト項目	C1			C2			C3			C4			C5			C6			C7		
	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差	平均値	標準偏差	C1との差
握力	5.35	1.72	0.00	5.39	1.77	0.03	4.62	1.76	-0.73	4.92	1.70	-0.44	4.43	1.62	-0.92	4.70	1.77	-0.65	4.22	1.64	-1.13
上体起こし	7.92	1.68	0.00	7.67	1.83	-0.25	6.52	1.93	-1.40	6.91	1.80	-1.01	5.95	1.94	-1.97	6.30	1.92	-1.61	5.33	1.99	-2.59
長座体前屈	6.48	1.97	0.00	6.27	2.07	-0.22	5.82	2.09	-0.66	5.91	2.03	-0.57	5.38	2.03	-1.10	5.62	2.03	-0.86	5.07	2.08	-1.41
反復横跳び	8.37	1.72	0.00	8.02	1.90	-0.35	6.77	2.06	-1.60	7.33	1.93	-1.04	6.25	2.01	-2.12	6.69	1.92	-1.68	5.69	1.93	-2.68
持久走	6.58	1.67	0.00	6.00	1.68	-0.58	4.62	1.67	-1.97	5.43	1.64	-1.15	4.00	1.53	-2.58	4.51	1.55	-2.07	3.47	1.42	-3.12
シャトルラン	7.46	1.64	0.00	6.68	1.62	-0.78	5.33	1.69	-2.13	6.05	1.67	-1.41	4.77	1.49	-2.69	5.23	1.58	-2.23	4.08	1.41	-3.38
50m走	6.99	1.76	0.00	6.65	1.84	-0.34	5.20	1.79	-1.79	5.81	1.82	-1.17	4.64	1.70	-2.34	4.97	1.75	-2.02	3.94	1.69	-3.05
立ち幅跳び	6.88	1.82	0.00	6.47	1.89	-0.40	5.28	1.91	-1.59	5.74	1.86	-1.14	4.78	1.87	-2.10	4.95	1.85	-1.92	4.22	1.82	-2.65
ハンドボール投げ	5.95	2.14	0.00	5.86	2.14	-0.08	4.02	2.11	-1.92	4.74	2.18	-1.21	3.33	1.84	-2.62	3.89	2.03	-2.06	2.83	1.71	-3.11

C1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい

C4：運動がやや好きで、運動時間は長い

C6：運動が嫌いだ、運動時間は長い

C2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い

C5：運動がやや好きで、運動機会が少ない

C7：運動が嫌いで、運動機会がほとんどない

C3：運動好きだが、運動機会が少ない

[考察]

- ・ 体力評価の分布からみると、男子では、運動が好きで運動時間が長く運動の機会も多い生徒（C1、C2）が全国の体力水準を上回っている。女子では、運動が好きあるいはやや好きで運動機会が多い生徒（C1、C2、C4）が全国の体力水準を上回っている。
- ・ 「上体起こし」、「反復横跳び」、「持久走」、「シャトルラン」、「50m 走」、「ハンドボール投げ」では、日頃の運動時間や運動の機会の多少の影響が大きい可能性がある。

表 2-8-20 は、クラスタ別の肥満と瘦身の状況を示している。瘦身傾向児の割合は、男女ともに運動部やスポーツクラブに所属せず、運動の機会が少ない C3、C5、C7 でやや高い傾向がみられた。肥満傾向児の割合では、小学生の場合と同様に、運動・生活習慣のモデルとなる C1 の割合が、他のどのクラスタよりも顕著に低くなっていた。その上で、運動が好きで C1-C3 の生徒の中では、運動の機会が少ない C3 の生徒の肥満傾向の割合が高く、運動がやや好きな生徒（C4-C5）、運動が嫌いな生徒（C6-C7）の中でも、運動機会が少ない C5、C7 の生徒のほうが肥満傾向の割合が高くなっていた。特に、中学生では、C2 以降のクラスタ全てで、日中のスクリーンタイムが一貫して 3 時間以上となっており、中学生における画面視聴の長さは共通課題となっている。その状況に加えて、日頃の運動時間の短さや運動機会の少なさが、肥満傾向時の増加につながっていることが想定される。

表 2-8-20. 中学生のクラスタ別にみた肥満と瘦身の状況

男子	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
瘦身傾向	2.3%	2.5%	5.0%	3.5%	5.4%	4.5%	6.2%
標準	91.0%	85.0%	81.4%	83.7%	77.1%	82.1%	75.8%
肥満傾向	6.7%	12.5%	13.6%	12.8%	17.4%	13.5%	18.0%
女子	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
瘦身傾向	3.9%	2.2%	5.5%	3.9%	4.6%	2.8%	4.7%
標準	92.5%	92.3%	87.6%	89.2%	84.5%	87.4%	84.7%
肥満傾向	3.7%	5.6%	7.0%	7.0%	10.9%	9.8%	10.6%

C1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4：運動がやや好きで、運動時間は長い	C6：運動が嫌いだ、運動時間は長い
C2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5：運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7：運動が嫌い、運動機会がほとんどない
C3：運動好きだが、運動機会が少ない		

[考察]

- ・ 瘦身傾向児は、運動部やスポーツクラブに所属せず、運動機会が少ない生徒においてやや多い。
- ・ 「運動が好きで、運動時間が長く、生活習慣も望ましい」C1 のような特徴を示す生徒では、小学生期と同様に、肥満は生じにくい。
- ・ 運動が嫌いな生徒のほうが肥満傾向の割合は高いが、その上で運動部やスポーツクラブに所属せず、運動機会が少ない生徒では、さらに肥満の割合が高くなる。
- ・ 中学生の時期には、生徒間の運動時間の差が小学生よりもさらに広がり、肥満との関連性が強まっていると考えられる。



表 2-8-21 は、Q10「保健体育の授業は楽しいですか」に対する回答割合をクラスター別に示している。男子では、運動が好きな生徒のクラスター (C1-C3) で「楽しい」と回答した割合が 70% を上回っていた。「やや楽しい」の回答を合わせると、C1-C4 の生徒の 90% 以上が保健体育の授業を楽しんでいると感じていた。女子では、運動が好きで運動部に所属している生徒のクラスター (C1-C2) で「楽しい」の回答が 70% を上回っていた。男子と同様に、「やや楽しい」の回答を合わせると、C4 までは 90% 以上の生徒が保健体育授業を楽しんでいると感じていた。

一方で、運動が嫌いで運動部に所属している C6 の生徒では、「楽しい」「やや楽しい」の合計の割合が男子で 70%、女子で 60% を下回っていた。運動が嫌いで運動部に所属していない C7 の生徒では、さらに減少し、「楽しい」「やや楽しい」の合計の割合が男子で 60%、女子で 50% を下回っていた。

表 2-8-21. 中学生のクラスター別にみた「保健体育の授業は楽しいですか」への回答割合

男子	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
楽しい	81.8%	75.2%	74.5%	43.2%	32.8%	16.3%	12.2%
やや楽しい	16.5%	21.4%	21.3%	50.6%	53.4%	52.6%	45.1%
あまり楽しくない	1.3%	2.4%	2.7%	5.1%	11.6%	23.2%	31.3%
楽しくない	0.4%	0.9%	1.5%	1.1%	2.3%	7.9%	11.4%

女子	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
楽しい	77.9%	70.5%	63.3%	34.2%	23.0%	9.3%	5.3%
やや楽しい	20.7%	26.8%	31.8%	57.5%	59.9%	50.2%	40.7%
あまり楽しくない	1.3%	2.1%	4.2%	7.2%	14.9%	33.1%	38.4%
楽しくない	0.2%	0.6%	0.7%	1.0%	2.1%	7.3%	15.5%

C1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4: 運動がやや好きで、運動時間は長い	C6: 運動が嫌いだ、運動時間は長い
C2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5: 運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3: 運動好きだが、運動機会が少ない		

表 2-8-22 は、運動がやや好き、あるいは運動が嫌いな生徒のクラスターである C4-C7 について、同じクラスターの中で、保健体育授業に対して肯定的な回答をした生徒と否定的な回答をした生徒との体力評価の分布を示している。D+E の割合をみると、特に運動がやや好きで運動部に所属していない C5 の生徒では、体育授業を楽しんでいる生徒と楽しくないと感じている生徒との間に、11% 程度の割合の差が生じている。そのため、運動が嫌いではなくやや好きと感じているが、運動の機会が少ない生徒にとって、楽しいと思える保健体育授業を体験することは、体力水準の向上につながる可能性がある。

表 2-8-22. 中学生の C4-C7 における保健体育授業の楽しさと体力評価の関係性

		C4	C5	C6	C7
体育授業が楽しい	A+B	32.6%	17.4%	21.5%	9.9%
(楽しい/やや楽しい)	D+E	30.8%	48.8%	44.7%	61.0%
体育授業が楽しくない	A+B	26.9%	8.9%	17.3%	5.1%
(あまり楽しくない/楽しくない)	D+E	34.5%	60.3%	48.6%	69.2%

C1: 運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4: 運動がやや好きで、運動時間は長い	C6: 運動が嫌いだ、運動時間は長い
C2: 運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5: 運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7: 運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3: 運動好きだが、運動機会が少ない		

運動がやや好き、あるいは運動が嫌いな生徒は、保健体育授業のどのような要素について楽しさを感じているか、どのような要素があれば、保健体育授業が今よりも楽しくなると考えているかについて検討するため、表 2-8-23 に、Q10「保健体育の授業は楽しいですか」の質問に、「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒について、クラスタ別に保健体育授業が楽しい理由として回答した選択肢の割合を示した。さらに、表 2-8-24 には、Q10 に対し、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した生徒について、保健体育授業が楽しくなる要素として回答した選択肢の割合を示した。

保健体育授業が楽しい理由をみると、「友達と一緒にできるから」の割合が C1 から C7 まで一貫して高く、どのクラスタでも 60% を上回っていた。次いで、「自分が好きな種目、できる種目があるから」「いろんな種目を体験できるから」は、運動への意識が同じクラスタ同士（運動が好き、やや好き、嫌い）の中では、運動部に所属し、運動時間が長いクラスタのほうで割合が高くなっていた。一方、「できなかったことができるようになるから」の割合は、運動への意識が同じクラスタ同士の中では、運動部に所属せず、運動機会が少ない C3、C5、C7 で高い傾向がみられた。

保健体育授業が楽しくなる要素をみると、「自分のペースで行うことができたなら」、「できなかったことができるようになるから」の割合は、運動がやや好き、あるいは運動が嫌いな C3-C7 の生徒で一貫して高かった。次いで、「人と比較されないようになったら」、「自分に合った場やルールが用意されてたら」の割合が、C3-C7 の生徒で高かった。

表 2-8-23. 中学生のクラスタ別にみた保健体育授業が楽しい理由（「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒）

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
自分が好きな種目、できる種目があるから	75.9%	74.8%	63.9%	59.2%	48.0%	43.8%	34.6%
体を動かすことが好きだから	83.8%	79.3%	55.4%	36.5%	17.3%	8.6%	4.6%
友達と一緒にできるから	72.6%	72.9%	65.4%	69.3%	63.9%	66.7%	62.9%
運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	20.5%	17.8%	17.6%	10.0%	11.1%	6.0%	5.9%
いろんな種目を体験できるから	60.5%	55.7%	48.2%	42.1%	34.6%	27.3%	21.1%
できなかったことができるようになるから	43.5%	41.8%	45.0%	33.4%	37.5%	23.7%	27.7%
先生に褒められてうれしいから	19.6%	18.0%	16.0%	9.4%	9.8%	6.3%	7.3%
友達に認められてうれしいから	20.1%	18.1%	13.6%	9.7%	9.2%	6.4%	5.6%
体を動かすとすっきりした気分になるから	20.1%	18.1%	13.6%	9.7%	9.2%	6.4%	5.6%
その他	7.6%	7.5%	7.8%	7.4%	10.5%	12.8%	14.0%

C1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4：運動がやや好きで、運動時間は長い	C6：運動が嫌いだ、運動時間は長い
C2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5：運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7：運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3：運動好きだが、運動機会が少ない		

表 2-8-24. 中学生のクラスタ別にみた保健体育授業が楽しくなる要素（「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した生徒）

	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7
運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	16.1%	14.3%	16.0%	17.9%	20.6%	11.7%	13.2%
できなかったことができるようになったら	27.1%	36.1%	42.7%	45.9%	55.9%	44.6%	49.1%
自分に合った場やルールが用意されてたら	22.4%	20.2%	28.0%	24.7%	30.9%	26.7%	32.5%
タブレットなどのICTを活用できたら	8.9%	10.1%	8.0%	6.5%	5.9%	6.8%	5.4%
先生に褒められたら	8.3%	8.4%	9.3%	9.2%	10.0%	10.1%	8.7%
友達に認められたら	6.8%	4.2%	9.3%	9.6%	7.8%	8.3%	7.6%
先生に個別に指導してもらえたら	2.6%	4.2%	8.0%	5.7%	4.1%	3.3%	6.0%
自分のペースで行うことができたなら	26.6%	41.2%	44.0%	45.8%	56.6%	51.7%	58.9%
人と比較されないようになったら	19.3%	21.0%	34.7%	34.9%	40.3%	37.5%	42.6%
その他	37.0%	36.1%	30.7%	27.2%	20.7%	26.0%	23.5%

C1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4：運動がやや好きで、運動時間は長い	C6：運動が嫌いだ、運動時間は長い
C2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5：運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7：運動が嫌いで、運動機会がほとんどない
C3：運動好きだが、運動機会が少ない		

[考察]

- ・ 運動が好きな生徒(C1-C3)及び運動がやや好きで運動部に所属している生徒(C4)の9割以上は、中学校での保健体育授業を楽しんでいると感じている。
- ・ 運動がやや好きで、運動部に所属していない生徒(C5)の中で、体育授業が楽しくないと感じている生徒は、楽しいと感じている生徒に比べて体力水準が低い傾向にある。運動が嫌いではないが、運動の機会が少ない生徒に対して、保健体育授業の楽しさは大きな影響を与える可能性がある。
- ・ 運動がやや好きな生徒(C4-C5)や運動が嫌いな生徒(C6-C7)が、保健体育授業が楽しいと感じられる要素として、友達と一緒に楽しめることがあげられる。そして、運動機会が多く、運動時間が長い生徒にとっては、自分の好きな種目やできる種目に取り組めること、いろんな種目を体験できることが重要となる。一方、運動機会が少ない生徒にとっては、運動を通して達成感を感じられることが重要となる。
- ・ 運動がやや好きな生徒(C4-C5)や運動が嫌いな生徒(C6-C7)が、今よりも保健体育授業が楽しくなる要素として、まず自分のペースで取り組めること、達成感を感じられることが重要となる。次に、他人と比較されないこと、自分に合った場やルールが用意されていることが重要となる。

ここまで示した運動・生活習慣の特徴に基づく中学生の7つのクラスタの内容と、体力評価、肥満度、保健体育授業の楽しさとの関連についての結果をまとめると、図2-8-6のようになる。

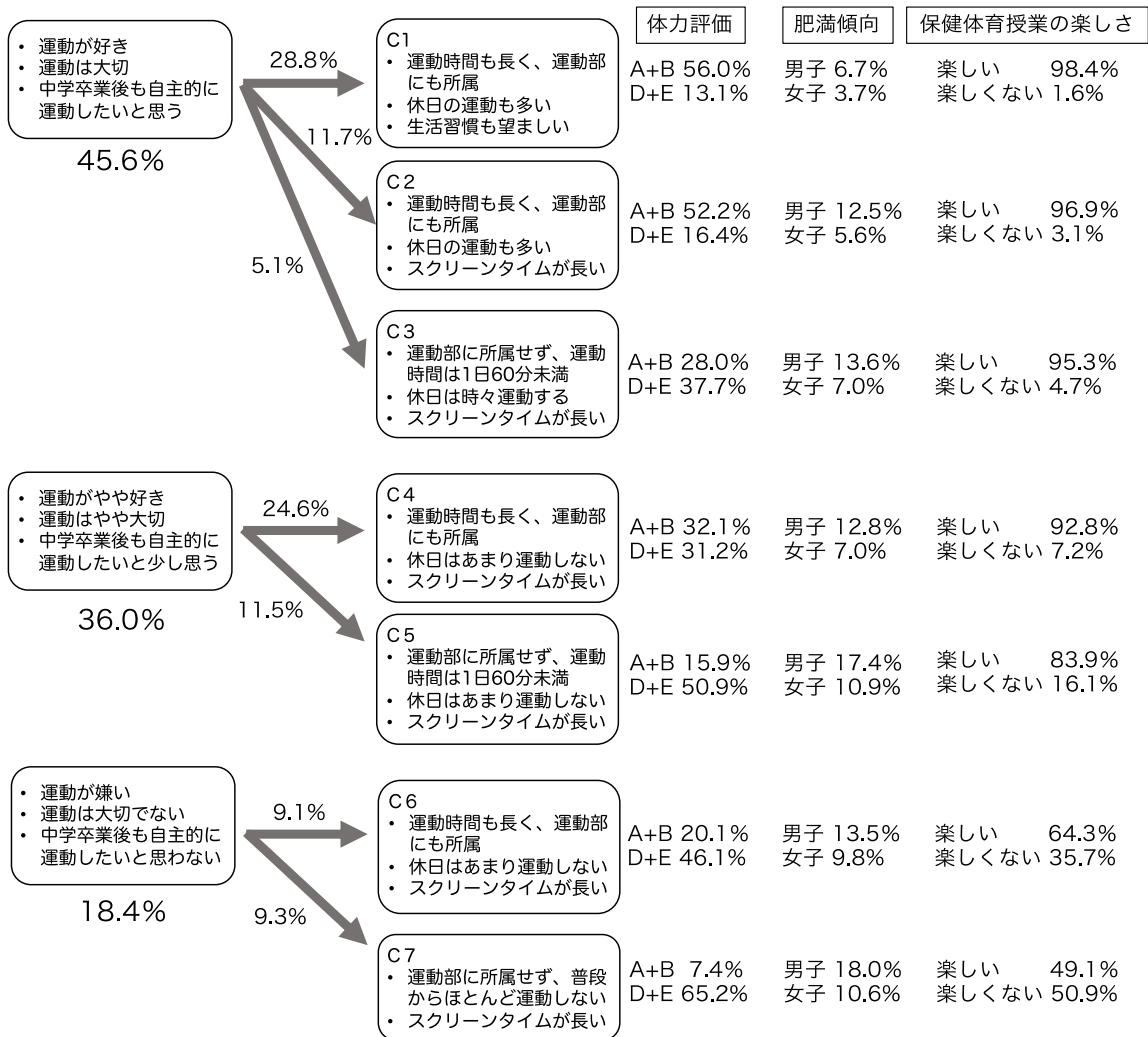


図2-8-6. 中学生の運動・生活習慣のクラスタの内容と諸要因との関連

(ウ) 自治体別の特徴

表 2-8-25 は、自治体別のクラスターの構成比を示している。左側の数値が割合、右側の数値は割合から算出した特化係数である。特化係数は、「当該自治体の割合÷全体の割合」で算出され、1 を超える場合は全体からみて割合が高く、1 を下回る場合は全体からみて割合が低いということになる。

表 2-8-25. 自治体別にみた中学生のクラスターの構成比

自治体	n	割合										特化係数 (>1なら全体からみて割合が高い、<1なら全体からみて割合が低い)									
		C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	A+B	C+D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	A+B	C+D		
あま市	全体	732	30.5%	12.3%	3.4%	24.9%	11.7%	7.8%	9.4%	29.5%	37.8%	0.99	1.21	0.81	0.99	1.01	0.87	1.02	0.81	1.23	
	男子	364	38.7%	13.2%	2.2%	25.3%	7.7%	8.8%	4.1%	20.5%	47.4%	0.98	1.20	0.71	0.98	1.13	0.97	0.82	0.80	1.20	
	女子	368	22.3%	11.4%	4.6%	24.5%	15.8%	6.8%	14.7%	38.5%	28.2%	1.02	1.23	0.85	1.00	0.96	0.76	1.10	0.81	1.29	
みよし市	全体	550	34.7%	11.8%	4.7%	19.8%	12.0%	6.5%	10.4%	40.9%	30.4%	1.13	1.16	1.12	0.79	1.03	0.72	1.13	1.12	0.99	
	男子	291	44.3%	10.7%	4.5%	22.3%	6.2%	8.6%	3.4%	32.0%	38.0%	1.13	0.97	1.45	0.87	0.91	0.95	0.68	1.25	0.96	
	女子	259	23.9%	13.1%	5.0%	17.0%	18.5%	4.2%	18.1%	51.9%	21.3%	1.09	1.41	0.93	0.69	1.13	0.47	1.35	1.09	0.97	
阿久比市	全体	233	29.2%	9.9%	3.0%	27.9%	9.0%	12.0%	9.0%	39.7%	28.7%	0.95	0.97	0.71	1.11	0.78	1.33	0.98	1.09	0.93	
	男子	127	33.9%	10.2%	3.9%	33.1%	2.4%	15.7%	0.8%	25.9%	40.5%	0.86	0.93	1.26	1.29	0.35	1.73	0.16	1.02	1.03	
	女子	106	23.6%	9.4%	1.9%	21.7%	17.0%	7.5%	18.9%	57.0%	14.0%	1.08	1.01	0.35	0.88	1.04	0.84	1.41	1.19	0.64	
愛西市	全体	463	30.7%	9.5%	4.3%	29.8%	7.6%	12.1%	6.0%	41.7%	24.3%	1.00	0.93	1.02	1.18	0.66	1.34	0.65	1.15	0.79	
	男子	221	38.9%	11.3%	4.1%	24.0%	5.9%	13.1%	2.7%	27.7%	33.7%	0.99	1.03	1.32	0.93	0.87	1.44	0.54	1.09	0.85	
	女子	242	23.1%	7.9%	4.5%	35.1%	9.1%	11.2%	9.1%	53.8%	16.4%	1.05	0.85	0.83	1.43	0.55	1.26	0.68	1.13	0.75	
安城市	全体	1689	33.2%	12.1%	3.7%	22.6%	11.2%	8.2%	9.0%	38.8%	29.0%	1.08	1.19	0.88	0.90	0.97	0.91	0.98	1.07	0.94	
	男子	887	42.3%	13.1%	2.7%	23.3%	5.7%	8.0%	4.8%	28.0%	36.6%	1.08	1.19	0.87	0.91	0.84	0.88	0.96	1.10	0.93	
	女子	802	23.2%	11.0%	4.9%	21.7%	17.2%	8.5%	13.6%	50.2%	21.2%	1.06	1.18	0.91	0.88	1.05	0.96	1.01	1.05	0.97	
一宮市	全体	2891	32.7%	11.2%	3.5%	25.6%	9.6%	10.0%	7.4%	40.0%	27.9%	1.07	1.10	0.83	1.02	0.83	1.11	0.80	1.10	0.91	
	男子	1405	41.1%	13.0%	2.0%	26.4%	4.3%	10.5%	2.6%	26.8%	37.1%	1.05	1.18	0.65	1.03	0.63	1.15	0.52	1.05	0.94	
	女子	1486	24.7%	9.6%	4.8%	24.8%	14.5%	9.6%	12.0%	52.6%	19.2%	1.13	1.03	0.89	1.01	0.88	1.08	0.90	1.10	0.88	
稲沢市	全体	1006	30.6%	10.1%	3.0%	26.5%	11.1%	10.1%	8.4%	36.7%	30.5%	1.00	0.99	0.71	1.05	0.96	1.12	0.91	1.01	0.99	
	男子	536	39.0%	10.3%	1.9%	27.2%	8.0%	8.6%	5.0%	29.1%	39.5%	0.99	0.94	0.61	1.06	1.18	0.95	1.00	1.14	1.00	
	女子	470	21.1%	10.0%	4.3%	25.7%	14.7%	11.9%	12.3%	45.5%	20.0%	0.96	1.08	0.80	1.04	0.90	1.34	0.92	0.95	0.91	
岡崎市	全体	2342	30.6%	11.0%	4.2%	24.6%	12.3%	8.3%	9.0%	41.3%	25.0%	1.00	1.08	1.00	0.98	1.06	0.92	0.98	1.13	0.81	
	男子	1206	39.5%	11.6%	3.2%	25.1%	8.1%	8.0%	4.5%	27.5%	35.2%	1.01	1.05	1.03	0.98	1.19	0.88	0.90	1.08	0.89	
	女子	1136	21.2%	10.4%	5.4%	23.9%	16.7%	8.5%	13.8%	55.8%	14.2%	0.97	1.12	1.00	0.97	1.02	0.96	1.03	1.17	0.65	
蟹江町	全体	271	31.7%	8.1%	4.1%	24.0%	7.4%	17.3%	7.4%	36.4%	28.2%	1.03	0.79	0.98	0.95	0.64	1.92	0.80	1.00	0.92	
	男子	131	37.4%	9.2%	2.3%	26.0%	3.8%	14.5%	6.9%	26.3%	36.9%	0.95	0.84	0.74	1.01	0.56	1.59	1.38	1.03	0.93	
	女子	140	26.4%	7.1%	5.7%	22.1%	10.7%	20.0%	7.9%	45.9%	20.3%	1.21	0.76	1.06	0.90	0.65	2.25	0.59	0.96	0.93	
蒲郡市	全体	484	32.2%	9.9%	3.1%	26.2%	10.5%	10.1%	7.9%	42.4%	27.0%	1.05	0.97	0.74	1.04	0.91	1.12	0.86	1.16	0.88	
	男子	273	39.9%	9.5%	1.5%	26.4%	6.6%	11.4%	4.8%	31.3%	35.3%	1.02	0.86	0.48	1.03	0.97	1.25	0.96	1.23	0.89	
	女子	211	22.3%	10.4%	5.2%	26.1%	15.6%	8.5%	11.8%	56.8%	16.1%	1.02	1.12	0.96	1.06	0.95	0.96	0.88	1.19	0.74	
刈谷市	全体	967	25.4%	9.0%	2.7%	29.1%	11.6%	9.9%	12.3%	40.4%	28.7%	0.83	0.88	0.64	1.15	1.00	1.10	1.34	1.11	0.93	
	男子	499	33.5%	9.6%	2.0%	30.5%	7.4%	9.6%	7.4%	32.3%	37.0%	0.85	0.87	0.65	1.19	1.09	1.05	1.48	1.27	0.94	
	女子	468	16.9%	8.3%	3.4%	27.6%	16.0%	10.3%	17.5%	49.1%	19.8%	0.77	0.89	0.63	1.12	0.98	1.16	1.31	1.03	0.90	
岩倉市	全体	316	28.8%	13.3%	6.0%	22.5%	14.9%	5.4%	9.2%	40.1%	30.2%	0.94	1.30	1.43	0.89	1.28	0.60	1.00	1.10	0.98	
	男子	157	34.4%	15.9%	6.4%	25.5%	9.6%	3.8%	4.5%	21.3%	41.1%	0.88	1.45	2.06	0.99	1.41	0.62	0.90	0.84	1.04	
	女子	159	23.3%	10.7%	5.7%	19.5%	20.1%	6.9%	13.8%	58.8%	19.6%	1.06	1.15	1.06	0.79	1.23	0.78	1.03	1.23	0.89	
犬山市	全体	560	25.0%	8.4%	5.9%	27.9%	12.9%	8.4%	11.6%	30.6%	33.6%	0.81	0.82	1.40	1.11	1.11	0.93	1.26	0.84	1.09	
	男子	263	32.7%	8.0%	5.3%	29.7%	8.0%	11.4%	6.3%	16.3%	48.4%	0.83	0.73	1.71	1.16	1.18	1.25	0.98	0.64	1.23	
	女子	297	18.2%	8.8%	6.4%	26.3%	17.2%	5.7%	17.5%	42.7%	21.0%	0.83	0.95	1.19	1.07	1.05	0.64	1.31	0.90	0.96	
幸田町	全体	395	32.7%	7.3%	3.0%	27.8%	10.1%	11.6%	7.3%	35.6%	28.3%	1.07	0.72	0.71	1.10	0.87	1.29	0.79	0.98	0.92	
	男子	215	40.5%	10.2%	3.3%	26.0%	6.5%	10.2%	3.3%	25.6%	37.2%	1.03	0.93	1.06	1.01	0.96	1.12	0.66	1.00	0.94	
	女子	180	23.3%	3.9%	2.8%	30.0%	14.4%	13.3%	12.2%	47.9%	17.3%	1.06	0.42	0.52	1.22	0.88	1.49	0.91	1.00	0.79	
江南市	全体	678	28.0%	10.2%	3.1%	27.6%	10.3%	9.6%	11.2%	40.8%	29.5%	0.91	1.00	0.74	1.10	0.89	1.07	1.22	1.12	0.96	
	男子	354	36.4%	10.7%	2.3%	29.7%	6.5%	10.2%	4.2%	36.7%	32.8%	0.93	0.97	0.74	1.16	0.96	1.12	0.84	1.44	0.83	
	女子	324	18.8%	9.6%	4.0%	25.3%	14.5%	9.0%	18.8%	45.1%	25.8%	0.86	1.03	0.74	1.03	0.88	1.01	1.40	0.95	1.18	
高浜市	全体	439	28.2%	9.8%	3.6%	27.6%	12.5%	8.9%	9.3%	26.2%	34.2%	0.92	0.96	0.86	1.10	1.08	0.99	1.01	0.72	1.11	
	男子	221	38.5%	9.0%	2.3%	27.6%	8.1%	7.7%	6.3%	19.1%	42.7%	0.98	0.82	0.74	1.09	1.19	0.85	1.26	0.75	1.08	
	女子	218	17.9%	10.6%	5.0%	27.1%	17.0%	10.1%	12.4%	33.8%	25.1%	0.82	1.14	0.93	1.10	1.04	1.13	0.93	0.71	1.15	
春日井市	全体	2355	33.7%	8.9%	5.5%	22.4%	13.2%	7.1%	9.2%	31.0%	36.7%	1.10	0.87	1.31	0.89	1.14	0.79	1.00	0.85	1.19	
	男子	1160	43.4%	8.7%	4.0%	24.1%	6.2%	8.4%	5.3%	23.6%	42.7%	1.10	0.79	1.29	0.94	0.91	0.92	1.06	0.93	1.08	
	女子	1195	24.2%	9.0%	7.0%	20.8%	19.9%	5.9%	13.1%	38.1%	30.9%	1.11	0.97	1.30	0.85	1.21	0.66	0.98	0.80	1.41	
小牧市	全体	1158	27.3%	9.6%	3.9%	25.0%	11.9%	11.6%	10.7%	30.7%	36.7%	0.89	0.94	0.93	0.99	1.03	1.29	1.16	0.84	1.19	
	男子	588	35.0%	11.4%	2.9%	25.3%	7.7%	10.7%	7.0%	20.5%	47.1%	0.89	1.04	0.94	0.98	1.13	1.18	1.40	0.80	1.19	
	女子	570	19.3%	7.7%	4.9%	24.7%	16.3%	12.5%	14.6%	40.9%	26.3%	0.88	0.83	0.91	1.00	0.99	1.40	1.09	0.86	1.20	
常滑市	全体	516	26.2%	9.1%	6.4%	26.4%	13.2%	11.2%	7.6%	28.6%	39.1%	0.85	0.89	1.52	1.05	1.14	1.24	0.83	0.79	1.27	
	男子	266	30.5%	10.9%	5.6%	25.9%	9.8%	12.4%	4.9%	14.7%	54.7%	0.78	0.99	1.81	1.01	1.44	1.36	0.98	0.58	1.38	
	女子	250	21.6%	7.2%	7.2%	26.8%	16.8%	10.0%	10.4%	43.3%	22.7%	0.99	0.77	1.33	1.09	1.02	1.12	0.78	0.91	1.04	
新城市	全体	241	32.8%	10.4%	0.8%	29.9%	6.2%	16.6%	3.3%	42.6%	24.4%	1.07	1.02	0.19	1.19	0.53	1.84	0.36	1.17	0.79	
	男子	126	42.9%	13.5%	0.0%	27.8%	2.4%	11.1%	2.4%	27.9%	33.6%	1.09	1.23	0.00	1.08	0.35	1.22	0.48	1.09	0.85	
	女子	115	21.7%	7.0%	1.7%	32.2%	10.4%	22.6%	4.3%	59.3%	13.9%	0.99	0.75	0.31	1.31	0.63	2.54	0.32	1.24	0.63	
瀬戸市	全体	962	34.2%	9.0%	7.1%	19.8%	12.5%	8.0%	9.5%	37.1%	27.9%	1.11	0.88	1.69	0.79	1.08	0.89	1.03	1.02	0.91	
	男子	492	44.5%	10.4%	4.7%	20.3%	5.5%	9.8%	4.9%	28.2%	33.1%	1.13	0.95	1.52	0.79	0.81	1.08	0.98	1.11	0.84	
	女子	470	23.4%	7.7%	9.6%	19.1%	19.8%	6.2%	14.3%	46.2%	22.7%	1.07	0.83	1.78	0.78	1.21	0.70	1.07	0.97	1.04	
清須市	全体	554	30.3%	9.4%	4.2%	22.2%	14.3%	6.													

自治体	n	割合										特化係数 (>1なら全体からみて割合が高い、<1なら全体からみて割合が低い)									
		C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	A+B	C+D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	A+B	C+D		
大治町	全体	298	30.5%	10.1%	5.7%	19.1%	17.4%	5.0%	12.1%	25.3%	45.5%	0.99	0.99	1.36	0.76	1.50	0.56	1.32	0.70	1.48	
	男子	147	41.5%	13.6%	3.4%	17.7%	13.6%	2.7%	7.5%	17.1%	53.3%	1.06	1.24	1.10	0.69	2.00	0.30	1.50	0.67	1.35	
	女子	151	19.9%	6.6%	7.9%	20.5%	21.2%	7.3%	16.6%	33.3%	37.7%	0.91	0.71	1.46	0.83	1.29	0.82	1.24	0.70	1.72	
大府市	全体	774	33.3%	6.7%	3.9%	26.2%	11.8%	9.2%	8.9%	35.7%	28.7%	1.08	0.66	0.93	1.04	1.02	1.02	0.97	0.98	0.93	
	男子	405	42.2%	7.9%	2.7%	27.9%	6.2%	8.6%	4.4%	20.7%	34.6%	1.07	0.72	0.87	1.09	0.91	0.95	0.88	0.81	0.88	
	女子	369	23.6%	5.4%	5.1%	24.4%	17.9%	9.8%	13.8%	53.1%	21.7%	1.08	0.58	0.94	0.99	1.09	1.10	1.03	1.11	0.99	
知多市	全体	660	25.6%	12.9%	3.0%	25.0%	13.3%	9.5%	10.6%	33.1%	35.5%	0.83	1.26	0.71	0.99	1.15	1.06	1.15	0.91	1.15	
	男子	337	33.8%	12.8%	1.5%	27.6%	7.1%	11.9%	5.3%	23.7%	46.4%	0.86	1.16	0.48	1.07	1.04	1.31	1.06	0.93	1.17	
	女子	323	17.0%	13.0%	4.6%	22.3%	19.8%	7.1%	16.1%	42.2%	24.8%	0.78	1.40	0.85	0.91	1.21	0.80	1.20	0.88	1.13	
知立市	全体	502	25.5%	11.6%	4.2%	31.1%	8.4%	11.8%	7.6%	38.0%	29.4%	0.83	1.14	1.00	1.23	0.72	1.31	0.83	1.04	0.95	
	男子	276	29.0%	11.2%	2.9%	30.4%	8.3%	11.6%	6.5%	24.6%	40.6%	0.74	1.02	0.94	1.18	1.22	1.27	1.30	0.96	1.03	
	女子	226	21.2%	11.9%	5.8%	31.9%	8.4%	11.9%	8.8%	53.9%	15.9%	0.97	1.28	1.07	1.30	0.51	1.34	0.66	1.13	0.73	
長久手市	全体	569	36.9%	6.5%	2.6%	25.7%	11.8%	9.7%	6.9%	34.3%	35.3%	1.20	0.64	0.62	1.02	1.02	1.08	0.75	0.94	1.15	
	男子	298	44.3%	6.4%	2.7%	28.5%	6.0%	9.1%	3.0%	20.0%	46.9%	1.13	0.58	0.87	1.11	0.88	1.00	0.60	0.78	1.19	
	女子	271	28.8%	6.6%	2.6%	22.5%	18.1%	10.3%	11.1%	49.4%	22.8%	1.32	0.71	0.48	0.91	1.10	1.16	0.83	1.04	1.04	
津島市	全体	452	26.1%	10.6%	4.6%	27.2%	11.7%	10.4%	9.3%	26.6%	40.7%	0.85	1.04	1.10	1.08	1.01	1.16	1.01	0.73	1.32	
	男子	216	33.3%	11.1%	4.2%	27.8%	8.8%	10.2%	4.6%	16.2%	54.0%	0.85	1.01	1.35	1.08	1.29	1.12	0.92	0.64	1.37	
	女子	236	19.5%	10.2%	5.1%	26.7%	14.4%	10.6%	13.6%	36.3%	28.3%	0.89	1.10	0.94	1.09	0.88	1.19	1.01	0.76	1.29	
田原市	全体	389	28.3%	12.9%	1.5%	28.5%	10.3%	11.3%	7.2%	35.9%	29.0%	0.92	1.26	0.36	1.13	0.89	1.26	0.78	0.99	0.94	
	男子	214	34.6%	14.5%	0.5%	27.1%	4.2%	14.0%	5.1%	21.3%	37.8%	0.88	1.32	0.16	1.05	0.62	1.54	1.02	0.84	0.96	
	女子	175	20.6%	10.9%	2.9%	30.3%	17.7%	8.0%	9.7%	53.1%	18.7%	0.94	1.17	0.54	1.23	1.08	0.90	0.72	1.11	0.85	
東浦町	全体	378	25.1%	9.8%	4.0%	26.7%	11.9%	11.4%	11.1%	40.7%	25.3%	0.82	0.96	0.95	1.06	1.03	1.27	1.21	1.12	0.82	
	男子	191	31.9%	13.6%	3.1%	26.7%	5.2%	12.6%	6.8%	30.3%	30.8%	0.81	1.24	1.00	1.04	0.76	1.38	1.36	1.19	0.78	
	女子	187	18.2%	5.9%	4.8%	26.7%	18.7%	10.2%	15.5%	52.1%	19.3%	0.83	0.63	0.89	1.09	1.14	1.15	1.16	1.09	0.88	
東栄町	全体	14	42.9%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	35.7%	0.0%	64.3%	21.4%	1.40	0.00	0.00	0.85	0.00	3.97	0.00	1.77	0.69	
	男子	7	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	57.2%	28.6%	1.82	0.00	0.00	0.00	0.00	3.14	0.00	2.24	0.72	
	女子	7	14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	71.4%	14.3%	0.65	0.00	0.00	1.74	0.00	4.82	0.00	1.50	0.65	
東海市	全体	971	29.8%	8.5%	5.6%	25.5%	12.5%	8.4%	9.7%	39.4%	28.7%	0.97	0.83	1.33	1.01	1.08	0.93	1.05	1.08	0.93	
	男子	481	40.3%	9.6%	4.4%	24.9%	7.3%	8.1%	5.4%	27.8%	36.8%	1.03	0.87	1.42	0.97	1.07	0.89	1.08	1.09	0.93	
	女子	490	19.4%	7.6%	6.7%	26.1%	17.6%	8.8%	13.9%	51.3%	20.3%	0.89	0.82	1.24	1.06	1.07	0.99	1.04	1.08	0.93	
東郷町	全体	400	27.3%	10.3%	6.3%	27.8%	10.3%	10.5%	7.8%	28.6%	41.9%	0.89	1.01	1.50	1.10	0.89	1.17	0.85	0.79	1.36	
	男子	204	35.8%	9.3%	2.0%	28.4%	5.9%	12.7%	5.9%	17.2%	52.3%	0.91	0.85	0.65	1.11	0.87	1.40	1.18	0.67	1.32	
	女子	196	18.4%	11.2%	10.7%	27.0%	14.8%	8.2%	9.7%	40.5%	30.8%	0.84	1.20	1.98	1.10	0.90	0.92	0.72	0.85	1.41	
南知多市	全体	92	38.0%	9.8%	0.0%	31.5%	4.3%	15.2%	1.1%	51.1%	20.0%	1.24	0.96	0.00	1.25	0.37	1.69	0.12	1.40	0.65	
	男子	50	44.0%	14.0%	0.0%	24.0%	6.0%	10.0%	2.0%	29.2%	29.2%	1.12	1.27	0.00	0.93	0.88	1.10	0.40	1.15	0.74	
	女子	42	31.0%	4.8%	0.0%	40.5%	2.4%	21.4%	0.0%	76.2%	9.5%	1.42	0.52	0.00	1.65	1.15	2.40	0.00	1.60	0.43	
日進市	全体	825	38.5%	8.5%	3.4%	21.8%	9.7%	8.2%	9.8%	42.9%	26.9%	1.25	0.83	0.81	0.87	0.84	0.91	1.07	1.18	0.87	
	男子	441	46.3%	9.1%	2.3%	22.0%	5.4%	9.1%	5.9%	32.1%	33.7%	1.18	0.83	0.74	0.86	0.79	1.00	1.18	1.26	0.85	
	女子	384	29.7%	7.8%	4.7%	21.6%	14.6%	7.3%	14.3%	55.8%	18.7%	1.36	0.84	0.87	0.88	0.89	0.82	1.07	1.17	0.85	
半田市	全体	877	33.1%	10.8%	2.7%	25.5%	10.8%	8.3%	8.7%	38.3%	27.9%	1.08	1.06	0.64	1.01	0.93	0.92	0.95	1.05	0.91	
	男子	443	42.2%	12.0%	2.9%	24.2%	6.1%	8.8%	3.8%	26.3%	37.0%	1.07	1.09	0.94	0.94	0.90	0.97	0.76	1.03	0.94	
	女子	434	23.7%	9.7%	2.5%	27.0%	15.7%	7.8%	13.6%	50.7%	18.6%	1.08	1.04	0.46	1.10	0.96	0.88	1.01	1.06	0.85	
飛島村	全体	40	32.5%	10.0%	10.0%	27.5%	0.0%	17.5%	2.5%	68.6%	14.3%	1.06	0.98	2.38	1.09	0.00	1.94	0.27	1.88	0.46	
	男子	15	53.3%	20.0%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	7.1%	1.36	1.82	2.16	0.78	0.00	0.00	0.00	2.52	0.18	
	女子	25	20.0%	4.0%	12.0%	32.0%	0.0%	28.0%	4.0%	71.4%	19.0%	0.91	0.43	2.22	1.30	0.00	3.15	0.30	1.50	0.87	
尾張旭市	全体	672	34.7%	8.8%	5.2%	24.3%	12.2%	6.4%	8.5%	29.2%	34.3%	1.13	0.86	1.24	0.96	1.05	0.71	0.92	0.80	1.11	
	男子	335	48.4%	9.0%	4.8%	24.8%	6.6%	3.6%	3.0%	22.9%	40.3%	1.23	0.82	1.55	0.96	0.97	0.40	0.60	0.90	1.02	
	女子	337	21.1%	8.6%	5.6%	23.7%	17.8%	9.2%	13.9%	35.4%	28.4%	0.96	0.92	1.04	0.96	1.09	1.03	1.04	0.74	1.30	
美浜町	全体	156	30.1%	11.5%	3.2%	30.8%	8.3%	7.7%	8.3%	42.9%	28.6%	0.98	1.13	0.76	1.22	0.72	0.86	0.90	1.18	0.93	
	男子	82	39.0%	13.4%	3.7%	26.8%	7.3%	7.3%	2.4%	32.6%	32.6%	0.99	1.22	1.19	1.04	1.07	0.80	0.48	1.28	0.83	
	女子	74	20.3%	9.5%	2.7%	35.1%	9.5%	8.1%	14.9%	55.2%	23.9%	0.93	1.02	0.50	1.43	0.58	0.91	1.11	1.16	1.09	
扶桑町	全体	273	20.9%	6.6%	5.1%	31.1%	15.0%	12.5%	8.8%	48.6%	19.4%	0.68	0.65	1.21	1.23	1.29	1.39	0.96	1.34	0.63	
	男子	119	21.0%	10.1%	5.0%	34.5%	5.9%	19.3%	4.2%	29.5%	33.9%	0.53	0.92	1.61	1.34	0.87	2.12	0.84	1.16	0.86	
	女子	154	20.8%	3.9%	5.2%	28.6%	22.1%	7.1%	12.3%	63.6%	8.2%	0.95	0.42	0.96	1.16	1.35	0.80	0.92	1.33	0.37	
武豊町	全体	336	25.6%	11.9%	4.5%	28.0%	12.2%	8.3%	9.5%	18.4%	43.4%	0.83	1.17	1.07	1.11	1.05	0.92	1.03	0.51	1.41	
	男子	160	35.0%	14.4%	1.9%	29.4%	5.0%	8.8%	5.6%	11.7%	51.4%	0.89	1.31	0.61	1.14	0.74	0.97	1.12	0.46	1.30	
	女子	176	17.0%	9.7%	6.8%	26.7%	18.8%	8.0%	13.1%	24.7%	36.1%	0.78	1.04	1.26	1.09	1.15	0.90	0.98	0.52	1.65	
碧南市	全体	578	31.8%	13.5%	2.2%	26.1%	7.6%	10.9%	7.8%	35.3%	27.6%	1.04	1.32	0.52	1.04	0.66	1.21	0.85	0.97	0.90	
	男子	313	37.4%	16.0%	1.6%	24.0%	5.8%	9.9%	5.4%	26.0%	35.8%	0.95	1.45	0.52	0.93	0.85	1.09	1.08	1.02	0.91	
	女子	265	25.3%	10.6%	3.0%	28.7%	9.8%	12.1%	10.6%	46.2%	17.9%	1.16	1.14	0.56	1.17	0.60	1.36	0.79	0.97	0.82	
豊橋市	全体	2551	30.7%	11.3%	4.0%	24.7%	11.7%	8.5%	9.1%	34.3%	30.1%	1.00	1.11	0.95	0.98	1.01	0.94	0.99	0.94	0.98	
	男子	1292	40.7%	11.9%	2.6%	25.2%	6.3%	7.8%	5.6%	21.6%	40.3%	1.04	1.08	0.84	0.98	0.93	0.86	1.12	0.85	1.02	
	女子	1259	20.3%	10.6%	5.6%	24.2%	17.2%	9.3%	12.7%	47.3%	19.6%	0.93	1.14	1.04	0.98	1.05	1.04	0.95	0.99	0.89	
豊根村	全体	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	1.08	3.26	0.00	0.00	0.00	3.70	0.00	1.83	1.08	
	男子	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	2.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.53	0.00	
	女子	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.00	5.38	0.00	0.00	0.00	5.62	0.00	2.10	0.00	
豊山町	全体	182	25.3%	9.9%	6.0%	21.4%	18.1%	8.2%	11.0%	20.4%	42.1%	0.82	0.97	1.43	0.85	1.56	0.91	1.20	0.56	1.37	
	男子																				

表 2-8-26 は、C1 から C7 の各クラスターの割合が高かった上位 10 の自治体を示している。ただし、自治体ごとに生徒数の幅が大きいため、詳細は表 2-8-25 を参照されることが望ましい。C1 の割合が高ければ、運動・生活習慣からみてモデルとなる生徒の割合が、全体からみて多いといえる。C4 の割合が高ければ、運動は好きだが、運動部やスポーツクラブに未加入で、日常生活での運動機会が十分に得られていない生徒が全体からみて多いといえる。小学生と同様に、体力水準が低い自治体であっても、C5-C7 のどのクラスターの特徴を示す生徒が多いのかによってその要因はさまざまである。そのため、表 2-8-21 からクラスターの構成比を確認し、各自治体の傾向に合わせた体力向上施策を検討することが有効であると考えられる。

表 2-8-26. 中学生の各クラスターの割合が高い自治体

C1		C2		C3				
割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数			
東栄町	42.9%	1.40	豊根村	33.3%	3.26	飛島村	10.0%	2.38
日進市	38.5%	1.25	碧南市	13.5%	1.32	瀬戸市	7.1%	1.69
南知多市	38.0%	1.24	岩倉市	13.3%	1.30	常滑市	6.4%	1.52
豊明市	37.1%	1.21	田原市	12.9%	1.26	東郷町	6.3%	1.50
長久手市	36.9%	1.20	知多市	12.9%	1.26	岩倉市	6.0%	1.43
設楽町	35.0%	1.14	あま市	12.3%	1.21	豊山町	6.0%	1.43
みよし市	34.7%	1.13	安城市	12.1%	1.19	犬山市	5.9%	1.40
尾張旭市	34.7%	1.13	武豊町	11.9%	1.17	大治町	5.7%	1.36
瀬戸市	34.2%	1.11	みよし市	11.8%	1.16	豊田市	5.6%	1.33
春日井市	33.7%	1.10	豊川市	11.7%	1.15	豊明市	5.6%	1.33
						東海市	5.6%	1.33

C4		C5		C6		C7					
割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数	割合	特化係数				
設楽町	35.0%	1.39	豊山町	18.1%	1.56	東栄町	35.7%	3.97	北名古屋市	16.9%	1.84
弥富市	32.5%	1.29	大治町	17.4%	1.50	豊根村	33.3%	3.70	清須市	12.8%	1.39
南知多市	31.5%	1.25	北名古屋市	15.3%	1.32	設楽町	20.0%	2.22	刈谷市	12.3%	1.34
扶桑町	31.1%	1.23	扶桑町	15.0%	1.29	飛島村	17.5%	1.94	大治町	12.1%	1.32
知立市	31.1%	1.23	岩倉市	14.9%	1.28	蟹江町	17.3%	1.92	犬山市	11.6%	1.26
大口町	31.0%	1.23	清須市	14.3%	1.23	新城市	16.6%	1.84	江南市	11.2%	1.22
美浜町	30.8%	1.22	知多市	13.3%	1.15	南知多市	15.2%	1.69	東浦町	11.1%	1.21
新城市	29.9%	1.19	豊田市	13.3%	1.15	扶桑町	12.5%	1.39	豊山町	11.0%	1.20
愛西市	29.8%	1.18	常滑市	13.2%	1.14	愛西市	12.1%	1.34	小牧市	10.7%	1.16
刈谷市	29.1%	1.15	春日井市	13.2%	1.14	阿久比市	12.0%	1.33	知多市	10.6%	1.15
			豊明市	13.2%	1.14						

C1：運動好きで運動時間が長く、生活習慣も望ましい	C4：運動がやや好きで、運動時間は長い	C6：運動が嫌いだが、運動時間は長い
C2：運動好きで運動時間が長い、スクリーンタイムも長い	C5：運動がやや好きで、運動機会が少ない	C7：運動が嫌い、運動機会がほとんどない
C3：運動好きだが、運動機会が少ない		

### 3. 分析結果に基づく 施策立案への提言

### 【3. 分析結果に基づく施策立案への提言】

#### (1) 体力要素別の検討からの提言

愛知県においては、体力総合得点は小学生、中学生いずれも最低水準である。また、体力要素別に見ると、特に、握力や上体起こしといった筋力系の項目が弱く、また、投能力も極めて弱いことが明らかになった。瘦身の児童生徒が多いことなどからも、筋力や筋持久力の向上は大きな課題であると言える。また、投能力の低下は全国的な傾向だが、愛知県では、それにも増して低水準である。これらの結果を真摯に受け止め、力をしっかりと出し尽くす、全力で動くなどの機会を増加させていかなければならない。投動作に関しては、社会環境の影響も大きいと思われるが、まずは、ボールに慣れることなどから始めて、徐々にボール運動に親しむ機会の増加が必要であろう。

#### (2) 地域分布からの提言

全国分布からは、東北や北陸地方、九州、四国、山陰の一部の体力水準が高いことが確認された。愛知県は、いずれの学年、性においても低水準であることが統計地図からも視覚的に観察されたが、周辺地域が同様に低いなどといった傾向はなく、地域的な特性とは言えず、これを理由にするべきではないと考えることができる。また、関西地域は総じて低水準であるが、東京都や関東などの都市部は決して低水準ではないため、都市部の児童生徒の体力水準が低いと結論付けることもできない。これらのことから、愛知県においては、地域的な影響や都市による影響などに理由付けをすることなく、持続的な取り組みを行うべきであると考える。

#### (3) 愛知県の体力評価分布からの提言

愛知県は、小5、中2ともに男子において、体力総合評価がD+Eが4割以上となっている。女子においては、男子ほどではないが、他都県や全国値に比べれば明らかに多い。体力得点自体を分布で示した結果からも、全国の状況に比べて、明らかに左側（体力得点が低い方）にシフトしていることが確認された。この傾向は特に、児童で顕著である。スポーツ庁の第3次スポーツ基本計画においても、体力総合評価がD+Eの子どもを減らすことが目標に掲げられている。愛知県は、この目標を実行すべき最たる県であると言える。特に、児童では全体的な評価値の向上のためには、評価D+Eの体力が低水準の児童への取り組みを重視すべきであると結論付けられる

#### (4) 運動嗜好や運動習慣の傾向および体育授業での取り組み検討結果からの提言

愛知県においては、「運動やスポーツが好き」「運動は大切」「今後の運動実施」いずれにおいても全国と比べて悪い傾向にある。後述する多角的な検討でも結果が出ているが、まずは、好き、楽しいといった感情をしっかりと育んでいく努力が必要である。このようなねらいは、競技水準を高めるような活動とは相反することも多いことを理解すべきである。体育授業の項目に関する検討でも示されているが、個人に合った取り組みや様々な水準での運動実施環境の整備、仲間との協力、そして何より、楽しさを重視しながら、主体的な取り組みを促進していくことが求められる。画一的にやらされている感の強い授業や実践は、楽しさや主体的取り組みとはかけ離れた方法になりやすいため、注意が必要である。また、ICTの活用に関しては、比較的良好な傾向だが、特に、児童ではICTが体力向上を促進するという結果は今回の分析では得られなかった。このことから、ICTの活用方法や頻度を適切にし、児童期は楽しさを育むことを優先し、徐々に目標意識などを高めた取り組みへと展開していく必要がある。



#### (5) 生活習慣に関する提言

生活習慣の主要3項目である朝食摂取、睡眠時間、スクリーンタイムの内、朝食摂取、スクリーンタイムには大きな問題があることが明らかになった。これらの項目は、全国的にも悪化が続いており、体力測定の結果との関連も指摘されている。運動やスポーツの仕方、実施時間などの直接的な部分だけに注目するのではなく、子どもの生活全体に目を向け、総合的に取り組んでいく必要があると思われる。全体の生活習慣を正すことで、運動習慣や日々の生活の活力も向上するというのが自然な考えである。また、朝食摂取、スクリーンタイムともに、中学生では、さらなる悪化が確認されている。本文中にも書いたが、いずれも、全国と比べて“断然“悪い”といった状況である。まずは、日々の生活習慣を正すことから取り組み、子どもの活力を基本とした上で、体力向上への取り組み強化へと発展させていくことを期待する。

#### (6) 多角的視点による探索的分析結果からのまとめ

多角的視点による分析結果においても、朝食摂取や適切な睡眠時間、スクリーンタイムの適正化などが重要な要素であることがうかがえる。また、運動やスポーツが好き、体育授業を楽しむという気持ちを育むことが最重要であることは、これらの高度な分析からも明らかである。さらに、運動部や地域のスポーツクラブへの参加は体力向上には有効であることもうかがえた。体育授業での取り組みに関しては、主体的な取り組みの促進が最重要であり、その上で、個々人にあった練習の導入、授業の中での助け合いなどが重要になると結論付けることができる。

#### [まとめとして]

1. 朝食摂取とスクリーンタイムの適正化を含む、基本的な生活習慣の重要性を再認識する。
2. 体育授業では、特に、児童では運動の楽しさを伝える。  
また、画一的で一方的な授業にならないように、主体的な授業参加を促進できるようにする。
3. 中学生以降では、個々人にあった練習の導入、授業の中での助け合い、授業における目標設定などを積極的に取り入れていくことが有効である。
4. 上記3点を取り組みの基本とし、児童生徒の運動が好き、楽しいという内面から湧き出る、運動やスポーツへの肯定的な気持ち（内発的動機付けや内面的価値）を育むことを目指す。

これらの要素が全て整えば、体力の向上が期待できることが今回の分析から明らかになったと言える。全てを短期間で改善することは容易ではないが、一つ一つ優先順序を見極めながら取り組んでいくことで、最終成果として児童生徒の体力・運動能力が向上し、活気ある子どもへと成長してくれることを期待する。



# 付 録

## 【体力・運動能力（新体力テスト）の測定方法】

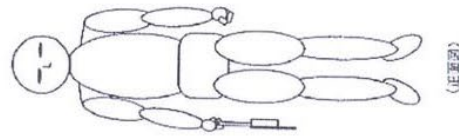
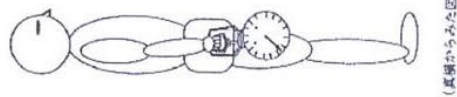
### II テスト項目

#### 握力

- 1 準備  
スマドレー式握力計。

#### 2 方法

- (1) 握力計の指針が外側になるように持ち、図のように握る。この場合、人差し指の第2関節が、ほぼ直角になるように握りの幅を調節する。  
(2) 直立の姿勢で両足を左右に自然に開き腕を自然に下げ、握力計を身体や衣服に触れないようにして力いっぱい握りしめる。この際、握力計を振り回さないようにする。



#### 3 記録

- (1) 右左交互に2回ずつ実施する。  
(2) 記録はキログラム単位とし、キログラム未満は切り捨てる。  
(3) 左右のおのおののよい方の記録を平均し、キログラム未満は四捨五入する。

#### 4 実施上の注意

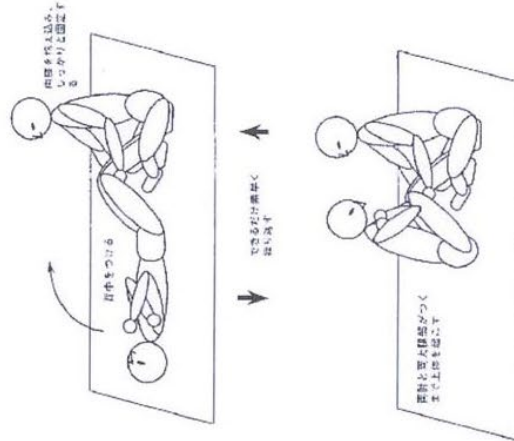
- (1) このテストは、右左の順に行う。  
(2) このテストは、同一被測定者に対して2回続けて行わない。  
(3) 握力計は、児童用のものを使用することが望ましい。

#### 上体起こし

- 1 準備  
ストップウォッチ、マット。

#### 2 方法

- (1) マット上で仰臥姿勢をとり、両手を軽く握り、両腕を胸の前で組む。両膝の角度を90°に保つ。  
(2) 補助者は、被測定者の両膝をおさえ、固定する。  
(3) 「始め」の合図で、仰臥姿勢から、両肘と両大腿部がつくまで上体を起こす。  
(4) すばやく開始時の仰臥姿勢に戻す。  
(5) 30秒間、前述の上体起こしを出来るだけ多く繰り返す。



#### 3 記録

- (1) 30秒間の上体起こし（両肘と両大腿部がついた）回数を記録する。ただし、仰臥姿勢に戻したとき、背中がマットにつかない場合は、回数としない。  
(2) 実施は1回とする。

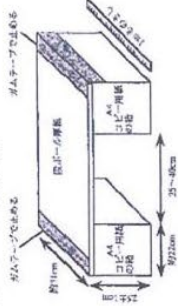
#### 4 実施上の注意

- (1) 両腕を組み、両脇をしめる。仰臥姿勢の際は、背中（肩甲骨）がマットにつくまで上体を倒す。  
(2) 補助者は被測定者の下肢が動かないように両腕で両膝をしつかり固定する。しつかり固定するために、補助者は被測定者より体格が大きい者が望ましい。  
(3) 被測定者と補助者の頭がぶつからないように注意する。  
(4) 被測定者のメガネは、はずすようににする。

## 長座体前屈

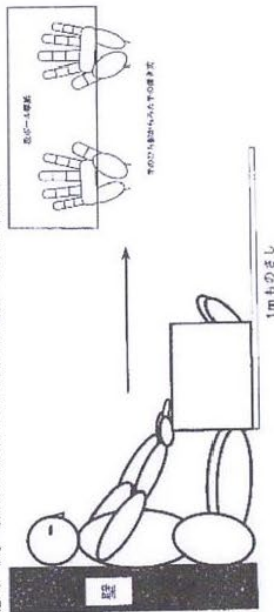
### 1 準備

幅約22cm・高さ約24cm・奥行き約31cmの箱2個(A4コピー用紙の箱など)、段ボール厚紙1枚(縦75~80cm×縦約31cm)、ガムテープ、スケール(1m巻き尺または1mのさし)。  
高さ約24cmの箱を、左右約40cm離して平行に置く。その上に段ボール厚紙の幅約24cmの箱を、左から段ボール厚紙が弱い場合は、板などで補強してもよい)。床から段ボール厚紙の上面までの高さは、25cm(±1cm)とする。右または左の箱の横にスケールを置く。



### 2 方法

- (1) 初期姿勢：被測定者は、両脚を両箱の間に入れ、長座姿勢をとる。壁に背・尻をぶつたりとつける。ただし、足首の角度は固定しない。肩幅の広さで両手のひらを下にして、手のひらの中央付近が、厚紙の手前端にかかるように置き、胸を張って、両肘を伸ばしたまま両手で箱を十分に引きつけ、背筋を伸ばす。
- (2) 初期姿勢時のスケールの位置：初期姿勢をとったときの箱の手前右または左の角に零点を合わせる。
- (3) 前屈動作：被測定者は、両手を厚紙から離さずにゆつくりと前屈して、箱全体を真っ直ぐ前方にできるだけ速くまで滑らせる。このとき、膝が曲がらないように注意する。最大に前屈した後に厚紙から手を離す。



### 3 記録

- (1) 初期姿勢から最大前屈時の箱の移動距離をスケールから読み取る。
- (2) 記録はセンチメートル単位とし、センチメートル未満は切り捨てる。
- (3) 2回実施してよい方の記録をとる。

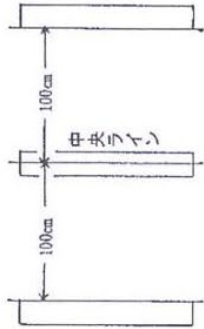
### 4 実施上の注意

- (1) 前屈姿勢をとったとき、膝が曲がらないように気をつける。
- (2) 箱が真っ直ぐ前方に移動するように注意する(ガイドレールを設けてもよい)。
- (3) 箱がスムーズに滑るように床面の状態に気をつける。
- (4) 靴を脱いで実施する。

## 反復横とび

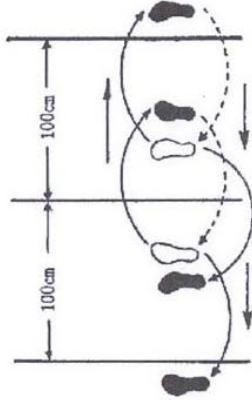
### 1 準備

床の上に、図のように中央ラインをひき、その両側100cmのところに2本の平行ラインをひく。  
ストッパーウォッチ。



### 2 方法

中央ラインをまたいで立ち、「始め」の合図で右側のラインを越すか、または、踏むまでサイドステップし(ジャンプしてはいけない)、次に中央ラインにもどる。さらに左側のラインを越すかまたは触れるまでサイドステップする。



### 3 記録

- (1) 上記の運動を20秒間繰り返すし、それぞれのラインを通過することに1点を与え(右、中央、左、中央で4点になる)。
- (2) テストを2回実施してよい方の記録をとる。

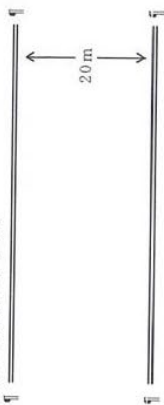
### 4 実施上の注意

- (1) 屋内、屋外の実施してもよいが、屋外で行う場合は、よく整地された安全で滑りにくい場所で行うこと(コンクリート等の上では実施しない)。
- (2) このテストは、同一の被測定者に対して続けて行わない。
- (3) 次の場合は点数としない。  
ア 外側のラインを踏まなかったり越えなかったとき。  
イ 中央ラインをまたがなかったとき。

## 20mシャトルラン（往復持久走）

### 1 準備

テスト用CDまたはテープ及び再生用プレーヤー。20m間隔の2本の平行線。ボール4本を平行線の両端に立てる。



### 2 方法

- (1) プレーヤーによりCD（テープ）再生を開始する。
- (2) 一方の線上に立ち、テストの開始を告げる5秒間のカウントダウンの後の電子音によりスタートする。
- (3) 一定の間隔で1音ずつ電子音が鳴る。電子音が次に鳴るまでに20m先の線に達し、足が線を超えるか、触れたら、その場で向きを変え、この動作を繰り返す。電子音の前に線に達してしまっただけの場合は、向きを変え、電子音を待ち、電子音が鳴った後に走り始める。
- (4) CD（テープ）によって設定された電子音の間隔は、初めはゆっくりであるが、約1分ごとに電子音の間隔は短くなる。すなわち、走速度は約1分ごとに増加していくので、できる限り電子音の間隔についていくようにする。
- (5) CD（テープ）によって設定された速度を維持できなくなると、電子音が鳴らなくなり、または、2回続けてどちらかの足で線に触れることができなくなると、テストを終了する。なお、電子音からの置れが1回の場合、次の電子音に間に合えば、遅れを解消できれば、テストを継続することができる。

### 3 記録

- (1) テスト終了時（電子音についていけなくなった直前）の折り返しの総回数を記録とする。ただし、2回続けてどちらかの足で線に触れることができなくなったり、最後に触れることができなくなった折り返しの総回数を記録とする。
- (2) 折り返しの総回数から最大酸素摂取量を推定する場合、参考「20mシャトルラン（往復持久走）最大酸素摂取量推定表」を参照すること。

### 4 実施上の注意

- (1) ランニングスピードのコントロールに十分注意し、電子音の鳴る時には、必ずどちらかの線上に立るようにする。CD（テープ）によって設定された速度で走り続けるようにし、走り続けることができなくなった場合は、自発的に退くことを指導しておく。
- (2) テスト実施前のウォーミングアップでは、足首、アキレス腱、膝などの柔軟運動（ストレッチングなどを含む）を行う。
- (3) テスト終了後は、ゆっくりとした運動等によるクーリングダウンをする。
- (4) 被測定者に対し、最初のランニングスピードがどの程度か知らせる。
- (5) CDプレーヤー使用時は、音がとんでしまうおそれがあるので、走行場所から離して置く。
- (6) 被測定者の健康状態に十分注意し、疾病及び傷害の有無を確かめ、医師の治療を受けている者や実施が困難と認められる者については、このテストを実施しない。

## 持久走（男子1500m、女子1000m）

### 1 準備

歩走路（トラック）、スタート合図用旗、ストップウォッチ。

### 2 方法

- (1) スタートはスタンディングスタートの要領で行う。
- (2) スタートの合図は、「位置について」、「用意」の後、音または声を発すると同時に旗を上から下に振り下ろすことによって行う。

### 3 記録

- (1) スタートの合図からゴロライン上に旗（頭、肩、手、足ではない）が到達するまでに要した時間を計測する。
- (2) 1人に1個の時計を用いることが望ましいが、ストップウォッチが不足する場合は、計時員が時間を読み上げ、測定員が到着時間を記録してもよい。
- (3) 記録は秒単位とし、秒未満は切り上げる。
- (4) 実施は1回とする。

### 4 実施上の注意

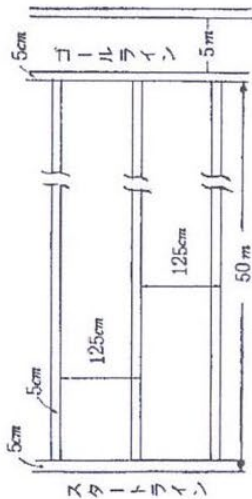
- (1) 被測定者の健康状態に十分注意し、疾病及び傷害の有無を確かめ、医師の治療を受けている者や実施が困難と認められる者については、このテストを実施しない。
- (2) トラックを使用して行うことを原則とする。
- (3) いたずらに競争したり、無理なペースで走らないように注意し、各自の能力なども考えて走るよう指導する。
- (4) テスト前後に、ゆっくりとした運動等によるウォーミングアップ及びクーリングダウンをする。



## 50m走

### 1 準備

図のような50m直走路、スタート合図用旗、スタートブロッカー。



### 2 方法

- (1) スタートは、スタンディングスタートの要領で行う。
- (2) スタートの合図は、「位置について」、「用意」の後、音または声を発すると同時に旗を下から上へ振り上げることによって行う。

### 3 記録

- (1) スタートの合図からゴールライン上に胴（頭、肩、手、足ではない）が到達するまでに要した時間を計測する。
- (2) 記録は1/10秒単位とし、1/10秒未満は切り上げる。
- (3) 実施は1回とする。

### 4 実施上の注意

- (1) 走路は、セパレートの直走路とし、曲走路や折り返し走路は使わない。
- (2) 走者は、スパイクやスターティングブロックなどを使用しない。
- (3) ゴールライン前方5mのラインまで走らせようにする。

## 立ち幅とび

### 1 準備

屋外で行う場合

砂場、巻き尺、ほうき、砂ならし。

砂場の手前（30cm～1m）に踏み切り線を引く。

屋内で行う場合

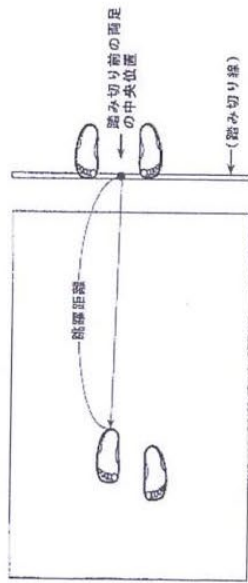
マット（6m程度）、巻き尺、ラインテープ。

マットを壁に付けて敷く。

マットの手前（30cm～1m）の床にラインテープを張り踏み切り線とする。

### 2 方法

- (1) 両足を軽く開いて、つま先が踏み切り線の前端にそろえるように立つ。
- (2) 両足で同時に踏み切って前方へとぶ。



### 3 記録

- (1) 身体が砂場（マット）に触れた位置のうち、最も踏み切り線に近い位置と、踏み切り前の両足の中央の位置（踏み切り線の前端）とを結ぶ直線の距離を計測する（上図参照）。
- (2) 記録はセンチメートル単位とし、センチメートル未満は切り捨てる。
- (3) 2回実施してよい方の記録をとる。

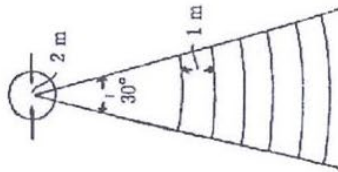
### 4 実施上の注意

- (1) 踏み切り線から砂場（マット）までの距離は、被測定者の実態によって加減する。
- (2) 踏み切りの際には、二重踏み切りにならないようにする。
- (3) 屋外で行う場合、踏み切り線周辺及び砂場の砂面は、できるだけ整地する。
- (4) 屋内で行う場合、着地の際にマットがずれないように、テープ等で固定するとともに、片側を壁につける。滑りにくい（ずれにくい）マットを用意する。
- (5) 踏み切り前の両足の中央の位置を任意に決めておくこと計測が容易になる。

## ソフトボール投げ

### 1 準備

ソフトボール1号（外周26.2cm～27.2cm，重さ136g～146g，巻き尺，平坦な地面上に直径2mの円を描き，円の中心から投球方向に向かって，中心角30度になるように直線を図のように2本引き，その間に同心円弧を1m間隔に描く。



### 2 方法

- (1) 投球は地面に描かれた円内から行う。
- (2) 投球中または投球後，円を踏んだり，越したりして円外に出るはならない。
- (3) 投げ終わったときは，静止してから，円外に出る。

### 3 記録

- (1) ボールが落下した地点までの距離を，あらかじめ1m間隔に描かれた円弧によって計測する。
- (2) 記録はメートル単位とし，メートル未満は切り捨てる。
- (3) 2回実施してよい方の記録をとる。

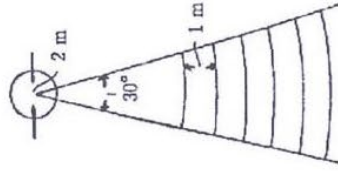
### 4 実施上の注意

- (1) 投球のフォームは自由であるが，できるだけ「下手投げ」をしない方がよい。また，ステップして投げたほうがよい。
- (2) 30度に開いた2本の直線の外側に石灰などに石炭などを使って5mおきにその距離を表す数字を地面に書いておくことと便利である。

## ハンドボール投げ

### 1 準備

ハンドボール2号（外周54cm～56cm，重さ325g～400g，巻き尺，平坦な地面上に直径2mの円を描き，円の中心から投球方向に向かって，中心角30度になるように直線を図のように2本引き，その間に同心円弧を1m間隔に描く。



### 2 方法

- (1) 投球は地面に描かれた円内から行う。
- (2) 投球中または投球後，円を踏んだり，越したりして円外に出るはならない。
- (3) 投げ終わったときは，静止してから，円外に出る。

### 3 記録

- (1) ボールが落下した地点までの距離を，あらかじめ1m間隔に描かれた円弧によって計測する。
- (2) 記録はメートル単位とし，メートル未満は切り捨てる。
- (3) 2回実施してよい方の記録をとる。

### 4 実施上の注意

- (1) ボールは規格に合っていれば，ゴム製のものでよい。
- (2) 投球のフォームは自由であるが，できるだけ「下手投げ」をしない方がよい。また，ステップして投げたほうがよい。



## ● 項目別得点表

### 小学校

#### ● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23~25	23~25	43~48	46~49	69~79	8.1~8.4	180~191	35~39
8	20~22	20~22	38~42	42~45	57~68	8.5~8.8	168~179	30~34
7	17~19	18~19	34~37	38~41	45~56	8.9~9.3	156~167	24~29
6	14~16	15~17	30~33	34~37	33~44	9.4~9.9	143~155	18~23
5	11~13	12~14	27~29	30~33	23~32	10.0~10.6	130~142	13~17
4	9~10	9~11	23~26	26~29	15~22	10.7~11.4	117~129	10~12
3	7~8	6~8	19~22	22~25	10~14	11.5~12.2	105~116	7~9
2	5~6	3~5	15~18	18~21	8~9	12.3~13.0	93~104	5~6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

#### ● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22~24	20~22	46~51	43~46	54~63	8.4~8.7	170~180	21~24
8	19~21	18~19	41~45	40~42	44~53	8.8~9.1	160~169	17~20
7	16~18	16~17	37~40	36~39	35~43	9.2~9.6	147~159	14~16
6	13~15	14~15	33~36	32~35	26~34	9.7~10.2	134~146	11~13
5	11~12	12~13	29~32	28~31	19~25	10.3~10.9	121~133	8~10
4	9~10	9~11	25~28	25~27	14~18	11.0~11.6	109~120	6~7
3	7~8	6~8	21~24	21~24	10~13	11.7~12.4	98~108	5
2	4~6	3~5	18~20	17~20	8~9	12.5~13.2	85~97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

## ● 総合評価基準表

### 小学校

#### ● 男女共通

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33~38	41~46	46~52	52~58	58~64	63~70
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~49	46~54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する。

## ● 項目別得点表

中学校

### ● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5'00"~5'16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5'17"~5'33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5'34"~5'55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5'56"~6'22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6'23"~6'50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6'51"~7'30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7'31"~8'19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8'20"~9'20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

### ● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3'50"~4'02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4'03"~4'19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4'20"~4'37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4'38"~4'56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4'57"~5'18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5'19"~5'42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5'43"~6'14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6'15"~6'57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

## ● 総合評価基準表

中学校

### ● 男女共通

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64	54~64	54~64
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53	43~53	43~53
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42	31~42	31~42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する（持久走と20mシャトルランは選択）。

学校名

性別  男  女 No.

※性別の番号をぬり忘れないこと。

【実技に関する調査】2回テストをする項目については、良い方の記録を記入してください。行っていない項目のらんには何も記入しないこと。

① あく力  kg 左  kg 右  kg 5 20mシャトルラン ※折り返した回数を入力  回  回

② 上体起こし  回 ⑥ 50m走 ※1回あたり1/10秒まで記入  秒  分

③ 長座前屈  cm ※片膝の下は切れては駄目  cm ⑦ 立ちはたとび ※片膝の下は切れては駄目  cm

④ 反復横とび  点(回) ⑧ ソフトボール投げ ※片膝の下は切れては駄目  m

(1) 身長 (小人数1位まで)  cm (2) 体重 (小人数1位まで)  kg

【質問紙調査】(質問紙は最大で18問あります。) ※特に注意がない場合は、回答は当てはまる番号を1つぬってください。

1 運動(体を動かす遊びを遊ぶ)やスポーツをする  好き  やや好き  やや嫌い  嫌い  嫌い

2 あなたにとって運動(体を動かす遊びを遊ぶ)やスポーツは大切なものですか。  大切  やや大切  あまり大切ではない  大切ではない

3 中学校に運んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを遊ぶ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。  思ふ  やや思ふ  あまり思わない  思わない

4 ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを遊ぶ)やスポーツをしていますか。それぞれ曜日のらんに入記してください。  
※運動やスポーツをしない場合は、「0分」と記入してください。必ず「分」に書いて記入すること。  
月 日 火 水 木 金 土 日  
分 分 分 分 分 分 分  
分 分 分 分 分 分 分

5 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)  毎日食べる  食べない日もある  食べない日も多い  食べない

6 毎日のくらの入っていますか。  
 10時間以上  9時間以上10時間未満  8時間以上9時間未満  
 7時間以上8時間未満  6時間以上7時間未満  6時間未満

7 平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン・パソコンなどの画面を見ているか。  
 5時間以上  4時間以上5時間未満  3時間以上4時間未満  
 2時間以上3時間未満  1時間以上2時間未満  1時間未満  
 全く見ない ※昨日はふくまずに記入すること。

8 学校の運動部や地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や習い事をふくみます)に入っていますか。当てはまるものを選んでください。  
 運動部  地域のスポーツクラブ  入っていない

9 放課後や学校の休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを遊ぶ)やスポーツをすることがありますか。  
 よくある  時々ある  あまりない  全くない

10-15 体育の授業について聞きます。(保健の授業を除く)

10	体育の授業は楽しいですか。 10-2 (質問紙で「楽しいまたは「やや楽しい」と回答した人) のように理由は何ですか。当てはまるものを選んで選んでください。	① 楽しい <input type="radio"/> やや楽しい <input type="radio"/> あまり楽しい <input type="radio"/> 楽しくない <input type="radio"/>
11	体育の授業では、進んで学習に参加していますか。	① いつも進んで学習している <input type="radio"/> だいたい進んで学習している <input type="radio"/> あまり進んで学習していない <input type="radio"/>
12	体育の授業で、目標(例えば「めあて」)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	① いつもある <input type="radio"/> だいたいある <input type="radio"/> あまりない <input type="radio"/> 全くない <input type="radio"/>
13	体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	① いつもある <input type="radio"/> だいたいある <input type="radio"/> あまりない <input type="radio"/> 全くない <input type="radio"/>
14	体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	① いつもある <input type="radio"/> だいたいある <input type="radio"/> あまりない <input type="radio"/> 全くない <input type="radio"/>
15	体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。	① いつもある <input type="radio"/> だいたいある <input type="radio"/> あまりない <input type="radio"/> 全くない <input type="radio"/>
16	これまでの体育の授業で「できなかつたことがあるように感じた」場合は、理由は何のようなのですか。当てはまるものを選んで選んでください。	① 授業中に先生は個別にタブレットやパソコンを動かしてもらった <input type="radio"/> 授業中に自分で動かして練習した <input type="radio"/> 先生や友達の手を借りて練習した <input type="radio"/> 自分に合った先生やルールが用意された <input type="radio"/> 友達に教えてもらった <input type="radio"/> 授業中に自分の動きをつまみしめた動画を撮りました <input type="radio"/> 授業外の時間に先生に教えてもらった <input type="radio"/> 授業外の時間に自分でも動画を撮りました <input type="radio"/> できなかつたことがない <input type="radio"/>
17	体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。	① 思ふ <input type="radio"/> やや思ふ <input type="radio"/> あまり思わない <input type="radio"/> 思わない <input type="radio"/>
18	体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分の目標を立てていますか。	① 目標を立てている <input type="radio"/> 目標を立てていない <input type="radio"/>



令和4年度  
全国体力・運動能力・運動習慣等調査  
生徒調査票(第2学年)

回答の字はきれいに記入しよう。

性別(男)  X  ○

↓性別の番号を塗りつぶさないで。

学校名 \_\_\_\_\_ 性別 ○ 男 ○ 女 No. \_\_\_\_\_

【競技に関する調査】2回テストをする種目については、息の切れた状態を記入してください。本運動の種目欄には何も記入しないこと。

① 握力 <small>※(小)指先(位)まで は指が握る</small>	右	kg	秒	分	秒
	左	kg	20mシャトルラン	※計り直した 回数	回
② 上体起こし	回	50m走	※初回だけで 1回	秒	秒
③ 長座体前屈 <small>※(小)指先(位)まで は指が握る</small>	cm	立ち幅とび	※※測り下 は初回で	cm	cm
④ 反復横とび	点(回)	ハンドボール投げ	※※測り下 は初回で	m	m
(1) 身長 <small>(小)指先(位)まで</small>	cm	体重	<small>(小)指先(位)まで</small>	kg	kg

【質問紙調査】(質問紙は最大で18問あります。) ※特に注意がない場合は、回答は当てはまる番号を「つ」選んでください。

① 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。	好き ○ やや好き ○ やや嫌い ○ 嫌い ○														
② あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。	大切 ○ やや大切 ○ あまり大切ではない ○ 大切ではない ○														
③ 遊び(を含む)やスポーツをする時間を増やしたいと思いませんか。	思ふ ○ やや思ふ ○ あまり思わない ○ 思わない ○														
④ 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを選んでください。	運動部 ○ 文化部 ○ 地域のスポーツクラブ ○ 所属していない ○														
⑤ 質問④で、「運動部」に答えた人は、部活動で1日おおよどのくらいの時間を運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。それぞれの曜日の欄に、部活動の1週間についての時間を記入してください。	<table border="1"> <tr> <td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td> </tr> <tr> <td>分</td><td>分</td><td>分</td><td>分</td><td>分</td><td>分</td><td>分</td> </tr> </table> <p>※運動もしない場合は、0分と記入してください。必ず分単位で記入すること。</p>	月	火	水	木	金	土	日	分	分	分	分	分	分	分
月	火	水	木	金	土	日									
分	分	分	分	分	分	分									
⑥ 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)	毎日食べる ○ 食べない日もある ○ 食べない日が多い ○ 食べない ○														
⑦ 毎日どのくらい寝ていますか。	10時間以上 ○ 9時間以上10時間未満 ○ 8時間以上9時間未満 ○ 7時間以上8時間未満 ○ 6時間以上7時間未満 ○ 5時間未満 ○														
⑧ 平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン/パソコンなどの画面を見ますか。	5時間以上 ○ 4時間以上5時間未満 ○ 3時間以上4時間未満 ○ 2時間以上3時間未満 ○ 1時間以上2時間未満 ○ 1時間未満 ○ 全く見ない ○														
⑨ 放課後や学校が休み(日)に、部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする機会がありますか。	よくある ○ 時々ある ○ あまりない ○ 全くない ○														

保健体育の授業について聞きます。(保健の授業を除く)

10	保健体育の授業は楽しいですか。	楽しい ○ やや楽しい ○ あまり楽しい ○ 楽しくない ○
10-1	(質問⑩で「楽しい」または「やや楽しい」と回答した人) そのように思ふ理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が好きな科目、できる科目があるから</li> <li>友達と一緒にできるから</li> <li>いろいろな科目を体験できるから</li> <li>先生に励まされてうれしいから</li> <li>体を動かすときりぎりした気分になるから</li> <li>その他</li> </ul>
10-2	(質問⑩で「あまり楽しいくない」または「楽しくない」と回答した人) 今後どのようなことになれば、今より体育の授業が楽しくなると思いますか。当てはまるものを選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動のやりかたもやりかたも教えてもらえるから</li> <li>自分に合った着やルールが用意されてから</li> <li>先生に励まされてから</li> <li>先生に個別に指導してもらえたら</li> <li>自分のペースで行うことができたら</li> <li>人と比較されなないようになつたら</li> <li>その他</li> </ul>
11	保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。	いつも進んで学習している ○ 進んで学習していない ○
12	保健体育の授業で、目標(やりたい、めあて)を高く設定して学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。	いつもある ○ だいたいある ○ あまりない ○ 全くない ○
13	保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を自分で学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。	いつもある ○ だいたいある ○ あまりない ○ 全くない ○
14	保健体育の授業で、友達と助け合つたり、教え合つたりして学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。	いつもある ○ だいたいある ○ あまりない ○ 全くない ○
15	保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。	いつもある ○ だいたいある ○ あまりない ○ 全くない ○ ICTを活用していない ○
16	これまでの保健体育の授業で「できなかつたこと」ができるようになった、きっかけ、理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に先生に個別のやりかたも教えてもらった</li> <li>自分に合った着やルールが用意された</li> <li>友達に教えてもらった</li> <li>授業外の時間に先生に教えてもらった</li> <li>授業外の時間に自分で練習した</li> <li>授業前の時間に自分で練習した</li> <li>授業中に自分で工夫して練習した</li> <li>先生や友達の励まを受けてみた</li> <li>授業中に自分の動きを確認した動画を撮った</li> <li>授業前の時間に自分で練習した</li> <li>できるようなことになつた</li> </ul>
17	保健体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。	思ふ ○ やや思ふ ○ あまり思わない ○ 思わない ○
18	体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。	目標を立てている ○ 目標を立てていない ○

令和5年度 愛知県体力テストデータ分析委託事業報告書  
－愛知県教育委員会委託事業－

令和5年10月 中京大学スポーツ科学部  
(責任者 中京大学スポーツ科学部 教授 中野貴博)

(執筆者)

中野貴博 後藤晃伸 加納裕久 宮田洋之 佐野 孝

(編集者)

中野貴博

---

令和5年度 愛知県体力テストデータ分析委託事業報告書

- 発行／令和5年10月
- 編集／中京大学スポーツ科学部 中野貴博研究室

愛知県豊田市貝津町床立 101

TEL: 0565-46-6554

\* 令和5年度 愛知県教育委員会よりの受託事業による

---